

令和4年度 事業報告書・収支決算書

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

会員に寄り添い、地域で支える
新たに挑戦する会員への支援

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

目 次

総括的概要	1
-------	---

令和4年度 施策体系	3
------------	---

I 定款および規約等

① 定 款	10
② 規 約	10

II 組 織

① 会 員	12
② 特定商工業者	13
③ 役 員	13
④ 議員定数	15
⑤ 正副部長	19
⑥ 正副委員長	20
⑦ 顧問・参与	21

III 議員選挙および役員議員の選任

① 議員の選挙	22
② 役員の選任	23
③ 役員議員の補充選任	23

IV 事 務 局

① 組 織	24
② 職 員	24

V 庶 務

① 文 書	25
② 授 章	25
③ 名義承諾	27
④ 慶弔・その他	28

VI 会 議

① 議員総会	29
② 常議員会	30
③ 正副会頭会議	31
④ 監 査 会	31
⑤ 議員懇話会	32
⑥ 部 会	33
⑦ 委 員 会	40

VII 事 業

① 各種事業	
I 活力ある福島の創造	
I A ふくしま将来ビジョンの推進	48
I B 政策提言・要望活動の推進	49
I C 中心市街地の活性化	51
I D 広域連携の推進	56
I E 観光振興と交流人口拡大の推進	58
I F 地域の祭り・伝統文化の興隆	63
I G 消費拡大の推進	65
II 会員事業所の発展	
II A 小規模事業者の伴走型支援の推進	68
II B 相談支援体制の充実・強化	68
II C 経営革新の推進	68
II D 事業継承・事業再生の支援	68
II E 創業の推進	68
II F ビジネス拡大の推進	69
II G 人材育成事業の推進	73
II H 雇用対策事業の推進	79
II I 各種調査・情報提供	81
II J 業種別振興事業の推進	84
II K 福利厚生の充実	85

Ⅲ 魅力ある商工会議所	
Ⅲ A 商工会議所の運営強化	87
Ⅲ B 運営基盤の強化	93
Ⅲ C 事務局機能の強化	93
Ⅲ D 情報収集力と発信力の強化	94
② 意見活動（陳情・要望活動等）	97
③ 調査研究	97
④ 広報	97
⑤ 証明等（貿易関係証明）	97
⑥ 技能技術の普及および検定	97
⑦ 経営改善普及事業	98
⑧ 受託事業	112

VII 登 録

① 法定台帳	113
--------	-----

IX 事務所等

X 団体への加入および連携

① 日本商工会議所	114
② 東北六県商工会議所連合会	114
③ 福島県商工会議所連合会	115

XI その他の会議等への参加

令和4年度収支決算書

1 収支決算総括表	125
2 一般会計収支決算書	126
3 特別会計収支決算書	
(1) 中小企業相談所収支決算書	128
(2) 会員事業所共済制度等収支決算書	130
(3) 特定退職金共済制度収支決算書	131
(4) 職員退職給与積立金収支決算書	132
(5) 会館営繕準備積立金収支決算書	132
(6) 財政調整積立金収支決算書	133
(7) ふるさと元気支援基金収支決算書	133
(8) まちづくり推進基金収支決算書	134
(9) 記念行事準備積立金収支決算書	134
4 貸借対照表	135
5 財産目録	136
6 監査報告書	138

事業報告書



総括的概要

令和5年1月、政府から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5月8日より5類相当へ引き下げられることが発表され、3年あまりにわたって続いたコロナ禍はウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新たなステージへと移行することが予想されているが、記録的な円安、石油・原材料、電気料金の高騰は、価格転嫁が容易に出来ない会員事業所にとって収益の悪化につながっているほか、長期化する国際紛争による世界経済への影響もあり、先行きの見通せない非常に厳しい経済状況が続いている。

福島商工会議所は、令和2年3月25日に渡邊博美会頭を本部長とする「新型コロナウイルスに伴う経営支援対策本部」を設置して以降、コロナ禍を乗り越えるため、ホームページやSNS等を通じて各種支援策の迅速な周知を図るとともに、コロナ対応への経営相談体制を強化するために、中小企業診断士などの専門家と連携した特別経営相談会を毎月開催した。また、令和5年10月から導入されるインボイス制度に対応するためのセミナーを開催するなど会員事業所の直面する課題に向き合った。

令和4年度は、当所の基本理念である「足腰の強い『健都ふくしま』を目指して」の下、年間テーマである「会員に寄り添い、地域で支える」「新たに挑戦する会員への支援」を達成するために、3つの施策体系に基づき、4つの重点課題に取り組んだ。

1つ目の「コロナ禍の克服に向けた会員事業所の支援」については、平成30年3月に経済産業大臣から認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき事業者に寄り添った伴走型支援を推進するとともに、新型コロナウイルスの影響を受けた事業者向けの各種協力金・支援金等の申請におけるサポートや持続化補助金などの補助事業計画の策定支援などを通じて、会員事業所の経営の安定・継続につなげる各種支援を展開した。上述の個別経営相談体制の強化に加え、「ランチで食うポン」事業の充実、会員事業所応援事業（「福エール賞」「こだわる食のお店推奨キャンペーン」）、デジタル化の活用による販路拡大の支援に取り組む事業者を支援した。

2つ目の「福島駅周辺を核とするにぎわいづくり」については、令和4年7月から第3期福島市中心市街地活性化基本計画の主要事業に位置付けられた福島駅東口地区第一種市街地再開発事業が始まり、令和8年の竣工予定までの間、いかにして東口駅前のにぎわいを維持・創出するかが課題となる中、福島市中心市街地活性化協議会の分科会として、行政やまちづくり会社、商店街をはじめ各団体と連携した「東口エリアまちづくり研究会」を設置し検討を行ったほか、駅前で学生が主体となり実施するイベントに対する運営費補助を含めた無料相談窓口を開設して若者のまちづくり参画推進を図った。

3つ目の「広域連携の推進」については、東北中央自動車道を活用した福島市の観光資源の利活用を推進するため観光ドライブマップを引き続き発行したほか、3年ぶりの開催となった福島わらじまつり、念願の野球殿堂入りを果たした古関裕而氏、若貴兄弟以来23年ぶりに三役となった大相撲大波三兄弟など本市が誇る元気や希望を積極的に発信した。中でも福島わらじまつりは、県外のイベント等にも積極的に参加し、東北の復興の象徴として観客に勇気を与え続けており、今後の交流・関係人口拡大に寄与することが期待される。

4つ目の「会員満足度の向上」については、令和4年11月1日の第31期議員改選に伴い、新たにSDGs、カーボンニュートラルなどの環境・エネルギー政策の推進をはかるために未来創生委員会を設置するなど委員会構成を見直し、時代とともに変化する経営課題に向き合う体制を整えた。また、情報発信力を強化するため、LINEによる迅速な情報発信を強化したほか、新たにInstagramも開設した。会員事業所の福利厚生の実現を図るため、「エール

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙 役員・議員 の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I 活力ある 福島の創造

VII 事業 II 会員事業所 の発展

VII 事業 III 魅力ある 商工会議所

VII 事業 経営改善 普及事業他

VIII 記録

IX 事務所等

X 団体加入 および連携

XI その他の 会議等への 参加

共済」の維持拡大および損害保険各社との連携による損害保険の加入拡大に努めるとともに、コロナで開催できなかった会員交流会を3年ぶりに復活開催した。

財 政

◇収入について

会費については、議員会費・一般会費・特定商工業者ともほぼ予算通り収入を確保するとともに、議員改選に伴う議員登録金として3,900千円を加え、会費収入総額は前年度決算対比4,763千円増の97,900千円となった。

補助金については、補助対象職員の異動等から県・市補助金総額は前年度比2,326千円減の123,593千円となった。

事業収入については、検定事業収入は、一部の検定がネット試験となったことで前年度比700千円減の4,141千円となり、また、所報広告料は前年度比1,178千円減の4,755千円となった。また、部会・委員会の視察も徐々に実施されると共に、古閑裕而野球殿堂入り祝賀会などの参加費収入もあり、検定事業・所報・その他の収入総額として、前年度比190千円減の18,843千円となった。また、補助事業・受託費収入については、前年度実施した福島県飲食店前払利用券（おらは券）事業、また東京2020オリンピックおもてなし事業などの減から、総額として前年度比20,729千円減の42,735千円となった。また、収益事業については、生命共済手数料は前年度比1,431千円減の71,634千円、個人保険等手数料は前年度比1,251千円減の34,443千円、パソコン教室受講料は3,834千円減の30,997千円、損害保険手数料は848千円増の7,267千円、特退金の保険料・給付金収入は26,685千円減の148,014千円、その他の事業収入は家賃収入や税務支援手数料など746千円減の23,404千円となり、収益事業総額として33,098千円減の317,216千円となった。

◇支出について

事業費については、酒類提供飲食店支援事業や吞んで食うポン事業、また、コロナ相談窓口事業や伴走型支援事業など継続して実施したが、受託事業として昨年実施した福島県飲食店前払利用券（おらは券）事業について本年度は実施しなかったことから12,415千円が減となり、また、特退金の退職給付金・支払保険料が26,685千円減となったことから、事業費総額は前年度比37,667千円減の316,552千円となった。

管理費については、人件費は役職員2名の退職による俸給の減、また賞与の支給率の増により、前年度比3,499千円減の212,538千円となった。また、事務費等については議員改選関連費等により3,884千円増となり、什器備品等については前年度支出した福島県沖地震による備品の購入費・修繕費が本年度は発生しなかったことから10,727千円の減となり、管理費の支出総額は前年度比10,342千円減の284,388千円となった。

積立金については、記念行事積立へ2,000千円、会館営繕積立へ1,500千円、財政調整積立へ1,500千円を積み立て、退職給与積立会計へ14,000千円を繰り出し、計画通り積み立てることができた。

◇繰越金について

次年度の繰越金となる一般会計収支剰余金は40,450千円となり、今後の安定的な事業運営および環境変化や不測の事態に対応するための必要な事業を実施できる健全な財政内容となった。

令和4年度 施策体系

施策Ⅰ 活力ある福島の創造 (地域経済の活性化)

Ⅰ-A ふくしま将来ビジョンの推進

1	SDGsなど新しい視点を踏まえたアクションプランの見直しならびに進捗管理
(1)	部会・委員会等連携による具体的事業の実施
(2)	福島市をはじめとする関係機関への提言ならびに要望活動の実施

新規	2	福島市の将来を見据えた地方創生のあり方の検討
----	---	------------------------

Ⅰ-B 政策提言・要望活動の推進

1	商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上
(1)	部会・委員会による地域課題の調査・研究
(2)	日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
(3)	各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究
2	政策提言・要望活動の実施
(1)	コロナ禍等に対応した中小企業支援対策に関する要望
(2)	福島市中小企業振興条例に基づいた地元発注に関する要望
(3)	福島駅周辺を核とする中心市街地活性化に関する要望
(4)	福島市の都市形成およびまちづくりの推進に関する要望
(5)	中核市としての独自の施策の実施および連携中枢都市圏構想の推進に関する要望
(6)	復興のための幹線道路の整備促進および建設促進に関する要望
(7)	観光振興および交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
(8)	原子力災害に関する要望

Ⅰ-C 中心市街地の活性化

1	中心市街地活性化の推進
	(1) 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第3期基本計画の推進
重点	(2) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化
	① 福島駅東口地区再開発事業への支援・協力
新規	② 再開発期間におけるにぎわい創出の施策の検討
新規	③ 福島駅東口エリアを核としたエリア一帯のまちづくりの研究
	④ 福島駅周辺（駅前通り等）におけるにぎわい創出イベント等の実施
	⑤ まちづくり推進基金を活用した中心市街地活性化のための調査・研究およびイベント推進

新規	⑥	リニューアルする街なか広場の利活用の推進
	⑦	青年部、女性会、商店街等が実施するにぎわいイベント等への支援

重点	(3)	若者のまちづくりへの参画の推進
	①	若い世代に魅力のあるまちの創造と学生が集う施策の検討
	②	市内学生および若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくりの検討
	(4)	県立医大保健科学部新入生歓迎おもてなし事業の実施
	(5)	㈱福島まちづくりセンターとの連携による商店街エリア価値向上支援事業の推進

重点	2	世代を超えて集えるにぎわい創出の推進
	(1)	福島駅前元気プロジェクト（春・夏・秋・冬）のにぎわい創出イベントの展開

重点	(2)	古閑裕而ストリートへの花ももの木プランター設置によるにぎわい創出事業の実施
----	-----	---------------------------------------

3	都心居住の推進
(1)	県立医大保健科学部学生・教員への住宅情報等の提供
(2)	定住人口拡大に向けたIターン、Uターンの推進
(3)	集合住宅、ニーズに対応した居住サービスの提供に関する検討

4	情報の発信
(1)	ホームページ「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化
(2)	まちなかイベントの相互PRの推進

Ⅰ-D 広域連携の推進

1	県境を越えた広域連携の推進
重点	(1) 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（福島・相馬・米沢・山形）
	① 相馬・米沢商工会議所との連携強化による地域経済の活性化
	② 「道の駅ふくしま」と沿線「道の駅」の連携による東北中央自動車道の利用促進
	③ 仙台国際空港を活用した広域観光周遊ルートおよび観光商品の検討
	④ 相馬・米沢の企業・山形大学工学部および商工会議所等との交流推進
	⑤ 連携中枢都市圏構想を見据えた福島市周辺の経済団体による連携事業の推進
	⑥ 福・相・米「観光ドライブMAP」の発行
(2) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究	
(3) 連携中枢都市圏構想による中小企業振興の推進	

総括的概要

施策体系

Ⅰ 定款・規約等

Ⅱ 組織

Ⅲ 議員選挙
役員・議員
の選任

Ⅳ 事務局

Ⅴ 庶務

Ⅵ 会議

Ⅶ 事業Ⅰ
活力ある
福島の創造

Ⅶ 事業Ⅱ
会員事業所
の発展

Ⅶ 事業Ⅲ
魅力ある
商工会議所

Ⅶ 事業
経営改善
普及事業他

Ⅷ 登録

Ⅸ 事務所等

Ⅹ 団体加入
および連携

Ⅺ その他の
会議等への
参加

	(4) 東北中央自動車道大笹生IC周辺の工業団地等の整備促進
2	福島西道路の南進・東北中央道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進

I-E 観光振興および交流人口拡大対策の推進

新規	1 重点	ウィズ・アフターコロナに対応した観光振興および誘客事業の実施
		(1) 観光資源（「エール」ロケ地、古閑裕而、花見山、花ももの里、フルーツライン、スカイライン、福島競馬場等）の活用促進
新規		(2) 新たな観光資源「道の駅ふくしま」の活用
新規		(3) 南東北3県（福島・宮城・山形）指定大型観光キャンペーン（4～6月）に連動した観光資源PR事業への協力
		(4) 優待お食事券事業によるJRとの連携事業の実施
		(5) 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施
		①春の観光客へ向けたおもてなし事業「ふくしま花のまちフェスティバル2022」の実施
新規		(6) 新たなGoToトラベル事業に関する情報の提供
新規		(7) 観光DXに関する調査・研究およびデジタル技術を活用した観光振興に関する講習会の開催
	2	地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進
重点		(1) 古閑裕而を活かした福島市の知名度アップの推進
		①福島市が行う「古閑裕而のまち・ふくしまシンフォニー」への支援・協力
		②「古閑裕而氏の野球殿堂入りを実現する会」への支援・協力
		③古閑裕而の妻・金子さんの出身地、豊橋市との交流事業の実施
		④古閑裕而オリジナルカレンダーの作成・配布
		⑤古閑裕而特別ラジオ放送の実施
		⑥青年部「古閑裕而関連事業」への支援・協力
重点		(2) わらじまつりを活用した地域活性化の推進（第53回福島わらじまつり・東北絆まつり 2022秋田）
		(3) 第53回福島わらじまつりへの「エール」出演者の誘致活動の実施
		(4) ふくしま地域ポータルサイト「ももりんく」の運営支援
	3	観光振興のための連携の推進
		(1) 福島市観光コンベンション協会（地域DMO）との連携強化
		(2) 市内3温泉地の各観光協会および2次交通団体等の連携強化

	(3) 仙台国際空港を活用した広域観光周遊ルートおよび観光商品の検討（再掲）
	①「相馬野馬追」「米沢上杉まつり」などを活用した相馬・米沢との連携による広域観光の推進
	②「福島ロボットテストフィールド」等を活用した観光振興

新規	4	移住・2地域居住に関する施策の調査・研究
		(1) 移住・2地域居住の受入れ体制の研究
		(2) 先進地事例の視察
重点	5	交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力
		(1) 福島ユナイテッドFCへの支援（サポーターズクラブ加入促進等）
		(2) 「大相撲大波三兄弟福島後援会」への支援
	6	国際交流およびインバウンド推進
		(1) アフターコロナに向けたインバウンド対応の推進
		①インバウンド受入れ態勢の充実
		②インバウンド受入れ拡大に向けた情報発信の強化
		(2) ふくしま台湾友好協会の交流の促進

I-F 地域のまつり・伝統文化の興隆

重点	1	第53回福島わらじまつりの開催 [8月5日(金)・6日(土)]
	2	東北絆まつり2022秋田への福島わらじまつりの参加 [5月28日(土)・29日(日)]
	3	第44回ふくしま花火大会への協力
	4	ふくしま山車祭りへの協力
	5	信夫三山眺まいりに対する協力

施策Ⅱ 会員事業所の発展 (企業の安定・成長)	
Ⅱ－A コロナ禍に対応した小規模・中小企業経営に関する 伴走型支援の強化	
重点	1 新型コロナウイルス対策支援事業の強化
重点	(1) 中小企業診断士等専門家と連携した伴走型支援の充実
	(2) アフターコロナを見据えた個別経営相談会の実施
重点	2 中小企業の事業再構築（新分野展開や業態転換、事業・業種転換等）への支援
	3 福島県小規模いきいき支援事業に対する支援・協力
	4 関係機関との連携による中小企業振興の推進および情報提供
	(1) 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
	(2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力
	5 経営発達支援計画の検証と第2期経営発達支援計画の策定
新規	6 伴走型支援の成功例のPRによる当所へ相談しやすい環境の整備
重点	7 飲食店の消費拡大の推進
	(1) 優待お食事券事業「ランチで食うボン（春・秋）」の充実
新規	(2) 酒類提供飲食店応援クーポン事業の実施
	(3) 福島県が実施する「ふくしま感染防止対策認定店制度」の普及促進
新規	(4) 販路開拓のためにテイクアウト等を実施している店舗への支援・協力
新規	(5) 福島社交飲食業組合、福島飲食業組合等との連携強化
新規	(6) デジタル技術を活用した安全・安心なサービスの提供および販路開拓に関する講習会開催
新規	8 会員事業所応援事業の実施（「福エール賞」、「こだわる食のお店推奨キャンペーン」）
	9 新型コロナウイルス感染症等に関する支援情報の提供
Ⅱ－B 相談支援体制の充実・強化	
	1 経営指導員の資質向上を図り、さまざまな経済・社会環境に対応した経営相談の充実・強化並びにセミナーの開催
	(1) 事業環境変化対応型支援事業
	(2) インボイス制度対応支援
	(3) 働き方改革対応支援
	2 金融に関すること
	(1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マルケイ融資）の利用促進
	(2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進
	(3) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進
	(4) 金融相談会の開催
	3 税務申告業務の充実
	(1) 税務事務自立化への支援強化（セミナー、個別相談会の開催）
	(2) 記帳の電子化・クラウド化に関する支援（ブルーリターンA等）
	(3) 消費税申告に関する支援
	4 消費税に関すること
	5 労務に関すること
	6 原子力損害賠償に関すること
	7 専門家による指導体制の充実
	(1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
	(2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用
	(3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
	(4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施
	(5) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施
重点	8 事業継続計画（BCP）に関する支援
	(1) 自然災害や新たな感染症などの緊急事態に備えたBCPの策定支援
	(2) 事業継続力強化支援計画の推進
	(3) 経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）の普及促進
	(4) BCPと連動した提携損害保険の推進
Ⅱ－C SDGs対応への推進・支援	
新規	1 重点 SDGsに対応する取組みへの支援
	(1) SDGs宣言の取得・促進への支援
	(2) SDGs普及・啓発のためのセミナーの開催
Ⅱ－D 経営革新の推進	
	1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化
	(1) 経営革新計画策定および認定に関する支援
	(2) 経営革新に関する個別相談会の開催
Ⅱ－E デジタル化対応・販路拡大の推進	
新規	1 重点 デジタル活用による中小企業の体質強化の推進
	(1) ICT活用、DXへの対応支援
	(2) デジタル人材の育成の促進
	(3) デジタル技術の活用事例などを紹介するセミナー・講習会の開催

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

重点	2	小規模事業者の販路拡大支援 (補助金活用による経営安定化の推進)
		(1)「ランチで食うボン」「飲食店応援クーポン事業」の充実および参加店のレベルアップによる飲食業の支援
		(2) 福島のフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業の実施
		(3) 展示商談会への出展支援
	3	医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援
	4	医産連携推進事業の充実
		(1) ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進
		(2) 県立医大と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援
	5	産学官連携の推進
		(1) 東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進
		(2) 福島大学食農学類をはじめとした市内大学と連携した6次化の検討
		(3) 研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化
		(4) 福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究
		(5) 福島イノベーション・コースト構想に関する地域企業との連携
	6	ビジネスチャンスの提供・支援
		(1) 外部主催展示会等への出展に関する支援
		(2) 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催
		(3) 所報のチラシ折込サービス・広告掲載による取引拡大支援
		(4) ICTの利活用の推進(ザ・ビジネスモールの登録推進等)
		(5) 商取引の照会・斡旋
Ⅱ－F 事業承継・事業再生・事業再構築の支援		
重点	1	後継者対策、事業承継に関する支援の充実
		(1) 事業承継塾の開催
		(2) 事業承継に関する個別相談の実施
		(3) 事業承継のマッチングに関する支援
		(4) 福島県事業引継ぎ支援センター等との連携強化による事業承継に関する支援強化
	2	事業再生に関すること
		(1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
		(2) 事業転換に関する支援
重点	3	事業再構築に関すること(再掲)
		(1) 中小企業等事業再構築補助金の計画策定支援

Ⅱ－G 創業の推進

1	創業向けセミナーの実施
	(1) 創業スクールの開催
	(2) 飲食店向け創業セミナーの実施
2	創業に関する個別相談の充実
	(1) ビジネスプラン作成の支援
	(2) 開業資金の調達に関する支援

Ⅱ－H 人材育成事業の推進

1	人材育成・経営課題に関するセミナーの実施
	(1) 経営に役に立つ！WEBセミナーの配信
	(2) 経営課題別セミナーの開催
	(3) 組織階層別セミナーの開催(新入社員、中堅社員、営業社員等)
新規	(4) 入社3年目を対象とした離職防止のためのセミナーの開催
	(5) コロナ禍における接客マナーセミナーの開催
	(6) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催(県北技塾)
	(7) 生産性向上支援訓練の開催
	①パソコン教室の運営
	(8) ㈱福島まちづくりセンターと連携した小学生職場体験事業の実施
2	各種検定試験による商工技能の向上
	(1) 各種検定試験の実施
	①日商簿記検定試験
	②リテールマーケティング検定試験
	③日商珠算検定試験
	④PC検定試験
	⑤福祉住環境コーディネーター検定試験
	⑥ビジネス実務法務検定試験
	⑦環境社会検定試験
	⑧ビジネスマネージャー検定試験
	⑨カラーコーディネーター検定試験
	(2) 検定試験受験に関する企業・大学等へのPR

Ⅱ－Ⅰ 雇用対策事業の推進	
1	人材育成と多様な人材の活躍推進に関すること
重点	(1) 高等学校との連携による地元への就職促進 (早期離職者対策等に関する検討)
	(2) 市内の大学との連携
	(3) インターンシップの推進
	(4) 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携および普及・啓発
2	働き方改革・若者・女性活躍に関すること
	(1) 働き方改革に関する国の各種施策についての情報提供 (同一労働同一賃金・各種ハラスメント防止)
	(2) テレワーク等デジタル技術活用による生産性向上の推進・普及および啓発
	(3) ワーク・ライフ・バランスの普及啓発および推進
	(4) 若者・女性の人材育成についての先進的な取り組み事例の研究
	(5) 福島市人材確保支援事業の実施
	(6) 福島市若者自立支援仕事体験事業の実施
	(7) 福島市働く女性応援企業認証事業への支援・協力
重点	3 健康経営・職場環境に関すること
	(1) 健康経営に関する研究および情報提供
	(2) 健康経営セミナーの開催および働き方改革に関する情報提供
	(3) 健康寿命延伸に関する調査・研究および推進
新規	(4) 健康経営優良法人制度の情報提供
新規	(5) メンタルヘルス対策の必要性および対応方法の情報提供
	(6) 福島県魅力ある職場づくり推進協議会への支援・協力
Ⅱ－Ⅱ 各種調査・情報提供	
1	新型コロナウイルス感染症対策に関する情報提供
	(1) 新型コロナウイルス感染症に関する各種支援情報の提供
	(2) 各種給付金・助成金・補助金等に関する情報提供と申請支援
2	地域経済に関する各種調査の実施
	(1) LOBO（早期景況調査）調査
	(2) 中小企業景況調査
3	登録・申請・検査業務の実施
	(1) 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
	(2) 容器包装リサイクル業務の実施
	(3) 原産地証明書の発行

Ⅱ－Ⅲ 業種別振興事業の推進	
◎：部会重点事業	
1	食品商業に関すること ＝食品商業部会＝
◎	(1) 経営力強化に関すること
◎	(2) 新型コロナウイルス感染症に関する各種支援
	(3) 商環境の変化への対応に関すること
2	生活関連商業に関すること ＝生活関連商業部会＝
◎	(1) 製造・販売・物流の効率化および連携強化
◎	(2) 新しい生活様式へ対応した個店の魅力向上に関する推進
◎	(3) 商環境の変化に対する支援
	(4) 地元観光資源の活用ならびに地域活性化事業への支援
3	工業に関すること ＝工業部会＝
◎	(1) SDGsの理念に基づく活動の推進
◎	(2) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化
◎	(3) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進
◎	(4) コロナ禍における人材育成事業および新型コロナウイルス感染症に関する情報提供
	(5) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進
4	建設業に関すること ＝建設部会＝
◎	(1) 建設業の基盤強化に向けた取り組み
◎	(2) 新型コロナウイルス感染症対策への支援
◎	(3) 福島市の都市形成に関する検討
	(4) 建設業界に関する情報提供
5	金融・経営支援に関すること ＝金融・経営支援部会＝
◎	(1) 新型コロナウイルス感染症対策への支援
	(2) 中小企業支援のための各関係機関との連携強化
	(3) 産業創出や生産性向上に向けた新たな取り組みに対する調査・研究
	(4) 経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催
6	観光・飲食業に関すること ＝観光・飲食部会＝
◎	(1) ウィズコロナを見据えた観光資源を活用する誘客事業への協力
◎	(2) ウィズコロナを見据えた地域飲食店の繁盛支援
◎	(3) 新型コロナウイルス感染症等に関する情報の提供
	(4) 関係機関等との連携の強化

総括的概要

施策体系

Ⅰ 定款・規約等

Ⅱ 組織

Ⅲ 議員選挙
役員・議員
の選任

Ⅳ 事務局

Ⅴ 庶務

Ⅵ 会議

Ⅶ 事業Ⅰ
活力ある
福島の創造

Ⅶ 事業Ⅱ
会員事業所
の発展

Ⅶ 事業Ⅲ
魅力ある
商工会議所

Ⅶ 事業
経営改善
普及事業他

Ⅷ 登録

Ⅸ 事務所等

Ⅹ 団体加入
および連携

Ⅺ その他の
会議等への
参加

7	情報・通信業に関すること ＝情報・通信部会＝
◎	(1) 経営のデジタル化に取り組む会員事業所への支援
◎	(2) 会員事業所の情報発信力向上への支援・協力
	(3) 部会員の自社紹介を通じた相互理解の促進
8	不動産業に関すること ＝不動産部会＝
◎	(1) 快適で魅力あるまちづくりと都心居住の推進
◎	(2) 今後の住宅ニーズの動向に関する調査および対策
	(3) コロナ禍の業界への影響に関する調査および対策
	(4) 会員事業所への情報の提供
9	健康・社会サービス業に関すること ＝健康・社会サービス部会＝
◎	(1) 健康経営の推進
◎	(2) コロナ禍における生産性向上の支援
	(3) 部会員相互の理解と交流のための部会員スピーチや意見交換等の実施
	(4) 会員事業所への情報提供

Ⅱ－L 福利厚生の実施

1	会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実
	(1) 生命共済制度 [エール共済]・個人保険の普及・拡大
	① 共済キャンペーン強化による共済加入者数の維持
	② 共済未加入会員への職員巡回による加入促進
	(2) 提携損害保険の推進
	(3) 特定退職金共済制度の普及・拡大
	(4) 小規模企業共済制度の普及・拡大
	(5) 共済加入者還元事業の充実
	(6) 生活習慣病健診による会員事業所経営者・従業員の健康推進
	(7) 人間ドックの充実

施策 Ⅲ

魅力ある商工会議所 (商工会議所の活性化)

Ⅲ－A 商工会議所の運営強化

重点	1	第31期議員改選 (任期：令和4年11月1日～令和7年10月31日)
	2	運営強化のための会議等の充実
		(1) 常議員会・議員懇話会の充実
		(2) 正副会頭と部会長・委員長会議の開催
		(3) 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催
		(4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催
		(5) 他地区商工会議所の視察および懇談会の開催
		(6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催
		(7) 福島市新年市民交歓会の開催
	3	商工会議所組織の活性化に関すること
新規重点	(1)	議員改選を機に現状に合わせた委員会の見直しの検討
	(2)	部会・委員会の活性化
	4	会員サービス事業の向上
		(1) 会員交流事業の充実（会員交流会、新入会員交流会、ビアパーティーの実施）
		(2) 共済加入者還元事業の実施
		(3) 経営に役に立つ！WEBセミナーの配信と広報活動の展開
		(4) オリジナルカレンダーの作成・配布
	5	女性会・青年部の運営支援と連携強化
		(1) 福島商工会議所女性会の運営
		(2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営
		① 全国商工会議所女性会連合会2022福島全国大会（10月7日・8日）の受入れ
		(3) 福島商工会議所青年部の運営
		(4) 各種事業への支援と連携強化
	6	福島県商工会議所連合会の運営
		(1) 各種会議の開催（会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）
		(2) 福島県等への要望の実施
		(3) 風評被害・風化対策事業の実施
		(4) 県内商工会議所職員研修の実施
	7	外郭団体との連携
		(1) 福島市商店街連合会
		(2) 福島市商店街連合会青年部
		(3) 福島青色申告会連合会
		(4) 福島市青色申告会
		(5) 福島県珠算連盟
		(6) 福島珠算連盟
		(7) 福島わらじまつり実行委員会 福島夏まつり委員会

(8) 福島エネルギー懇談会
(9) 東北経済連合会福島地域懇談会
(10) 福島県警察官友の会連合会
(11) 福島地区警察官友の会
(12) 福島県自衛隊協会連合会
(13) 福島市自衛隊協会
(14) 福島県クリーンふくしま運動推進協議会 県北地域協議会
(15) 福島リサイクル推進協議会
(16) ふくしま台湾友好協会
(17) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会
(18) 福島市にサッカースタジアムを作る会
(19) 大相撲大波三兄弟福島後援会
(20) 福島駅東西エリア一体化推進協議会
(21) ふくしま笑面会

重点	Ⅲ-B 商工会議所の情報発信力（見える化）の強化
1	情報戦略の構築
	(1) 会員事業所への情報発信の強化
重点	①SNSを活用したセミナー、イベント等の開催案内など情報発信力の強化
	(2) 未加入事業所と市民への情報発信の研究・強化
	(3) メディアへの情報発信
	① マスコミとの意見交換会の開催
	② 各種メディアによる情報発信
2	所報ふくしまの発行と内容のさらなる充実
新規	(1) 所報のカラー化の検討
3	ホームページおよびICT環境の整備促進
	(1) ホームページのリニューアル
4	資料提供の拡充・強化

Ⅲ－C 運営基盤の強化	
重点	1 組織の充実および財政基盤の充実・安定化
	(1) 組織率40%達成に向けた会員増強運動の実施
	①職員巡回による加入促進
	②新設法人に対する加入促進
	(2) 共済制度加入者の維持拡大
	①共済キャンペーン強化による共済加入者数の維持
	②共済未加入会員への職員巡回による加入促進
	(3) 提携損害保険の推進
新規	①損保各社との連携による損害保険の加入拡大
	(4)『商工会議所活用ガイド』ダイジェスト版の改定と非会員への周知
Ⅲ－D 事務局機能の強化	
	1 所内の新型コロナウイルス感染症対策の徹底
	2 職場におけるメンタルヘルス・ハラスメント対策の徹底
	3 環境変化に対応した支援組織としての組織のあり方の検討
	4 職員の経営支援能力等の向上
	(1)経営指導員、経営指導補助員研修会など職層に応じた各種研修への参加
新規	5 デジタル化に対応する職員の育成
	6 働き方改革の推進
重点	7 デジタル化の推進による各種業務の見直しおよび改善の徹底
	①経理システムの改善
	②FAXから電子メールへの切り替え
	③テレワーク導入に向けた就業規則、機器類等の整備等
	④共済事務の効率化
新規	8 商工会議所のSDGs対応の推進
	(1)商工会議所環境アクションプランの検討
	9 法令順守体制の強化

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

I

定款および規約等

※下線部分は変更箇所を示す

1 定 款

定款の改正

な し

2 規 約

規則等の改正

(1) 委員会規則の一部改正

- 改正決議 令和4年12月6日 第3回常議員会
- 改正要旨 復興創生委員会を未来創生委員会へ名称変更
・委員会の名称変更（第2条）
- 施行期日 令和4年12月6日

(2) 職員給与規則の一部改正

- 改正決議 令和4年12月6日 第3回常議員会
- 改正要旨 小規模事業経営改善支援事業費の補助対象職員への人件費補助の変更に伴う職員給与規則の改正
・給料表の改定（第5条）
・期末手当の見直し（第20条）
・勤勉手当の見直し（第21条）
- 施行期日 令和4年12月1日

(3) 事務局の組織等に関する規則の一部改正

- 改正決議 令和5年3月28日 第6回常議員会
- 改正要旨 新たな役職として、主任調査役及び調査役を設置するための改正
・その他の職員（第10条）
- 施行期日 令和5年4月1日

(4) 職員就業規則の一部改正

- 改正決議 令和5年3月28日 第6回常議員会
- 改正要旨 年次有給休暇の請求の際、休暇承認簿により所属長の下承を得て休暇を取得しているが、職員毎の一覧性が無く取得状況や残日数等の確認が困難であることからの様式変更、併せて、特別休暇等・病気休暇の請求の際の様式についても変更
・年次有給休暇（第31条）、特別休暇等（第35条）、病気休暇（第36条）
- 施行期日 令和5年4月1日

(5) 育児・介護休業規則の一部改正

■改正決議	令和5年3月28日	第6回常議員会
■改正要旨	改正育児介護休業法の一環として令和4年10月1日から、男女とも仕事と育児を両立できるようにするため「出生時育児休業制度」（産後パパ育休）が創設され、また育児休業の分割取得が可能となることを受けての改正	
	・育児休業の対象者（第2条）、育児休業の申出の手続等（第3条）、育児休業の申出の撤回等（第4条）、育児休業の期間等（第5条）、出生時育児休業の対象者（第6条）、出生時育児休業の申出の手続等（第7条）、出生時育児休業の申出の撤回等（第8条）、出生時育児休業の期間等（第9条）、介護休業の対象者（第10条）、介護休業の申出の手続等（第11条）、介護休業の申出の撤回等（第12条）、介護休業の期間等（第13条）、子の看護休暇（第14条）、介護休暇（第15条）、育児・介護のための所定外労働時間の制限（第16条）、育児・介護のための時間外労働の制限（第17条）、育児介護のための深夜業の制限（第18条）、育児短時間勤務（第19条）、介護短時間勤務（第20条）、円滑な取得および職場復帰支援（第23条）	
■施行期日	令和5年4月1日	

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅱ 組 織

1 会 員

1. 会 員 数

() 内は前年度末数

①年度末会員数

②区分別会員数

③地区別会員数

④会費持口数別（選挙権者数）会員数

3,671
(3,716)
新規 129
退会 174

個人 1,264 (1,285)
新規81／退会100
※法人へ異動5／団体へ異動2／法人より異動5
法人 2,337 (2,361)
新規48／退会72
※個人へ異動5／個人より異動5
団体 70 (70)
新規0／退会2
※個人より異動2

地区内会員数
3,401
地区外会員数
270

100口以上／	50票	59会員
50～99口／	50票	74会員
30～49口／	30～49票	12会員
10～29口／	10～29票	64会員
5～9口／	5～9票	131会員
2～4口／	2～4票	1,940会員
1口／	1票	1,391会員

2. 部 会

部 会 名	所 属 業 種	部会員数
食品商業部会	食品関連卸・小売、農業 等	252
生活関連商業部会	食品関連以外の商品を取扱う卸・小売、貨物・倉庫等運輸関係 等	657
工業部会	製造全般、自動車整備、広告・看板製造 等	407
建設業部会	建設業、建設材料卸業、各種計画・設計・監理 等	744
金融・経営支援部会	金融、証券、保険関係、弁護士・経営コンサルタント・中小企業診断士・公認会計士・税理士・社会保険労務士・行政書士 等	187
観光・飲食部会	旅客鉄道・バス・タクシー等輸送関係、飲食、旅館・ホテル、旅行、観光農園 等	445
情報・通信部会	新聞・放送、ICT関連、広告代理店、ソフトウェア関連開発 等	126
不動産業部会	不動産取引業、不動産賃貸・管理（ビルメンテナンス・駐車場管理含む）、土地家屋調査士・不動産鑑定士・司法書士 等	196
健康・社会サービス部会	医療・福祉・介護、理美容、生活衛生、リサイクル・環境関連、各種学校・教室、冠婚葬祭、警備、各種サービス 等	657
合 計		3,671

3. 委 員 会

※議員、女性会、青年部で構成

委 員 会 名	活 動 目 的	委 員 数
総務委員会	商工会議所の組織運営に関すること	20
未来創生委員会	復興対策および将来ビジョンに関すること	34
中小企業振興委員会	企業支援および販路拡大に関すること	30
観光交流委員会	観光振興および交流人口拡大に関すること	23
中心市街地活性化委員会	商業振興および中心市街地活性化に関すること	23
雇用育成委員会	雇用対策および人材育成に関すること	20
合 計		150

2 特定商工業者



3 役 員

区 分	定 数	実 数
会 頭	1 名	1 名
副 会 頭	4 名	4 名
専 務 理 事	1 名	1 名
理 事	2 名以内	2 名
常 議 員	43名	43名
監 事	3 名	3 名
計	52～54名	54名

※常議員、監事は50音順

地 位	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
会 頭	渡 邊 博 美	福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長	食料品卸・小売業
副 会 頭	菅 野 日出喜	菅野建設(株) 代表取締役	建設業
〃	坪 井 大 雄	福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長	旅客運送業
〃	大 槻 博 太	大槻電設工業(株) 代表取締役	電気工事業
〃	須 藤 英 穂	(株)東邦銀行 専務取締役	金融業
専務理事	安 達 和 久	福島商工会議所	
常 議 員	伊 藤 信 弘	(株)いちい 代表取締役社長	各種商品小売業
〃	内 池 浩	内池醸造(株) 代表取締役会長	調味料製造業
〃	加 藤 利 夫	加藤鉄工(株) 代表取締役会長	金属製品製造業
〃	川 瀬 成 人	(株)川瀬酒販 代表取締役	酒類小売業
〃	清 野 弘	北芝電機(株) 取締役社長	電気器具製造業
〃	吾 妻 学	キョウワプロテック(株) 代表取締役	総合ビル管理業
〃	倉 島 卓 史	(株)クラシマ 代表取締役社長	石油卸売業
〃	菅 野 孝太郎	こころネット(株) 代表取締役社長	冠婚葬祭・石材業
〃	後 藤 忠 久	(株)後藤歯科商店 代表取締役	歯科機材販売業
〃	小 林 仁 一	コバックス(株) 代表取締役	管工事業
〃	渡 邊 和 裕	(株)山水荘 代表取締役	旅館業
〃	千 葉 政 行	(株)サン・ベンディング福島 代表取締役	清涼飲料水販売業

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事務局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の 発 展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事 業
経 営 改 善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参 加

地 位	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
常 議 員	三 枝 通 晃	サンヨー缶詰(株) 代表取締役社長	食料品製造業
〃	大和田 知 昭	(株)大丸工務店 代表取締役	建設業
〃	馬 場 智 和	(株)ダイユーエイト 取締役管理部長	日用品雑貨小売業
〃	仲 尾 雅 至	(株)テレビユー福島 代表取締役社長	放送業
〃	安 部 宏	東栄物産(株) 代表取締役会長	不動産業
〃	佐久間 政 文	東信建設(株) 代表取締役	建設業
〃	日下部 達	東北電力(株)福島支店 執行役員福島支店長	電気供給業
〃	佐久間 信 幸	(株)日進堂印刷所 代表取締役社長	印刷業
〃	桃 井 三 夫	(株)日新土建 代表取締役	建設業
〃	大 橋 廣 治	日東物産(株) 取締役会長	内装工事業
〃	長 沼 伸 明	日東紡績(株)福島工場 工場長兼福島製造部長	繊維製造業
〃	畠 山 良 平	東日本電信電話(株)福島支店 支店長	電気通信業
〃	加 藤 容 啓	(株)福島銀行 取締役社長	金融業
〃	畠 利 行	福島県信用保証協会 会長	金融業
〃	村 上 伸一郎	福島交通(株) 福島支社長	旅客運送業
〃	小 河 日出男	福島市商店街連合会 会長	小売商業団体
〃	樋 口 郁 雄	福島信用金庫 理事長	金融業
〃	登 坂 明 弘	福島製鋼(株) 代表取締役社長	鉄鋼業
〃	百 田 昭 洋	(株)福島製作所 代表取締役	船舶用機器製造業
〃	横 山 淳	福島テレビ(株) 代表取締役社長	放送業
〃	蔵 敷 大 浩	福島トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	自動車小売業
〃	金 子 與志幸	福島日産自動車(株) 代表取締役社長	自動車小売業
〃	石 本 朗	(株)福島丸公 代表取締役会長	水産物卸売業
〃	中 尾 富 安	(株)福島民報社 専務取締役	新聞発行業
〃	中 川 俊 哉	福島民友新聞(株) 代表取締役社長	新聞発行業
〃	右 近 八 郎	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長	携帯電話等小売業
〃	鈴 木 宏 幸	(株)杜設計 代表取締役	建築設計業
〃	山 川 彬	(株)山川印刷所 専務取締役	印刷業
〃	畠 隆 章	(有)吉川屋 代表取締役会長	旅館業
〃	松 本 良 市	(株)ラジオ福島 常務取締役経営戦略本部長	ラジオ放送業
〃	山 岸 則 紀	ワイザーエル(株) 取締役会長	梱包資材製造業
監 事	博 多 義 雄	朝日システム(株) 代表取締役会長	情報処理サービス業
〃	加 藤 守	協三工業(株) 代表取締役社長	輸送用機械器具製造業
〃	大 沼 健 次	ネッツトヨタ福島(株) 取締役会長	自動車小売業
理 事	日下部 之 彦	福島商工会議所	
〃	椿 哲	福島商工会議所	

4 議員定数

区 分	内 容	人 数
選 挙 議 員（１号議員）	会員・特定商工業者の選挙による選任	86名
部会選出議員（２号議員）	業種別に設置された部会による選任	27名
推 薦 議 員（３号議員）	選定委員会による選任	17名
計		130名

1. 選挙議員（86名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏 名	企業の名称・企業上の地位	業 種
議 員	橋 本 修 一	アクサ生命保険(株)福島営業所 所長	保険業
監 事	博 多 義 雄	朝日システム(株) 代表取締役会長	情報処理サービス業
議 員	菅 野 寿 夫	アサヒ通信(株) 代表取締役	電気機械器具製造業
〃	阿 部 裕 治	(株)阿部紙工 代表取締役社長	印刷業
〃	相 良 元 章	(株)アポロガス 代表取締役	燃料小売業
〃	上 西 和 子	入三機材(株) 代表取締役	建設業
〃	岩 見 孝 之	(株)岩見 代表取締役	業務用食品卸売業
〃	高 橋 信 夫	(株)インフォメーション・ネットワーク福島 代表取締役社長	情報処理業
〃	岡 部 政 美	(株)エスケーコーポレーション 代表取締役会長	不動産管理業
〃	寺 田 幸 彦	NECプラットフォームズ(株)福島事業所 福島生産本部長	通信機器製造業
〃	池 崎 雅 人	NOK(株) 執行役員オイルシール事業部長	輸送用機械器具製造業
〃	追 分 拓 哉	(株)追分 代表取締役会長	酒類小売業
〃	五十嵐 俊 道	(株)オノヤスポーツ 代表取締役	スポーツ用品小売業
〃	小 林 勇 一	(株)家具のこばやし 代表取締役	家具販売業
常議員	清 野 弘	北芝電機(株) 取締役社長	電気器具製造業
監 事	加 藤 守	協三工業(株) 代表取締役社長	輸送用機械器具製造業
常議員	倉 島 卓 史	(株)クラシマ 代表取締役社長	石油卸売業
議 員	八 巻 正 衛	倉島商事(株) 顧問	燃料小売業
常議員	小 林 仁 一	コバックス(株) 代表取締役	管工事業
議 員	小 林 健 夫	小林土木(株) 会長	建設業
〃	古 俣 猛	(株)古俣工務店 代表取締役社長	建設業
常議員	千 葉 政 行	(株)サン・ベンディング福島 代表取締役	清涼飲料水販売業
〃	三 枝 通 晃	サンヨー缶詰(株) 代表取締役社長	食料品製造業
議 員	山 本 潤 也	(株)七十七銀行福島支店 支店長	金融業
〃	渋谷 順 子	渋谷レックス(株) 取締役会長	菓子・食品卸売業
〃	早 坂 一 美	(株)商工組合中央金庫福島支店 支店長	金融業
〃	大 輪 昌 広	(株)常陽銀行福島支店 支店長	金融業
〃	古 川 幸 治	(株)第一印刷 代表取締役社長	印刷業
〃	大 内 弘 之	第一温調工業(株) 代表取締役	管工事業
〃	大 村 雅 恵	大和自動車交通(株) 代表取締役社長	旅客運送業
〃	高 橋 良 行	(株)高橋設備工業所 代表取締役	管工事業
〃	多 勢 弘 之	(株)タカムラ 代表取締役社長	建設資材卸売業
〃	林 克 重	タカラ印刷(株) 取締役会長	印刷業
〃	多 田 恵 造	多田建設(株) 代表取締役	建設業
〃	加 藤 貴 之	(福) 多宝会 理事長	高齢者介護施設事業

総括的概要

施策体系

I 定 款・
規 約 等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活 力 有 る
福島の創造

VII 事業 II
会 員 事 業 所
の 発 展

VII 事業 III
魅 力 有 る
商 工 会 議 所

VII 事 業
経 営 改 善
普 及 事 業 他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会 議 等 へ の
参 加

役職名	氏 名	企業の名称・企業上の地位	業 種
議 員	尾 越 建 一	(株)帝北ロジスティックス 代表取締役	貨物運送業
〃	佐 藤 ミヨ子	(有)鐵扇屋 代表取締役会長	寝装具小売業
〃	作 田 謙太郎	(株)電工社 代表取締役	電気設備工事業
〃	三 浦 康 伸	東開クレテック(株) 代表取締役社長	建設資材卸売業
〃	高 野 次 郎	東開工業(株) 代表取締役	建設用金属製品製造業
〃	守 正 樹	東京電力ホールディングス(株)福島復興本社 副代表	電気供給業
〃	小 口 直 孝	東北サーモ(株) 代表取締役社長	ポリエチレンフィルム製造業
〃	五十畑 昌 之	東北自興(株) 代表取締役社長	帆布製品製造業
〃	阿 部 公 哉	東北電力ネットワーク(株)福島支社 福島支社長	電気供給業
〃	守 山 勝 雄	トーホー産業(株) 代表取締役会長	包装資材卸売業
〃	西 川 仁	西川サッシ販売(株) 代表取締役社長	建設資材卸売業
常議員	佐久間 信 幸	(株)日進堂印刷所 代表取締役社長	印刷業
〃	桃 井 三 夫	(株)日新土建 代表取締役	建設業
議 員	占 部 恵 太	日東産業(株) 代表取締役	一般廃棄物収集運搬業
常議員	大 橋 廣 治	日東物産(株) 取締役会長	内装工事業
議 員	杉 山 淳	日本中央競馬会福島競馬場 場長	競馬開催業
〃	中 川 宏 生	(株)ニューメディア福島センター 常務取締役福島センター長	有線放送・情報通信業
監 事	大 沼 健 次	ネッツトヨタ福島(株) 取締役会長	自動車小売業
議 員	佐々木 高 敏	東日本旅客鉄道(株)福島統括センター 福島駅長	旅客運送業
〃	樋 口 幸 一	(株)樋口商店 代表取締役社長	燃料小売業
〃	桜 田 葉 子	(学) 福島学院 理事長・学長	学校業
〃	西 形 吉 和	福島ガス(株) 代表取締役社長	ガス供給業
〃	相 馬 克 良	福島キヤノン(株) 代表取締役社長	精密機械器具製造業
〃	藤 田 博 文	福島県酒類卸(株) 代表取締役会長	酒類卸売業
常議員	畠 利 行	福島県信用保証協会 会長	金融業
議 員	河原田 浩 喜	(株)福島県中央計算センター 代表取締役社長	情報処理業
常議員	村 上 伸一郎	福島交通(株) 福島支社長	旅客運送業
議 員	鈴 木 一 海	福島コミュニティ放送(株) 代表取締役社長	ラジオ放送業
〃	八 島 洋 一	福島市観光開発(株) 代表取締役社長	市有財産管理運営
〃	寺 崎 洋 通	福島水産物商業（協） 常務理事	水産物小売業
〃	江 花 景 二	(株)福島中央テレビ福島支社 福島支社長	放送業
〃	吉 川 昭	福島ネオ工業(株) 代表取締役社長	管工事業
〃	佐戸川 政 実	福島鋳金工業(株) 代表取締役社長	鋳金製品製造業
〃	佐 藤 吉 宗	(株)福島放送福島支社 執行役員福島支社長	放送業
〃	草 野 健	(株)福島まちづくりセンター 常務取締役	産業業務支援
常議員	中 尾 富 安	(株)福島民報社 専務取締役	新聞発行業
〃	中 川 俊 哉	福島民友新聞(株) 代表取締役社長	新聞発行業
議 員	澁 谷 修 一	(有)福島熔材工業所 代表取締役社長	精密機械加工業
〃	泉 田 達 夫	文化設備工業(株) 代表取締役	管工事業
〃	中 野 義 久	(株)文化堂 代表取締役社長	事務用機器小売業
常議員	右 近 八 郎	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長	携帯電話等小売業
議 員	菅 野 晋	丸進機業(株) 代表取締役社長	絹織物製造業
〃	齋 藤 嘉 紀	丸藤ガラス(株) 代表取締役社長	ガラス製品卸売業
〃	村 山 成 也	(株)みずほ銀行福島支店 支店長	金融業
〃	遠 藤 武 義	みちのく陸運(株) 代表取締役社長	貨物運送業
〃	三 宅 一 秀	(株)三宅新聞店 代表取締役	新聞販売業

役職名	氏 名	企業の名称・企業上の地位	業 種
常議員	山 川 彬	(株)山川印刷所 専務取締役	印刷業
議 員	佐 藤 允 昭	山正酸素(株) 代表取締役会長	ガス製造販売業
〃	安 部 正 弘	(株)彌満和製作所福島工場 執行役員工場長	機械部品製造業
〃	中 畑 俊 二	(株)ユアテック福島支社 常務執行役員支社長	電気・管工事業
〃	村 山 広 一	陽光社印刷(株) 代表取締役	印刷業

議員職務執行者の変更（選挙議員）

- 令和4年4月1日 (株)SHG・セレクトン福島 山形支社副支社長 大沼 広人（前任：取締役総支配人 武川 修一）
- 令和4年4月1日 NECプラットフォームズ(株)福島事業所 福島生産本部長 寺田 幸彦（前任：福島事業所責任者 栗島 光久）
- 令和4年4月1日 (株)福島中央テレビ福島支社 福島支社長 江花 景二（前任：福島支社長 小林 典子）
- 令和4年4月1日 (株)みずほ銀行福島支店 支店長 村山 成也（前任：支店長 伊藤 雄治）
- 令和4年4月7日 (株)常陽銀行福島支店 支店長 大輪 昌広（前任：支店長 岡崎 貴）
- 令和4年6月24日 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 代表取締役社長 高橋 信夫（前任：代表取締役社長 横澤 靖）
- 令和4年6月30日 福島市観光開発(株) 代表取締役社長 八島 洋一（前任：代表取締役社長 渡邊 勉）
- 令和4年7月1日 東北電力ネットワーク(株)福島支社 福島支社長 阿部 公哉（前任：執行役員福島支社長 青野 浩文）
- 令和4年12月22日 文化設備工業(株) 代表取締役 泉田 達夫（前任：代表取締役会長 先崎 良博）
- 令和5年1月1日 アクサ生命保険(株)福島営業所 所長 橋本 修一（前任：所長 麻生 大）
- 令和5年2月1日 NOK(株) 執行役員オイルシール事業部長 池崎 雅人（前任：常務執行役員オイルシール事業部長 矢野 武臣）
- 令和5年2月26日 福島水産物商業(協) 常務理事 寺崎 洋通（前任：専務理事 涌井 敏秀）
- 令和5年3月1日 (株)七十七銀行福島支店 支店長 山本 潤也（前任：支店長 松川 浩司）
- 令和5年3月1日 日本中央競馬会福島競馬場 場長 杉山 淳（前任：場長 藪 政勝）
- 令和5年3月1日 (株)彌満和製作所福島工場 執行役員工場長 安部 正弘（前任：執行役員工場長 内田 靖）

新任議員

- 令和4年11月1日 福島キヤノン(株) 代表取締役社長 相馬 克良
- 令和4年11月1日 (株)文化堂 代表取締役社長 中野 義久

退任議員

- 令和5年3月31日 多田建設(株) 代表取締役 多田 恵造

2. 部会選出議員（27名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏 名	企業の名称・企業上の地位	業 種
議 員	櫻 内 宣 仁	(株)秋田銀行福島支店 支店長	金融業
常議員	伊 藤 信 弘	(株)いちい 代表取締役社長	各種商品小売業
議 員	手 塚 健 一	(株)ウェディングエルティ 代表取締役社長	結婚式場業
副会頭	大 槻 博 太	大槻電設工業(株) 代表取締役	電気工事業
議 員	土 田 淳	(一財)大原記念財団 副理事長	病院業
常議員	加 藤 利 夫	加藤鉄工(株) 代表取締役会長	金属製品製造業
〃	川 瀬 成 人	(株)川瀬酒販 代表取締役	酒類小売業
〃	吾 妻 学	キョウワプロテック(株) 代表取締役	総合ビル管理業
議 員	反 後 堯 雄	(株)クリーンテック 相談役名誉会長	産業廃棄物処理業
常議員	後 藤 忠 久	(株)後藤歯科商店 代表取締役	歯科機材販売業
議 員	八 卷 恵 一	佐藤工業(株) 代表取締役社長	建設業
〃	橋 本 基 一	仙台ターミナルビル(株)SC事業本部エスパル福島 執行役員エスパル福島店長	各種商品小売業

総括的概要

施策体系

I 定 款・
規 約 等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の 発 展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事 業
経 営 改 善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参 加

役職名	氏 名	企業の名称・企業上の地位	業 種
〃	畑 中 敦 志	(株)大東銀行福島支店 執行役員福島支店長兼福島南支店長	金融業
常議員	大和田 知 昭	(株)大丸工務店 代表取締役	建設業
〃	安 部 宏	東栄物産(株) 代表取締役会長	不動産業
〃	佐久間 政 文	東信建設(株) 代表取締役	建設業
副会頭	坪 井 大 雄	福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長	旅客運送業
常議員	小 河 日出男	福島市商店街連合会 会長	小売商業団体
〃	登 坂 明 弘	福島製鋼(株) 代表取締役社長	鉄鋼業
〃	百 田 昭 洋	(株)福島製作所 代表取締役	船舶用機器製造業
〃	石 本 朗	(株)福島丸公 代表取締役会長	水産物卸売業
議 員	蒲 倉 達 也	福島リコピー(株) 代表取締役	事務機器卸売業
〃	齋 藤 武 二	(株)峰亀 代表取締役会長	飲食業
常議員	鈴 木 宏 幸	(株)杜設計 代表取締役	建築設計業
〃	畠 隆 章	(有)吉川屋 代表取締役会長	旅館業
〃	松 本 良 市	(株)ラジオ福島 常務取締役経営戦略本部長	ラジオ放送業
〃	山 岸 則 紀	ワイザーエル(株) 取締役会長	梱包資材製造業

議員職務執行者の変更（部会選出議員）

- 令和4年4月1日 仙台ターミナルビル(株)エスパル福島 店長 橋本 基一（前任：店長 大村 信裕）
- 令和4年4月4日 (株)大東銀行福島支店 福島ブロック長兼福島支店長兼福島南支店長 畑中 敦志
（前任：福島ブロック長兼福島支店長兼福島南支店長 桑原 浩二）
- 令和4年6月17日 福島製鋼(株) 代表取締役社長 登坂 明弘（前任：代表取締役社長 福谷 宏介）
- 令和4年7月1日 (株)ラジオ福島 常務取締役経営戦略本部長 松本 良市（前任：会長 半野 秀一）

3. 推薦議員（17名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏 名	企業の名称・企業上の地位	業 種
常議員	内 池 浩	内池醸造(株) 代表取締役会長	調味料製造業
副会頭	菅 野 日出喜	菅野建設(株) 代表取締役	建設業
常議員	菅 野 孝太郎	こころネット(株) 代表取締役社長	冠婚葬祭・石材業
議 員	紺 野 道 昭	(株)こんの 代表取締役	再生資源卸売業
常議員	渡 邊 和 裕	(株)山水荘 代表取締役	旅館業
〃	馬 場 智 和	(株)ダイユーエイト 取締役管理部長	日用品雑貨小売業
〃	仲 尾 雅 至	(株)テレビユー福島 代表取締役社長	放送業
副会頭	須 藤 英 穂	(株)東邦銀行 専務取締役	金融業
常議員	日下部 達	東北電力(株)福島支店 執行役員福島支店長	電気供給業
〃	長 沼 伸 明	日東紡績(株)福島工場 工場長兼福島製造部長	繊維製造業
〃	畠 山 良 平	東日本電信電話(株)福島支店 支店長	電気通信業
〃	加 藤 容 啓	(株)福島銀行 取締役社長	金融業
〃	樋 口 郁 雄	福島信用金庫 理事長	金融業
〃	横 山 淳	福島テレビ(株) 代表取締役社長	放送業
〃	蔵 敷 大 浩	福島トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	自動車小売業
〃	金 子 與志幸	福島日産自動車(株) 代表取締役社長	自動車小売業
会 頭	渡 邊 博 美	福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長	食料品卸・小売業

議員職務執行者の変更（推薦議員）

- 令和4年4月1日 東北電力㈱福島支店 執行役員福島支店長 日下部 達（前任：執行役員福島支店長 二階堂宏樹）
- 令和4年4月1日 福島日産自動車㈱ 代表取締役社長 金子與志幸（前任：代表取締役社長 金子與志人）
- 令和4年6月30日 ㈱テレビユー福島 代表取締役社長 仲尾 雅至（前任：代表取締役社長 新田 良一）
- 令和4年7月1日 日東紡績㈱福島工場 工場長兼福島製造部長 長沼 伸明
（前任：執行役グラスファイバー事業部門生産本部長兼福島工場長 梶田 明正）

5 正副部会長

（敬称略）

部会名と部会役職名		氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
食品商業部会	部 会 長	川 瀬 成 人	㈱川瀬酒販 代表取締役	酒類小売業
	副部会長	千 葉 政 行	㈱サン・ベンディング福島 代表取締役	清涼飲料水販売業
		渋谷 順 子	渋谷レックス㈱ 取締役会長	菓子・食品卸売業
		吾 妻 イ ネ	(有)吾妻屋 代表取締役社長	食肉卸売業
		遠 藤 淳 弘	福島水産㈱ 代表取締役社長	鮮魚卸売業
		池 田 進 二	福島中央青果卸売㈱ 代表取締役社長	青果物卸売業
生活関連商業部会	部 会 長	右 近 八 郎	㈱マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長	携帯電話等小売業
	副部会長	伊 藤 信 弘	㈱いちい 代表取締役社長	各種商品小売業
		倉 島 卓 史	㈱クラシマ 代表取締役社長	石油卸売業
		後 藤 忠 久	㈱後藤歯科商店 代表取締役	歯科機材販売業
		馬 場 智 和	㈱ダイユーエイト 取締役管理部長	日用品雑貨小売業
		大 沼 健 次	ネッツトヨタ福島㈱ 取締役会長	自動車小売業
		小 河 日出男	福島市商店街連合会 会長	小売商業団体
		蔵 敷 大 浩	福島トヨタ自動車㈱ 代表取締役社長	自動車小売業
工業部会	部 会 長	加 藤 利 夫	加藤鉄工㈱ 代表取締役会長	金属製品製造業
	副部会長	内 池 浩	内池醸造㈱ 代表取締役会長	調味料製造業
		加 藤 守	協三工業㈱ 代表取締役社長	輸送用機械器具製造業
		三 枝 通 晃	サンヨー缶詰㈱ 代表取締役社長	食料品製造業
		佐久間 信 幸	㈱日進堂印刷所 代表取締役社長	印刷業
		長 沼 伸 明	日東紡績㈱福島工場 工場長兼福島製造部長	繊維製造業
		登 坂 明 弘	福島製鋼㈱ 代表取締役社長	鉄鋼業
		百 田 昭 洋	㈱福島製作所 代表取締役	船舶用機器製造業
		山 川 彬	㈱山川印刷所 専務取締役	印刷業
建設業部会	部 会 長	桃 井 三 夫	㈱日新土建 代表取締役	建設業
	副部会長	大和田 知 昭	㈱大丸工務店 代表取締役	建設業
		鈴 木 宏 幸	㈱杜設計 代表取締役	建築設計業
		大 橋 廣 治	日東物産㈱ 取締役会長	内装工事業
		小 林 仁 一	コバックス㈱ 代表取締役	管工事業
		小 林 健 夫	小林土木㈱ 会長	建設業
		吉 川 昭	福島ネオ工業㈱ 代表取締役社長	管工事業
金融・経営支援部会	部 会 長	樋 口 郁 雄	福島信用金庫 理事長	金融業
	副部会長	加 藤 容 啓	㈱福島銀行 取締役社長	金融業
		畠 利 行	福島県信用保証協会 会長	金融業
		鈴 木 洋 敬	東北税理士会福島支部 支部長	税理士団体

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

部会名と部会役職名		氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
観光・飲食部会	部 会 長	畠 隆 章	(有)吉川屋 代表取締役会長	旅館業
	副部会長	大 村 雅 恵	大和自動車交通(株) 代表取締役社長	旅客運送業
		佐々木 高 敏	東日本旅客鉄道(株)福島統括センター 福島駅長	旅客運送業
		菅 野 裕 輔	福島飲食業組合 組合長	飲食業団体
		村 上 伸一郎	福島交通(株) 福島支社長	旅客運送業
		八 島 洋 一	福島市観光開発(株) 代表取締役社長	市有財産管理運営
		高 橋 光 子	福島社交飲食業組合 組合長	社交飲食業団体
情報・通信部会	部 会 長	畠 山 良 平	東日本電信電話(株)福島支店 支店長	電気通信業
	副部会長	博 多 義 雄	朝日システム(株) 代表取締役会長	情報処理サービス業
		高 橋 信 夫	(株)インフォメーション・ネットワーク福島 代表取締役社長	情報処理業
		仲 尾 雅 至	(株)テレビユー福島 代表取締役社長	放送業
		横 山 淳	福島テレビ(株) 代表取締役社長	放送業
		中 尾 富 安	(株)福島民報社 専務取締役	新聞発行業
		中 川 俊 哉	福島民友新聞(株) 代表取締役社長	新聞発行業
		松 本 良 市	(株)ラジオ福島 常務取締役経営戦略本部長	ラジオ放送業
不動産部会	部 会 長	安 部 宏	東栄物産(株) 代表取締役会長	不動産業
	副部会長	岡 部 政 美	(株)エスケーコーポレーション 代表取締役会長	不動産管理業
		加 納 武 志	(有)菅野地所 代表取締役	不動産業
		斎 藤 伸 洋	(株)芭蕉堂 代表取締役	不動産業
		金 子 克 之	(株)北陽不動産鑑定事務所 代表取締役	不動産鑑定業
健康・社会サービス部会	部 会 長	吾 妻 学	キョウワプロテック(株) 代表取締役	総合ビル管理業
	副部会長	手 塚 健 一	(株)ウェディングエルティ 代表取締役社長	結婚式場業
		土 田 淳	(一財)大原記念財団 副理事長	病院業
		反 後 堯 雄	(株)クリーンテック 相談役名誉会長	産業廃棄物処理業

6 正副委員長

(敬称略)

委員会名	役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位
総 務 委 員 会	委 員 長	渡 邊 和 裕	(株)山水荘 代表取締役
	副委員長	右 近 八 郎	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長
		手 塚 健 一	(株)ウェディングエルティ 代表取締役社長
		林 克 重	タカラ印刷(株) 取締役会長
未 来 創 生 委 員 会	委 員 長	小 林 仁 一	コバックス(株) 代表取締役
	副委員長	八 巻 恵 一	佐藤工業(株) 代表取締役社長
		古 川 幸 治	(株)第一印刷 代表取締役社長
中小企業振興委員会	委 員 長	大和田 知 昭	(株)大丸工務店 代表取締役
	副委員長	佐 藤 允 昭	山正酸素(株) 代表取締役会長
		樋 口 幸 一	(株)樋口商店 代表取締役社長

委員会名	役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位
観 光 交 流 委 員 会	委 員 長	大 村 雅 恵	大和自動車交通(株) 代表取締役社長
	副委員長	畠 隆 章	(有)吉川屋 代表取締役会長
		佐々木 高 敏	東日本旅客鉄道(株)福島統括センター 福島駅長
中心市街地活性化委員会	委 員 長	小 河 日出男	福島市商店街連合会 会長
	副委員長	岡 部 政 美	(株)エスケーコーポレーション 代表取締役会長
		橋 本 基 一	仙台ターミナルビル(株)SC事業本部エスパル福島 執行役員エスパル福島 店長
		草 野 健	(株)福島まちづくりセンター 常務取締役
雇 用 育 成 委 員 会	委 員 長	西 形 吉 和	福島ガス(株) 代表取締役社長
	副委員長	大 橋 廣 治	日東物産(株) 取締役会長
		古 俣 猛	(株)古俣工務店 代表取締役

7 顧問・参与

(敬称略)

顧 問	金 子 恵 美	衆議院議員
	亀 岡 偉 民	衆議院議員
	森 まさこ	参議院議員
	佐 藤 正 久	参議院議員
	若 松 謙 維	参議院議員
	星 北 斗	参議院議員
	内 堀 雅 雄	福島県知事
	渡 辺 義 信	福島県議会議長
	木 幡 浩	福島市長
	真 田 広 志	福島市議会議長
	児 嶋 洋 平	福島県警察本部長
	三 浦 浩 喜	国立大学法人福島大学 学長
	橋 本 和 久	東北財務局福島財務事務所長
	井 口 真 嘉	福島労働局長
	清 水 茂	日本銀行福島支店長
	芳 見 弘 一	(株)福島民報社 代表取締役社長
	佐 藤 稔	(一社) 福島県銀行協会 代表理事会長
	浅 倉 俊 一	元会頭
参 与	橘 清 司	福島県企画調整部長
	小笠原 敦 子	福島県商工労働部長
	保 科 直 樹	福島警察署長
	江 川 智 明	福島公共職業安定所長
	加 藤 泰 広	福島市商工観光部長
	齋 藤 慎	(株)日本政策金融公庫福島支店 支店長兼中小企業事業統轄
	今 村 潤	(株)日本政策金融公庫福島支店 国民生活事業統轄

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅲ

議員選挙および役員議員の選任

1 議員の選挙

1. 推薦議員（3号議員）

- ・選任年月日 令和4年8月23日
- ・選出議員数 17名
- ・選任方法 推薦議員選任委員会において選考、選任された。

2. 部会選出議員（2号議員）

- ・選任年月日 令和4年8月24日～令和4年8月31日
- ・選出議員数 27名
- ・選任方法 各部会所属の会員数・会費持口数を勘案の上部会別割当議員数を決定し、各部会において互選により選任された。

部 会 名	選 任 年 月 日	選 出 議 員 数
食品商業部会	令和4年8月29日	2名
生活関連商業部会	令和4年8月31日	5名
工業部会	令和4年8月26日	4名
建設業部会	令和4年8月30日	5名
金融・経営支援部会	令和4年8月30日	2名
観光・飲食部会	令和4年8月26日	3名
情報・通信部会	令和4年8月31日	1名
不動産業部会	令和4年8月24日	1名
健康・社会サービス部会	令和4年8月29日	4名
合 計		27名

3. 選挙議員（1号議員）

- ・選任年月日 令和4年10月5日
- ・立候補者数 86名
- ・有権者数 3,592名
- ・選挙権数 22,586票
- ・選挙議員定数 86名
- ・選任方法 選挙議員立候補届出書が選挙議員定数である86事業所から提出されたため、「議員の選挙並びに選任に関する規則」に基づき投票は行わず、立候補者全員を当選と決定した。

2 役員の選任

1. 会頭・副会頭・専務理事・常議員・監事

- ・選任年月日 令和4年11月1日
- ・選任方法
会 頭 1名 臨時議員総会において満場一致で選任
副 会 頭 4名 臨時議員総会において同意を得て、会頭が指名
専務理事 1名 臨時議員総会において同意を得て、会頭が指名
常 議 員 43名 臨時議員総会において満場一致で選任
監 事 3名 臨時議員総会において満場一致で選任

2. 理 事

- ・選任年月日 令和4年11月1日
- ・選任方法 理 事 2名 臨時議員総会において同意を得て、会頭が指名

3. 顧問・参与

- ・選任年月日 令和4年11月1日
- ・選任方法
顧 問 18名 臨時議員総会において承認の上、会頭が委嘱
参 与 7名 臨時議員総会において承認の上、会頭が委嘱

3 役員議員の補充選任

1. 常議員補充選任

選任年月日と選任方法	被 選 任 常 議 員	
令和4年5月26日 通常議員総会において満場一致で承認	議 員	東北電力(株)福島支店 執行役員福島支店長 日下部 達 氏
令和4年8月23日 臨時議員総会において満場一致で承認	議 員	福島製鋼(株) 代表取締役社長 登坂 明弘 氏
	議 員	(株)テレビユー福島 代表取締役社長 仲尾 雅至 氏
	議 員	日東紡績(株)福島工場 工場長兼福島製造部長 長沼 伸明 氏
	議 員	(株)ラジオ福島 常務取締役経営戦略本部長 松本 良市 氏

2. 議員補充選任

な し

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の 発 展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参 加

IV 事務局

1 組織

部課名および所掌事務				職員数
理事 事務局長兼総合企画部長				1名
総合企画部	総務課	議員、人事、経理、庶務 等	5名	14名
	会員サービス課	会員管理募集、共済事業、雇用対策、女性会 等	4名	
	総合企画課	中心市街地活性化、所報、原子力災害対策、情報化、福島県商工会議所連合会 等	5名	
事業推進部	部長		1名	16名
	地域振興課	交流人口拡大、地域開発、まちづくり、商業振興、青年部等	8名	
	経営支援課	中小企業の経営相談・指導 等	7名	
合 計				31名

2 職員

1. 職員数

区分	一般職員	専門経営指導員	経営指導員	補助員	嘱託職員	臨時職員	計
男性	5名	3名	8名	4名	1名	0名	21名
女性	3名	0名	1名	1名	0名	5名	10名
計	8名	3名	9名	5名	1名	5名	31名

2. 主な職員

- 理事 事務局長兼総合企画部長 椿 哲
- 事業推進部長 大金 英一

3. その他の参考事項

年度内における新規採用職員および退職職員

- 新規採用職員 2名 渡 辺 渉 事業推進部地域振興課 主事
佐 藤 有 香 総合企画部総務課 主事
- 退職職員 1名 丹 野 典 之 総合企画部総合企画課 嘱託職員

1 文 書

受信件数 1,336件 / 発信件数 644件

2 授 章（福島商工会議所 推薦分）

1. 叙 勲 …………… 該当者なし
2. 褒 章 …………… 該当者なし
3. 福島県知事表彰 …………… 該当者なし
4. 日本商工会議所会頭表彰

- (1) 表彰規則第2条第1項に該当する役員・議員（退任）

受彰年月日	受 彰 者	勤続年数
令和4年9月15日	専務理事 石 井 浩 氏	8年7ヶ月

- (2) 表彰規則第3条に該当する職員（永年勤続）

受彰年月日	受 彰 者	勤続年数
令和4年9月15日	常議員 大 橋 廣 治 氏（日東物産(株) 取締役会長）	20年
令和5年3月23日	常議員 大和田 知 昭 氏（株大丸工務店 代表取締役）	30年

- (3) 表彰規則第3条に該当する職員（永年勤続）

受彰年月日	受 彰 者	勤続年数
令和4年9月15日	事業推進部 参事兼経営支援課長 今 野 秀 幸	30年
	事業推進部 地域振興課長 佐 藤 謙 二	30年

5. 東北六県商工会議所連合会会長表彰 ※表彰規定第2条1項に該当する役員・議員（永年勤続）

受彰年月日	受 彰 者	勤続年数
令和4年7月12日	常議員 加 藤 利 夫 氏（加藤鉄工(株) 代表取締役社長）	20年
	常議員 博 多 義 雄 氏（朝日システム(株) 代表取締役会長）	20年
	常議員 渡 邊 和 裕 氏（株山水荘 代表取締役）	20年
	常議員 佐久間 政 文 氏（東信建設(株) 代表取締役）	20年
	常議員 畠 隆 章 氏（(有)吉川屋 代表取締役会長）	20年
	監 事 加 藤 守 氏（協三工業(株) 代表取締役）	20年
	監 事 大 沼 健 次 氏（ネットヨタ福島(株) 取締役会長）	20年
	常議員 伊 藤 信 弘 氏（株いちい 代表取締役社長）	10年
	議 員 佐 藤 允 昭 氏（山正酸素(株) 代表取締役会長）	10年
	議 員 村 山 広 一 氏（陽光社印刷(株) 代表取締役）	10年

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

6. 福島県商工会議所連合会

(1) 福島県経済功労者表彰

受彰年月日	受 彰 者
令和4年7月1日	常議員 金子 與志人氏（福島日産自動車(株) 代表取締役社長）
	常議員 千葉 政 行氏（(株)サン・ベンディング福島 代表取締役）
	議 員 佐 藤 ミヨ子氏（(有)鐵扇屋 取締役会長）

(2) 職員表彰

該当者なし

7. 福島商工会議所

(1) 退任役員・議員等への感謝状贈呈

受彰年月日	受 彰 者
令和4年12月6日	前副会頭 後 藤 忠 久氏（(株)後藤歯科商店 代表取締役）
	前常議員 岩 見 政 弘氏（(株)岩見 取締役会長）
	前議員 西 形 健 吉氏（福島ガス(株) 代表取締役会長）
	前議員 西 川 博 美氏（西川サッシ販売(株) 代表取締役会長）
	前監事 大 橋 廣 治氏（日東物産(株) 取締役会長）
	前総務委員長 博 多 義 雄氏（朝日システム(株) 代表取締役会長）
	前復興創生委員長 伊 藤 信 弘氏（(株)いちい 代表取締役社長）
	前観光交流委員長 佐々木 高 敏氏（東日本旅客鉄道(株)福島統括センター 福島駅長）
	前雇用育成委員長 遠 藤 勝 利氏（(株)東邦銀行 常務執行役員本店営業部長）

3 名義承諾（後援・共催等）

令和4年	
5月24日	ふくしま新産業創造推進協議会総会特別講演会
6月25日	令和4年度福島市合同企業説明会
7月1日	令和4年度イブニングセミナー
7月4日～5日、12日～13日	高校生対象福島市内企業説明会
7月29日	人口の社会減と女性の定着に関する情報発信福島フォーラム
8月4日	生産性向上支援訓練
8月13日	フェスティバルFUKUSHIMA!
8月21日	第6回ヴォイスふくしま納涼祭
8月28日～10月8日	福島大学フォーラム2022
9月7日	第43回ふくしん会講演会
9月23日	第10回とっておきの音楽祭INふくしま2022
10月～2月	第18期ふくしま花案内人養成講座
10月1日～2日	第71回福島市発明くふう展
10月13日	パセオ通りプレミアムラリー&ふくしまキッチンカースタンプラリー オープニングセレモニー
10月13日～12月25日	ふくしまキッチンカースタンプラリー
10月13日～12月31日	よってmisse、きてmisse ～パセオ通りプレミアムラリー～
10月15日～10月16日	LIVE AZUMA 2022
10月17日～10月23日	第11回小学生ポスター展
10月19日	2022年度電話対応コンクール福島県大会
10月27日	令和4年度新規高卒者等就職面接会（福島会場）
11月1日～11月4日	令和4年度福島菊花展示会
11月3日	第20回あづまの郷ウォーク大会
〃	第16回もりんダッシュNo.1
〃	ふくしま市民活動フェスティバル2022
11月8日～11月10日	第17回福島アプリdeきて！みて！吞んでラリー2022
11月11日	第14回福島市社会福祉大会
11月12日	第29回市民無料相談会
11月23日	福島市男女共生セミナー2022
11月25日	第50回福島市交通安全市民大会
12月1日	マドリガーレコンサートvol. 2 愛と戦いの唄
12月2日	社労士会セミナー
12月2日～1月31日	2022光のしずくイルミネーション
12月11日	第23回あづま荒川クロスカントリー大会
12月21日	県内中小企業向け「DX推進セミナー」
令和5年	
2月9日	生産性向上支援訓練
2月21日	ふくしまものづくり企業交流会
3月5日	第43回福島自衛隊音楽祭
3月15日～8月31日	第18回花見山フォトコンテスト
3月21日～5月21日	「美（み）をつくしー大阪市立美術館コレクション」

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 記録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

4 慶弔・その他

令和4年		
5月9日	いわき商工会議所 会頭 小野栄重氏	福島県知事表彰「商工功労者」受賞
〃	二本松商工会議所 副会頭 安斎文彦氏	福島県知事表彰「商工功労者」受賞
6月10日	常議員 (株)山水荘 渡邊和裕氏	日本観光振興協会 観光振興事業功労者表彰 受賞
6月15日	福島経営者協会元専務理事 菅野英治氏	逝去
6月16日	元職員 小笠原重広氏	逝去
6月19日	輪島商工会議所 石川県能登地方地震お見舞い	
6月23日	職員 椿哲氏のご岳母	逝去
7月8日	小林土木(株) 相談役 平井哲雄氏のご母堂様	逝去
7月23日	ワイザーエル(株) 元専務 山岸博氏	逝去
9月11日	職員 小林英典氏のご岳母	逝去
9月16日	日本商工会議所創立100周年記念式典	
9月28日	副会頭 大槻電設工業(株) 福島労働局長賞「奨励賞」受賞	
〃	会員 森永乳業(株)福島工場 福島労働局長賞「奨励賞」受賞	
10月8日	元常議員 福島日産自動車(株) 金子與志雄氏	逝去
11月1日	郡山商工会議所 会頭 滝田康雄氏	選任
〃	会津若松商工会議所 会頭 洪川恵男氏	選任
〃	いわき商工会議所 会頭 小野栄重氏	選任
〃	白河商工会議所 会頭 鈴木俊雄男氏	選任
〃	原町商工会議所 会頭 高橋隆助氏	選任
〃	会津喜多方商工会議所 会頭 佐藤富次郎氏	選任
〃	相馬商工会議所 会頭 草野清貴氏	選任
〃	須賀川商工会議所 会頭 菊地大介氏	選任
〃	二本松商工会議所 会頭 菅野京一氏	選任
11月3日	常議員 福島信用金庫 樋口郁雄氏	秋の叙勲「旭日双光章」受章
〃	会員 (有)藤橋歯車鉄工所 藤橋進一郎氏	秋の叙勲「旭日双光章」受章
〃	常議員 福島県信用保証協会 元会長 村田文雄氏	秋の叙勲「瑞宝中綬章」受章
11月13日	常議員 (株)後藤歯科商店 創業100周年記念祝賀会	
12月18日	常議員 日東紡績(株)福島工場 第8回ふくしま産業賞「知事賞」受賞	
〃	会員 イービーエム(株) 第8回ふくしま産業賞「選考委員長賞」受賞	
〃	会員 (株)伊藤石材工業 第8回ふくしま産業賞「福島民報社奨励賞」受賞	
〃	常議員 キョウワプロテック(株) 第8回ふくしま産業賞「銀賞」受賞	
〃	会員 (株)福島三技協 第8回ふくしま産業賞「銀賞」受賞	
〃	会員 (株)レパコ 第8回ふくしま産業賞「特別賞」受賞	
令和5年		
2月14日	原町商工会議所 専務理事 佐々木孝氏のご母堂様	逝去
3月21日	原町商工会議所 副会頭 前田一男氏のご尊父様	逝去
3月23日	元職員 藤倉俊彦氏のご尊父様	逝去
3月29日	議員 東開工業(株) 高野次郎氏のご岳母様	逝去

VI 会 議

1 議員総会

開催日等	開催内容	
第1回(通常) 4年5月26日 119名 (うち委任状 行使者53名)	報 告	1. 議員職務執行者の変更について 2. 参与の変更について
	議 案	1. 令和3年度事業報告について 2. 令和3年度一般会計・特別会計収支決算の承認について 3. 常議員の補充選任(案)について 4. 専務理事辞任に関する同意について 5. 専務理事選任に関する同意について
	そ の 他	1. 福島駅東口地区第一種市街地再開発事業の概要について 2. 東北絆まつり2022秋田について 3. 生命共済制度(エール共済)への加入のお願いについて 4. 各種連絡
第1回(臨時) 4年8月23日 118名 (うち委任状 行使者49名)	報 告	1. 東北六県商工会議所表彰 20年勤続 常議員 加藤 利夫 常議員 博多 義雄 常議員 渡邊 和裕 常議員 佐久間 政文 監事 加藤 守 10年勤続 常議員 伊藤 信弘 2. 各部会選出議員の定数決定について 3. 議員職務執行者の変更等について 4. 顧問の変更について
	議 案	1. 常議員の補充選任(案)について 2. 「推薦議員選任委員会」委員の選任について
第2回(臨時) 4年11月1日 123名 (うち委任状 行使者36名)	報 告	1. 第31期議員改選経過について
	議 案	1. 会頭の選任について 2. 副会頭選任に関する同意について 3. 専務理事選任に関する同意について 4. 理事選任に関する同意について 5. 常議員の選任について 6. 監事の選任について 7. 顧問並びに参与の委嘱について
第3回(臨時) 4年12月6日 124名 (うち委任状 行使者59名)	報 告	1. 福島商工会議所感謝状贈呈 前副会頭 後藤 忠久 前常議員 岩見 政弘 前議員 西形 健吉 前議員 西川 博美 前監事 大橋 廣治 前総務委員長 博多 義雄 前復興創生委員長 伊藤 信弘 前観光交流委員長 佐々木 高敏 前雇用育成委員長 遠藤 勝利 2. 日本商工会議所表彰 20年勤続 常議員 大橋 廣治 30年勤続 職員 事業推進部参事兼経営支援課長 今野 秀幸 30年勤続 職員 地域振興課長 佐藤 謙二
	議 案	1. 福島商工会議所委員会規則の一部改正(案)について 2. 委員長の選任に関する同意について

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

開催日等	開催内容	
第2回(通常) 5年3月26日 117名 (うち委任状 行使者44名)	報告	1. 日本商工会議所表彰 30年勤続 常議員 大和田 知昭 氏 2. 議員職務執行者の変更について
	議案	1. 令和5年度事業計画(案)の承認について 2. 令和5年度一般会計・特別会計収支予算(案)の承認について 3. 議員の補充選任(案)について
	その他	1. 令和5年度福島商工会議所人事異動について 2. 春の観光シーズンに向けた福島商工会議所の取り組みについて 3. 優待お食事券事業「2023春のランチで食うポン」について 4. 「Fukushimaハルフェスinえきまえ2023」について

2 常議員会

開催日等	開催内容	
第1回 4年5月26日 45名 (うち委任状 行使者数16名)	議案	1. 令和4年度第1回通常議員総会の開催について 2. 令和3年度事業報告について 3. 令和3年度一般会計・特別会計収支決算の承認について 4. 常議員の補充選任(案)について 5. 専務理事辞任に関する同意について 6. 専務理事選任に関する同意について 7. 新入会員の承認について
第2回 4年8月23日 41名 (うち委任状 行使者14名)	議案	1. 各部会選出議員の定数(案)について 2. 令和4年度第1回臨時議員総会の開催について 3. 常議員の補充選任(案)について 4. 令和4年度第2回臨時議員総会の開催について 5. 新入会員の承認について
第3回 4年12月6日 46名 (うち委任状 行使者16名)	議案	1. 福島商工会議所委員会規則の一部改正(案)について 2. 委員長を選任(案)について 3. 福島商工会議所職員給与規則の一部改正(案)について 4. 第3回臨時議員総会の開催について 5. 新入会員の承認について
第4回 5年1月16日 42名 (うち委任状 行使者8名)	議案	1. 委員会副委員長並びに委員の承認について
第5回 5年3月13日 43名 (うち委任状 行使者14名)	議案	1. 令和5年度福島商工会議所事業計画の概要(案)について 2. 令和4年度収支予算の補正(案)について
第6回 5年3月28日 42名 (うち委任状 行使者13名)	議案	1. 第2回通常議員総会への提出議案について 2. 令和5年度事業計画(案)について 3. 令和5年度一般会計・特別会計収支予算(案)について 4. 議員の補充選任(案)について 5. 新入会員の承認について 6. 福島商工会議所事務局の組織等に関する規則の一部改正(案)について 7. 福島商工会議所職員就業規則の一部改正(案)について 8. 福島商工会議所育児・介護休業規則の一部改正(案)について

3 正副会頭会議

回数	開催年月日	主 な 議 題
第1回	4年4月20日	1. 第1回常議員会・第1回通常議員総会の開催（案）について 2. 令和3年度収支決算の概要について 他
第2回	4年5月18日	1. 令和3年度事業報告・収支決算について 2. 専務理事の辞任の承認について 他
第3回	4年6月22日	1. 第31期部会別選出議員の割当（案）について 2. 常議員の補充選任（案）について 他
第4回	4年7月27日	1. 第2回常議員会・第1回臨時議員総会の開催（案）について 2. 第31期議員改選における議員の選任について 他
第5回	4年8月24日	1. 9月の行事予定について 他
第6回	4年9月28日	1. 第31期議員改選の状況について 2. 第31期顧問・参与の委嘱（案）について 他
第7回	4年10月20日	1. 第31期正副会頭及び常勤役員（案）について 2. 第31期常議員・監事・議員（案）について 他
第8回	4年11月2日	1. 第31期委員会の編成スケジュール（案）について 2. 第3回常議員会・第3回臨時議員総会・第2回議員懇話会の開催について 他
第9回	4年11月28日	1. 委員会規則の一部改正並びに委員長の選任について 2. 第4回常議員会並びに議員新年会の開催（案）について 他
第10回	4年12月21日	1. 第31期委員会構成について 2. 第3回議員懇話会について 他
第11回	5年1月24日	1. 令和5年度会議開催日程について 2. 日商まちづくり・地域経済循環推進専門委員会委員について 他
第12回	5年2月21日	1. 令和4年度一般会計・特別会計収支予算の補正（案）について 2. 令和4年度福島商工会議所 会員事業所応援表彰制度「福エール賞」について 他
第13回	5年3月2日	1. 令和5年度事業計画の概要（案）について 2. 令和5年度一般会計・特別会計収支予算（案）について 他
第14回	5年3月22日	1. 第6回常議員会・第2回通常議員総会の開催について 2. 令和5年度事業計画（案）について 他

4 監 査 会

開催日等	監 査 事 項
4年5月11日 監事 1名	令和3年度会計関係書類
4年5月17日 監事 2名	令和3年度業務・会計関係書類

総括的概要

施 策 体 系

I 定 款・
規 約 等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の 発 展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事 業
経 営 改 善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参 加

5 議員懇話会

開催日等	開催内容
4年5月12日 65名	【講演】 テーマ 「経済安全保障の意義と対策」 講師 福島県警察本部長 児嶋 洋平 氏
4年12月6日 75名	【講演】 テーマ 「日本経済・福島経済の現状と先行き」 講師 日本銀行福島支店 支店長 清水 茂 氏
5年3月3日 86名	【講演】 テーマ 「ポストコロナ禍社会の観光振興」 ～変容した消費者ニーズにこたえる観光地域づくりとは～ 講師 国土交通省東北運輸局 局長 田中 由紀 氏 【報告】 各部会・委員会の令和4年度事業概要並びに令和5年度事業計画について部会長・委員長からの報告

6 部 会

1. 食品商業部会

(1) 会議の開催

開催年月日 出席者数	会議等名	内 容
4年4月18日 12名	視 察 会	「道の駅ふくしま」内覧会に参加
4年8月2日 17名	視 察 会	「道の駅ふくしま・吾妻山麓醸造所・土湯温泉『おららの酒 BAR 醇醸蔵』視察会」
4年8月29日 20名	会 議	・部会選出議員の選任について
	説 明	テーマ：「周遊スポット魅力アップ支援事業」について 講 師：福島市 観光交流推進室次長 持地 啓至 氏
	講 演 会	テーマ：早わかり 食品表示法改正セミナー 講 師：Correct Label(株) 代表取締役 藤原 和樹 氏
4年11月29日 12名	会 議	(1)部会長の選任について (2)副部会長の選任について (3)常任委員の委嘱について
	説 明	テーマ：「福島市子どものえがお条例」について 講 師：福島市 こども政策課長 高田 豊一 氏
	講 演 会	テーマ：「電子帳簿保存法の概要について」 講 師：佐藤充孝税理士事務所 所長・税理士 佐藤 充孝 氏
4年12月9日 10名	視 察 会	【工業部会と合同開催】 「豊洲市場・環境展示会『エコプロ2022』視察会」
5年1月30日 14名	会 議	(1)令和4年度事業報告について (2)令和5年度事業計画（案）について
	講 演 会	テーマ：インボイス制度対策セミナー 講 師：福島県よろず支援拠点 コーディネーター 湯田 晋介 氏

(2) 事業等の実施

食品製造・加工・卸売業の事業所を対象に、仙台市で開催された展示商談会「ビジネスマッチ東北2022秋」への出展支援を行ったほか、コロナ禍により減少した売上の回復や新規顧客の開拓に向けてSNS活用をテーマとした「販路開拓塾」を開催した。

※詳細は「Ⅶ－1－ⅡF ビジネス拡大の推進3（P.72）参照。

総括的概要

施策体系

Ⅰ 定款・規約等

Ⅱ 組織

Ⅲ 議員選挙
役員・議員
の選任

Ⅳ 事務局

Ⅴ 庶務

Ⅵ 会議

Ⅶ 事業Ⅰ
活力ある
福島の創造

Ⅶ 事業Ⅱ
会員事業所
の発展

Ⅶ 事業Ⅲ
魅力ある
商工会議所

Ⅶ 事業
経営改善
普及事業他

Ⅶ 登録

Ⅷ 事務所等

Ⅷ 団体加入
および連携

Ⅷ その他の
会議等への
参加

2. 生活関連商業部会

開催日等	開催内容	
4年8月31日 16名	会議	(1) 部会選出議員の選任について
	講演会	「従業員のメンタルヘルスと健康経営」について 講師 福島産業保健総合支援センター 産業保健専門職（保健師） 津村 紀子 氏
4年12月9日 18名	会議	(1) 部会長の選任について (2) 副部会長の選任について (3) 常任委員の委嘱について
	説明	「福島市子どものえがお条例」について 福島市こども政策課 担当者
	講演会	「サイバーリスクの実態と対策のポイント」について 講師 東京海上日動火災保険(株)福島支店福島支社 石井 風咲 氏
5年2月13日 29名	会議	(1) 令和4年度事業報告 (2) 令和5年度事業計画案について
	講演会	「中小企業におけるDX戦略」 ～DX推進は何かから取り組むべきか?～ 講師 合同会社プラスタ 代表社員・CEO 栗原 篤史 氏

3. 工業部会

開催日等	開催内容	
4年6月24日 30名	会議	(1) 工業部会年間スケジュールについて (2) その他
	説明	「福島県ハイテクプラザの改組と機能強化について」 説明者 福島県ハイテクプラザ 所長 大和田野芳郎 氏
	意見交換	「アフターコロナに向けた各企業における取組や課題について」
4年8月26日 21名	会議	(1) 部会選出議員の選任について (2) その他
	講演	「強い製造業者となる『技能継承』を推進する事業承継の進め方」 講師 中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー 阿部 憲夫 氏
4年8月31日 8名	意見交換会	・日本商工会議所（東京都） SDGsの気運の高まりと当所取組を契機に、日本商工会議所及び各商工会議所の所報・会報誌の封筒素材を紙製へ切り替えることにより環境負荷の軽減（プラスチックの削減やカーボンニュートラルの推進等）を図るため、この取組を広げていくことについて日本商工会議所と意見交換会を実施した。
4年11月30日 23名	会議	(1) 部会長の選任について (2) 副部会長の選任について (3) 常任委員の委嘱について (4) その他
	説明	「福島市子どものえがお条例について」 説明者 福島市こども政策課 課長補佐 佐藤 幸恵 氏
	講演	「製造業を巡る動向と今後の課題・中部産業連盟の役割」 講師 （一社）中部産業連盟 執行理事・東京事業部長 佐藤 直樹 氏

開催日等	開催内容	
4年12月10日 10名	視察	・豊洲市場、エコプロ2022（東京ビッグサイト） 2018年より築地から移転した豊洲市場、東京ビッグサイトで毎年開催されているエコプロ2022の視察を食品商業部会と合同で実施した。
5年2月1日 31名	会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について (3) その他

4. 建設業部会

開催年月日	開催内容	
4年8月30日 54名	会議	(1) 部会選出議員の選任について
	講演会	「インボイス制度の概要について」 講師 福島税務署 個人課税第一部門 記帳指導推進官 重田 剛志 氏
4年12月7日 37名	会議	(1) 部会長の選任について (2) 副部会長の選任について (3) 常任委員の委嘱について
	説明	「福島市子どものえがお条例について」 説明者 福島市こども政策課
	講演会	「地域を支え今以上に必要とされる建設事業者になる事業承継とは？」 講師 中小企業基盤整備機構東北本部 中小企業アドバイザー 阿部 憲夫 氏
5年2月14日 53名	会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について
	講演会	「SDGsとカーボンニュートラル」 講師 ロイシー環境安全衛生事務所 代表 白石田良一 氏

5. 金融・経営支援部会

開催年月日	開催内容	
4年8月30日 35名	会議	(1) 部会選出議員の選任について (2) その他
	講演会	「ウィズコロナにおける今後の県内経済の見通しについて」 講師 日本銀行 福島支店長 清水 茂 氏
4年12月8日 29名	会議	(1) 部会長の選任について (2) 副部会長の選出について (3) 常任委員の委嘱について
	講演会	「当県の金融経済情勢について」 講師 東北財務局 福島財務事務所長 橋本 和久 氏
5年2月3日 15名	会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について
	講演会	「小さなお店や会社のDX推進・活用法」 講師 (株)ベンチャーコンサルタント 代表取締役 寺田 勝紀 氏

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

6. 観光・飲食部会

(1) 会議の開催

開催日等	開催内容	
4年8月26日 15名	会議	(1) 部会選出議員の選任について (2) 観光飲食部会の活動について
	講演会	「福島県のインバウンド振興取り組みについて」 講師 福島県観光交流局観光交流課 課長 小野 一浩 氏 「周遊スポット魅力アップ支援事業について」 講師 福島市観光企画戦略係 主査 工藤 麻未 氏 「ふくしまピーチホリデイ2022について」 講師 (一社) 福島市観光コンベンション協会 事務局副長 横葉 純一 氏
4年11月28日 14名	会議	(1) 部会長の選任について (2) 副部会長の選任について (3) 常任委員の委嘱について
	説明	「福島市子どものえがお条例について」 講師 福島市こども政策課 課長補佐 佐藤 幸恵 氏
	講演会	「企業公式におけるSNS活用術」 講師 福島市商店街連合会青年部 副会長 (株)ダイオー 代表取締役 佐藤 卓宏 氏 「提言事業を通して学ぶ、偉人顕彰からのまちづくり」 講師 福島商工会議所青年部 監事 渡辺司法書士事務所 代表 渡邊 啓道 氏
5年2月1日 15名	会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画(案)について
	講演会	「お客様が興味をもつ商品展開・情報発信」 講師 (公財) 福島県観光物産交流協会 福島県観光物産館 館長 櫻田 武 氏

(2) 事業等の実施

【ふくしま応援（エール）お持ち帰り支援事業 継続支援】

《お持ち帰りごはんチラシ作成代行事業》

- ・実施期間 令和4年5月10日～令和4年6月30日
- ・仕様 A4／片面4色刷 300枚以内
- ・申込実績 8事業所

【観光ドライブMAP作成】

- ・発行日 令和4年4月20日
- ・作成部数 20,000部
- ・設置先 3市観光案内所、道の駅、東北自動車道SA・PA等

【特別お食事券事業】

○2022春のランチで食うボン

- ・実施期間 令和4年4月1日～5月31日

- ・参加店数 51店
- ・お食事数 50,850食（25,425食／月、498食／店）
- ・スタンプラリー応募数 3,836通

○2022秋のランチで食うボン

- ・実施期間 令和4年10月1日～11月30日
- ・参加店数 49店
- ・お食事数 59,417食（28,708食／月、606食／店）
- ・スタンプラリー応募数 4,895通

【古関裕而氏をテーマにしたオリジナルカレンダー作成】

- ・発行月 令和4年11月
- ・作成部数 4,300部
- ・配布先 当所会員事業所等

【酒類提供飲食店支援事業】

○呑んde食うボン

- ・実施期間 令和4年12月1日～令和5年2月28日
- ・発行枚数 30,000部
- ・参加店数 50店舗
- ・設置先 市役所、市内金融機関、市内旅館・ホテル、会議所会員事業所、参加店など

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

7. 情報・通信部会

(1) 会議の開催

開催日等	開催内容	
4年8月31日 27名	会 議	(1) 部会選出議員の選任について
4年12月8日 20名	会 議	(1) 部会長の選任について (2) 副部会長の選任について (3) 常任委員の委嘱について
	説 明	「福島市子どものえがお条例について」 福島市こども未来部こども政策課 課長補佐 佐藤 幸恵 氏
5年2月9日 21名	会 議	(1) 令和4年度事業報告および令和5年度事業計画案の承認について

(2) 事業の実施

① 部会員スピーチの開催

- テーマ 「24時間しか売れない？テレビ局の経験的企業変革論」
日 時 令和4年8月31日
会 場 福島商工会議所会議室
講 師 株式会社テレビユー福島 代表取締役社長 仲尾 雅至 氏
- テーマ 「新聞、読書は脳の全身運動」
日 時 令和4年8月31日
会 場 福島商工会議所会議室
講 師 株式会社福島民報社 専務取締役 中尾 富安 氏

- c. テーマ 「私と福島、そして福島県のテレビ事情」
 日 時 令和4年12月8日
 会 場 福島商工会議所会議室
 講 師 福島テレビ株式会社 代表取締役社長 横山 淳 氏
- d. テーマ 「ラジオ福島のこれまでと、これから」
 日 時 令和5年2月9日
 会 場 コラッセふくしま
 講 師 株式会社ラジオ福島 常務取締役経営戦略本部長 松本 良市 氏

② ふくしまデジタル推進協議会への参画

令和4年7月11日に発足し、木幡浩・福島市長が会長に、渡邊博美・当所会頭が副会長に就任した。

目 的／協議会は、市、団体、企業、大学等が一体となって、各分野および地域全体のデジタル化を推進し、これを活用できるようにすることによって、市民一人ひとりが、デジタル化の便利さや豊かさを実感できる社会を実現する。

開催日／令和4年7月11日 設立総会・第1回協議会

令和4年11月30日 第2回協議会

③ 情報提供

a. 総務省テレワークサポートネットワークへの登録

総務省では、中小企業等のテレワークに関する相談や各種サポート体制を充実させるため、日本商工会議所とNTTが連携し、標記ネットワーク体制を令和2年度に構築した。当所もこのネットワークに登録し、テレワークなどに関する相談があった場合は専門家等につなげる体制としている。

令和4年度も同ネットワーク主催のオンライン相談会などをホームページ、所報等を通じて案内した。

b. 所報による情報提供

テレワーク導入にかかわるチェックポイントや電子帳簿保存法への対応などデジタル化への対応が求められる内容について所報に掲載した。

8. 不動産業部会

開催年月日	開 催 内 容	
4年4月22日 11名	正 副 部 会 長 会 議	(1) 令和4年度事業計画について (2) その他
4年8月24日 20名	会 議	(1) 部会選出議員の選任について (2) その他
	講 演 会	「福島市における定住・移住の現状について」 福島市 定住交流課 課長 長島 晴司 氏
4年12月2日 19名	会 議	(1) 部会長の選任について (2) 副部会長の選任について (3) 常任委員の委嘱について (4) その他
	説 明	「福島市子どものえがお条例について」 福島市 こども政策課 担当者
	講 演 会 (オンライン)	「二地域居住 クラインガルテン下郷の取組みと概要について」 下郷町 農林課 農林係 石橋 真和 氏

開催年月日	開催内容	
5年2月13日 20名	会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について (3) その他
	講演会	「福島県における移住・定住・二地域居住の現状と取組みについて」 福島県 企画調整部 地域振興課 主幹 吉成 孝志 氏
5年2月16日 ～	事業	県立医科大学保健科学部への住宅情報の提供 福島県立医科大学合格者専用イントラネットに学生向けの住宅情報を掲載、定期的に更新し、安心・安全な住まいを提供

9. 健康・社会サービス部会

開催年月日	開催内容	
4年8月29日 13名	セミナー	「従業員のメンタルヘルスと健康経営について」 講師 独立行政法人 労働者健康安全機構 福島産業保健総合支援センター 産業保健専門職 津村 紀子 氏
	会議	(1) 部会選出議員の選任について (2) その他
4年12月2日 16名 当部会11名	健康経営 セミナー	第1部 「持続可能な健康経営導入に向けてのワンポイントアドバイス」 講師 アクサ生命保険㈱ HPM推進部 井上 貴樹 氏 第2部 「人生100年時代の貯筋大作戦」 講師 (株)エヌジェイアイ 健康経営営業部 仲田 貴之 氏
	説明	「福島市子どものえがお条例」について 福島市こども政策課 担当者
	会議	(1) 部会長の選任について (2) 副部会長の選任について (3) 常任委員の委嘱について (4) その他
5年2月16日 15名	セミナー	「マスク越しでも好感度アップの伝え方」 講師 伝える力研究所㈱ 代表取締役 宮川 晴代 氏
	会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について (3) その他

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

7 委員会

1. 総務委員会

(1) 会議の開催

開催年月日	開催内容	
4年6月13日 4名	正副委員長会議	(1) 本年度の総務委員会活動について (2) その他
4年6月30日 14名	委員会	(1) 本年度の総務委員会活動について (2) 情報発信強化に関する取り組みについて (3) 福島商工会議所会員交流パーティーの開催について (4) 先進商工会議所視察会の実施について (5) 議員改選に合わせた委員会の見直しについて (6) その他
4年9月13日 ～14日 11名	先進商工会議所 視察会	(1) 豊橋商工会議所 ・豊橋商工会議所の会員交流・セミナー事業、部会・委員会活動について説明いただいた。また、豊橋駅前再開発事業について説明いただき、現地視察を行った。 (2) 浜松商工会議所 ・浜松商工会議所の部会運営、主要事業について説明いただいた。また、ヤマハイノベーションロードを見学した。
4年12月21日 10名	正副会頭・ 委員長会議	(1) 第31期福島商工会議所各委員会構成（案）について報告 (2) 意見交換
5年1月30日 5名	正副委員長会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について (3) その他
5年2月15日 13名	委員会	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について (3) その他
	説明	「福島市のデジタル化の取り組み」 説明者 福島市デジタル改革室デジタル推進課 課長 目黒 貴裕 氏

2. 未来創生委員会

(1) 会議の開催

復興創生委員会

開催日等	開催内容	
4年5月10日 10名	正副委員長会議	(1) 今年度事業の取組について
4年10月5日 19名	説明・講演	「福島県の地球温暖化対策について」 説明 福島県生活環境部 副課長 鈴木 章寛 氏
		「転入女性が暮らしやすい福島を目指して」 ～地域プレーヤーや関係人口になるまでを支える仕組みづくり～ 講師 一般社団法人 tenten 代表理事 藤本 菜月 氏
	会議	(1) 次回委員会について

未来創生委員会

開催日等	開催内容	
4年12月21日	正副会頭・委員長会議	(1) 第31期福島商工会議所各委員会構成（案）について (2) 意見交換 ※第31期より復興創生委員会から名称変更
5年2月7日 8名	正副委員長会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について
5年2月17日 16名	会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について
	説明・講演	(1) 「福島市への移住人口増加の背景と取組」 説明 福島市市民・文化スポーツ部 定住交流課 出合い定住応援係長 赤間 公子 氏
		(2) 「福島市の農業ブランドと地域づくりの可能性」 講師 (株)フォーカス 代表取締役 三津間謙一 氏 (株)佐蔵農園 代表取締役 山口小百合 氏

【事業関係】

(1) 若者の地元企業への就職促進・Uターン等での就職に対する仕事づくりの環境整備の推進

◆令和4.10.31 当所雇用育成委員会と高等学校による就職促進事業の実施

（意見交換）会員事業所人事担当者〔9社〕と高等学校就職担当教諭〔県北地区6校〕

（企業説明会）(株)ダイユーエイト、福島キヤノン(株)〔2社〕

(2) 商店街エリア価値向上・リノベーションまちづくりに関する検討

◆令和5.3.20 勉強会「空き不動産問題から考える地方都市再生」の開催

福島市中心市街地活性化協議会にて、空き不動産問題の第一人者である早稲田大学教育・総合科学学術院長 箸本健二氏を講師にお招きした勉強会を開催。

(3) 高校生・大学生等のまちづくり参画機会の創出

◆令和4.9月～ 「学生イベント企画相談窓口」を開設（令和4年度若者イベント支援実証事業）

大学・高校生が企画する街なかでのイベントに対する助言支援と備品レンタル料を補助（最大5.5万円）。福島まちづくりセンター、福島市とも連携。

※支援例：令和4.11.27「サッカーワールドカップパブリックビューイング事業」（日本VSコスタリカ戦）

（企画：福島大生 2名）

(4) 福島市の広域連携に関する調査・研究に関する取り組み

◆令和4.11.30 講演会「アフターコロナを見据えた観光地・観光産業の再生にむけて
～クルーズ船寄港での稼げる地域・稼げる産業の実現」

◆令和4.4月 「観光ドライブMAP」発行（東北中央道と道の駅を活用した観光促進事業）

◆通年 福島・相馬・米沢3会議所間での観光情報発信（各会議所会報を活用）

3. 中小企業振興委員会

開催日等	開催内容	
4年7月26日 8名	正副委員長会議	【第1回正副委員長会議】 （議題） (1) 会員事業所応援事業『こだわりの食のお店』推薦事業所について ※新型コロナウイルス感染症のため書面にて開催
4年10月27日 16名	会議	【第1回委員会】 （報告） (1) 令和4年度上半期支援実施状況について (2) 令和4年度経営発達支援計画実施報告について （協議） (1) 福島商工会議所会員事業所応援表彰「福エール賞」の実施について (2) その他 （意見交換） テーマ 新型コロナウイルス感染症や原材料価格の高騰など、地域経済を取り巻く影響に係る現状と今後の課題について
5年1月27日 8名	正副委員長会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について
	福島商工会議所 会員応援表彰 「福エール賞」 選考委員会	(1) 表彰推薦事業所の内容確認 (2) 表彰事業所決定
5年2月15日 23名	会議	【第2回委員会】 （議題） (1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について （報告） (1) 令和4年度福島商工会議所会員事業所応援表彰「福エール賞」選考結果について （説明） 令和5年度税制改正について 説明者：日本商工会議所産業政策担当

4. 観光交流委員会

(1) 会 議

開催日等	開 催 内 容	
4 年 9 月 27 日 14 名	会 議	(1) 令和 4 年度委員会の事業活動について
	講 演	① 「福島駅山形新幹線アプローチ線の新設工事について」 講 師 東日本旅客鉄道(株)福島駅 駅長 佐々木高敏 氏 ② 「新たな時代の観光共創～観光スポットへの周遊促進支援」 講 師 福島市商工観光部観光交流推進室 室次長補佐兼観光企画戦略係長 深谷 淳 氏 ③ 「事業取組紹介と今後の展望～ VISION2020/2021からVISION2025～」 講 師 (一社) 福島市観光コンベンション協会 事務局副長 横葉 純一 氏
5 年 1 月 12 日 4 名	正副委員長会議	(1) 令和 4 年度事業報告について (2) 令和 5 年度事業計画 (案) について
5 年 2 月 8 日 17 名	会 議	(1) 令和 4 年度事業報告について (2) 令和 5 年度事業計画 (案) について
	講 演	(1) 「開業後の道の駅ふくしまと地域周遊促進」 講 師 福島市商工観光部観光交流推進室 室次長 持地 啓至 氏 「駅前交流・集客拠点施設のグランドオープンに向けて」 講 師 福島市商工観光部コンベンション施設整備課 課 長 半澤 一隆 氏 施設整備係長 根尾 隆光 氏

(2) 事 業

年 月 日	内 容
4 年 3 月 29 日 ～ 4 月 25 日	【福島駅及び周辺地域の花でのおもてなし事業】 ① 福島駅東口駅前広場への花のモニュメント（ミニ花見山）の設置 花見山の花木（桜、桃、レンギョウ、ボケ、ハクシン他）で東口駅前広場の花時計の左右にモニュメントを設置 ② 古閑裕而ストリート（駅前通り～レンガ通り）への花もの木プランター・花見山の切り花の設置 花もの木プランター 約80鉢、切り花 40鉢 ③ 福島駅東口・西口駅前広場への花見山の切り花の設置
	  

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

年 月 日	内 容
4 年 4 月 1 日 ～ 5 月 31 日	【特別お食事券事業】 ○2022春のランチで食うポン - 参加店数 51店 - お食事数 50,850食 (25,425食／月、498食／店) - スタンプラリー応募数 3,836通 - パンフレットを冊子型へリニューアル 
4 年 4 月 3 日	【Fukushimaハルフェスinえきまえ2022】 日時：令和4年4月3日(日) 10:00～16:00 場所：福島駅前通り 内容：子ども遊園地、雑貨・アクセサリ等の手づくり品の販売ブース もの切り花プレゼント、山木屋太鼓によるパフォーマンス等 来場者数：約4,200名
4 年 4 月～	【福島・相馬・米沢3商工会議所による観光等情報発信】 3商工会議所の会報による 各地の観光情報等の発信(毎月) 
4 年 4 月 8 日	- 春の福島観光スポット見学会〔観光資源の活用推進〕(観光・飲食部会と合同開催) ①花見山公園 ②水林自然林 ③飯坂温泉花もの里 ※新型コロナウイルスの拡大により、開催中止
4 年 4 月 20 日	【観光ドライブMAP作成】 東北中央自動車道の利活用促進並びに、福島・相馬・米沢3市への交流人口拡大を図るため、山形県、福島県、宮城県の県境を越えた3市連携による広域の「観光ドライブマップ」を作成した。 ○作成部数：20,000部 ○設 置 先：3市観光案内所、道の駅、東北自動車道SA・PA等 

年 月 日	内 容
4 年 5 月 10 日 ～ 6 月 30 日	【ふくしま応援お持ちかえりごはん チラシ作成代行事業の実施】 ・チラシ作成店舗 7 店舗 ・チラシ印刷補助店舗 1 店舗 
4 年 5 月 28 日 ～ 5 月 29 日	【東北絆まつり2022秋田】 青森ねぶた祭、秋田竿燈まつり、盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、福島わらじまつりの6つの祭りが集結し、東日本大震災の鎮魂と復興を願い、2011年に始まった「東北六魂祭」の魂を受け継ぎ、更なる復興と東北の未来へ向けて始まったまつり。 会場：秋田市八橋運動公園（パレード会場はソユースタジアム） パレード参加者数：6 祭り総数各日890人（わらじまつりは各日129人）
4 年 6 月 1 日 ～ 6 月 2 日	・全国商工会議所観光振興大会2022inえひめ松山（松山市） 日本商工会議所が地域における観光に対する意識改革と普及啓発を図り、まちづくり活動の一環として観光振興を推進することを目的に毎年開催しているもの ①分科会 ②全体交流会 ③えひめ・松山物産展 ④全体会議 講演：「商工会議所における観光振興の取り組みについて」 基調講演：「人・街・未来をつくる、たとえば俳句。」 夏井いつき 氏 パネルディスカッション：「ポスト・コロナの観光振興磨き上げと聖地化とは」
4 年 7 月 12 日	・夏の福島観光スポット見学会〔観光資源の活用推進〕（観光・飲食部会と合同開催） ①水林自然林 ②磐梯吾妻スカイライン ③吾妻山麓醸造所 ④道の駅ふくしま ※新型コロナウイルスの拡大により、開催中止
4 年 7 月 17 日	【Fukushimaナツフェスinえきまえ2022】 日時：令和4年7月17日（日）10：00～16：00 場所：福島駅前通り（東口駅前広場、街なか交流館や地下歩道でも関連イベントを展開） 内容：夏まつり子ども縁日、雑貨・アクセサリ等の手づくり品の販売ブース 各種ステージイベント、バルーンワークショップ、ボッチャ等の体験コーナー等 来場者数：約4,800名
4 年 8 月 5 日 ～ 8 月 7 日	【第53回福島わらじまつり】 日時：令和4年8月5日（金）18：00～20：20 8月6日（土）17：00～20：30 8月7日（日）9：30～10：30（羽黒神社への大わらじ奉納） 場所：国道13号信夫通り、駅前通り 他
4 年 10 月 1 日 ～ 11 月 30 日	【特別お食事券事業】 ○2022秋のランチで食うポン ・参加店数 49店 ・お食事数 59,417食 (29,708食／月、606食／店) ・スタンプラリー応募数 4,895通 賞品の目玉として、福島牛を計50本設定 ・パンフレットを冊子型へリニューアル 

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 記録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

年 月 日	内 容
4 年10月 2 日	【Fukushimaアキフェスinえきまえ2022】 日時：令和4年10月2日(日) 10:00~16:00 場所：東口駅前広場、福島駅前通り 内容：古関裕而ミュージックダンスステージ、元劇団四季 齋藤舞さんによる古関メドレー、雑貨・アクセサリ等の手づくり品の販売ブース等 来場者数：約8,000名
4 年11月～	【古関裕而氏をテーマにしたオリジナルカレンダー作成】 ○内 容 「古関裕而氏 自筆画で綴る懐かしのメロディー」というテーマで、古関先生が作曲された名曲をイメージし、ご本人が描かれた風景を紹介した。 ○作成部数 4,300部 ○配 布 先 当所会員事業所等 一般販売 
4 年11月30日	【創設40周年記念 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会】 ○福島・相馬・米沢商工会議所は、昭和57年より3地域の経済発展のため、その連携軸となる「東北中央自動車道」の実現に向け標記「経済開発懇談会」を設立して、約40年に亘り事業活動を展開した結果、令和3年4月に悲願であった自動車道が全線開通となった。 今回は、これからの自動車道を活用した多角的な広域的連携事業の具現化を目指し、情報交換の機会として本懇談会を実施した。 
4 年12月 1 日 ～5 年 2 月28日	【酒類提供飲食店支援事業】 ○呑んde食うボン ・内 容 夕刻以降の時間帯にアルコール類を提供している飲食店の、各店舗独自のおすすめメニューやサービス内容を写真付きで掲載したクーポン券を発行した。 ・発行部数 30,000部 ・参加店数 50店舗 ・設 置 先 市内旅館・ホテル、市内金融機関、当所会員事業所、市役所、県庁など 
4 年12月 2 日	【Fukushimaフユフェスinえきまえ2022】 日時：令和4年12月2日(金) 12:00~19:00 場所：福島駅東口駅前広場 内容：えきまえイルミネーション点灯式、メッセージキャンドル点灯、元劇団四季 齋藤舞さん・ゴスペルグループによるライブステージ、ホットワインの振る舞い、雑貨・アクセサリ等の手づくり品の販売ブース等 来場者数：約500名

5. 中心市街地活性化委員会

開催日等	開催内容	
4年10月24日 13名	会 議	(1) 令和4年度の当委員会事業について (2) その他
	説 明	「福島駅東口地区第一種市街地再開発事業の概要」 講 師 当所常務理事 本田 政博 「まちを使い、まちに使われる身の丈にあった事業実践」 講 師 (同) La Unión代表社員 伊藤 篤史 氏
5年2月6日 5名	正副委員長会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について (3) その他
5年2月14日 10名	会 議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について (3) その他
	説 明	「ふくしま街コスの取り組みについて」 講 師 ふくしま街コス実行委員会委員 BerryLu代表 壺岐 昭子 氏 前川製作所 代表取締役社長 前川 英之 氏

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

6. 雇用育成委員会

開催日等	開催内容	
4年10月31日 35名	高等学校就職 担当教諭向け 企業説明会 および会員 企業人事担当 者と高等学校 就職担当 教諭との 意見交換会	(1) 高等学校就職担当教諭向け企業説明会 ① (株)ダイユーエイト ② (株)福島キヤノン (2) 説明 「新規高等学校卒業生の職業紹介状況について」 講 師 福島公共職業安定所 統括職業指導官 荒木 栄夫 氏 (3) 意見交換会 ① 高等学校就職担当教諭からの現状ならびに要望発表 ② 会員企業人事担当者からの現状ならびに要望発表 ③ 意見交換
5年1月26日 3名	正副委員長会議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について
5年2月3日 9名	会 議	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画（案）について
	意 見 交 換	委員会事業を充実させるため、会員企業における雇用の課題についての意見交換を実施

Ⅶ 事業

1 各種事業

I 活力ある福島の創造 (地域経済の活性化)

I A ふくしま将来 ビジョンの推進

1 「ふくしま将来ビジョンアクションプラン」の遂行

1 「ふくしま将来ビジョンアクションプラン」の遂行

平成28年に策定した「ふくしま将来ビジョン」の実現に向けた具体的なアクションプランを本年度も遂行した。

1. 実施方法

将来ビジョンとその実現に向けたアクションプランの作成から7年が経ち、達成したものなど福島市の状況も大分変化している。間もなく10年が経つなかで、さらに変化していくことが予想される課題1～福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化を含め、課題2～福島市の都市形成および居住環境整備、課題3～中小企業支援策の充実、課題4～観光振興および交流人口拡大策の推進について、現状と実施状況の確認を行い、見直しに着手した。

I B

政策提言・ 要望活動の推進

1 商工会議所ネットワークの活用 による提言力の強化

1. 日商・東北六県連・福島県連との連携
 - (1) 日本商工会議所との連携
 - (2) 東北六県商工会議所連合会との連携
 - (3) 福島県商工会議所連合会との連携

2 政策提言・要望活動の実施

1. 復興・再生に関する要望

1 商工会議所ネットワークの 活用による提言力の強化

1. 日商・東北六県連・福島県連との 連携

(1) 日本商工会議所との連携

日本商工会議所と福島県の復興や原子力損害賠償の現状に関する情報提供や意見交換を実施し、内容について日本商工会議所が実施する国等に対する要望活動に反映されるなど、日本商工会議所の事業活動との連携を行った。

(2) 東北六県商工会議所連合会との連携

副会長会議所として各種要望を共同で実施した。

(3) 福島県商工会議所連合会との連携

会長会議所として、各地経済振興のための情報収集に努めて提供した。また、様々な課題について連携し解決にあたった。

2 政策提言・要望活動の 実施

1. 復興・再生に関する要望

(1) 令和5年度福島県予算編成に対する要望

県内産業の復興支援や中小企業・小規模事業者の支援策の強化等について要望活動を実施した。

- ・ 要 望 先 福島県議会
(自由民主党、県民連合、公明党)
- ・ 要 望 者 福島県商工会議所連合会
福島県商工会連合会
福島県中小企業団体中央会
福島県信用保証協会
- ・ 要 望 日 令和4年9月12日
- ・ 要望内容

- ① 原子力災害及び頻発する自然災害の克服と
県内産業の復興・再生に向けた支援強化につ
いて

I B

政策提言・
要望活動の
推進

総括的概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

- ② 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化について
- ③ 中小企業・小規模事業者の復興・事業継続を推進するための中小企業支援機関に対する予算措置の拡充について

(2) 福島県知事に対する要望

福島県商工会議所連合会と連携し、県内商工会議所としても各地位の課題等について内堀県知事に対して要望を行った。

- ・要 望 先 内堀雅雄 福島県知事
- ・要 望 者 福島県商工会議所連合会・県内商工会議所
- ・要 望 日 令和4年12月26日
- ・要望内容

福島県商工会議所連合会

- ① 原子力災害及び頻発する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化について
- ② 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化
- ③ 中小企業支援機関に対する予算措置の拡充

福島商工会議所

- ① 霊山ICから福島市内を通り国道115号に至る新たなルートの整備促進について（継続）

I C

中心市街地の 活性化

1 中心市街地活性化の推進

1. 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第3期基本計画の推進
2. 福島駅東口エリアまちづくり研究会の設置
3. 学生向けイベント開催に関する無料相談窓口の開設
4. 無料貸し傘サービス事業の実施
5. (株)福島まちづくりセンターとの連携
6. 福島駅エリア東西一体化推進協議会によるまちづくりの研究

2 にぎわい創出の推進

1. 福島駅前元気プロジェクトによるにぎわい創出イベントの実施
2. 商店街元気イベントの実施
 - (1) えがおでお買い物にでかけよう！「まいどくんキャンペーン」の実施
 - (2) ふくしまふれあい商店街朝市の開催
 - (3) 福島うまいもの市の開催

3 街なか情報の発信

1. ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」の発信

1 中心市街地活性化の推進

1. 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第3期基本計画の推進

第3期基本計画（計画期間：令和3年4月～9年1月）の各種事業について、社会的、経済的および文化的活動拠点となるにふさわしい魅力ある市街地の形成の実現を図るため、地域住民および関係機関・団体の合意形成を図った。

(1) 協議会・運営会議の開催

開催年月日	内 容
令和4年 4月26日	○第38回運営会議 報 告 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画第1回変更認定について 議 事 (1) 令和3年度事業報告および収支決算について (2) 令和4年度事業計画（案）および収支予算（案）について (3) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の令和3年度定期フォローアップ報告について (4) 令和4年度福島市中心市街地活性化協議会（総会）の開催について
令和4年 4月27日	○第28回協議会（書面審議） 議 事 (1) 認定基本計画の定期フォローアップ報告について
令和4年 6月20日	○第29回協議会 報 告 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の第1回変更認定について (2) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の令和3年度定期フォローアップ報告について (3) 最近の中心市街地の動きについて 議 事 (1) 令和3年度事業報告について (2) 令和4年度事業計画（案）について
令和4年 12月19日	○第39回運営会議 議 事 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の第2回変更概要について (2) 今後のスケジュールについて
令和4年 12月21日	○第30回協議会（書面審議） 議 事 (1) 認定基本計画の計画変更（第2回）に関する内閣府への変更認定申請について

2. 福島駅東口エリアまちづくり研究会の設置

福島駅東口地区第一種市街地再開発事業は、商業、ホテル、オフィス、駐車場に加えて公共施設としてコンベンション機能を兼ね備えた多目的ホールによって構成される複合施設で、中心市街地の核となる新たなまちの顔を形成すべく令和8年度のグランドオープンを目指して進められているところである。この事業は、中心市街地の都市機能の向上、賑わいの創出、交流人口の拡大などを実現するとともに、福島駅東口エリア全体の活性化に資することが期待されている。

この事業の効果を高め、エリア全体の賑わいを創出するためには、再開発事業を核としてまち全体のハード、ソフト両面での総合的なまちづくりを進めることが不可欠である。

そのため福島市中心市街地活性化協議会の分科会として本研究会を設置し、再開発事業完了後のエリア全体のまちづくりについて調査・研究することを目的とする。

研究会の事業は、年次ごとに段階的に取り組むこととし、令和4年度は下記項目のうち、当面取り組むテーマを選定して、基礎的な調査・研究を行った。（想定されるテーマの例）

- ・再開発事業を核としてエリア全体の将来像のイメージ（ゾーニング、歩行者動線、駅との連携を含む）
- ・多目的ホール等で行われるコンベンション等とまちとの連携
- ・再開発ビルのイベント空間および駅前通り、まちなか広場等との連携によるエリア全体のイベントの在り方
- ・エリア内の空き店舗対策および既存施設のリノベーション
- ・上記のほか中心市街地活性化に関する事項

○研究会の構成

令和4年度は基礎的な検討を進めるため、研究会の構成は次のとおりとした。

福島商工会議所、福島市商工業振興課、同コンベンション施設整備課、同都市計画課、株式会社福島まちづくりセンター、福島駅東口再開発組合、中心

市街地若手商業者若干名

○研究会の開催

- ・第1回
日 時 令和4年11月25日
会 場 La Union（福島市大町）
出席者 10名
- ・第2回
日 時 令和4年12月23日
会 場 La Union
出席者 24名
- ・第3回
日 時 令和5年2月21日
会 場 La Union
出席者 20名
- ・第4回
日 時 令和5年3月24日
会 場 La Union
出席者 14名

3. 学生向けイベント開催に関する無料相談窓口の開設

若者のまちづくり参画を推進するため、中心市街地でイベント開催を検討している学生を対象とした無料相談窓口を令和4年8月に当所内に開設し、イベントの企画や運営、補助金申請に関する手続きなどをサポートしたほか、5.5万円を上限としてイベント開催に必要な備品のレンタル費用を補助した。

- ・支援実績件数 4件

4. 無料貸し傘サービス事業の実施

福島駅前通りリニューアルによるアーケード撤去に伴う歩行者の利便性の確保と、大原総合病院移転開院による福島駅から大原総合病院の区間（古関裕而ストリート）の回遊性の向上を図るため、無料貸し傘サービス事業「もりん貸し傘サービス事業」を平成30年1月から実施している。

- ・設置場：7ヶ所〔1. 福島駅東口観光案内所
2. AXCビル（1階ししどやおや）
3. ウィズもとまち 4. チェンバお

おまち 5. 大原綜合病院 6. こ
むこむ 7. 福島県立医科大学保健
学部（R 4 .12迄）]

・設置本数：300本

5. (株)福島まちづくりセンターとの連携

- (1) 取締役会への出席
- (2) 株主総会への出席
- (3) 中心市街地の空き地・空き店舗対策事業への協力

6. 福島駅エリア東西一体化推進協議会によるまちづくりの研究

福島市においては、駅東西が鉄道によって分断され、その往来で利用されるあづま・西町の2陸橋、曾根田踏切は慢性的な渋滞など課題が山積している。

また、吾妻山火山防災マップによれば、大規模噴火発生時の泥流が2時間後には市内に到達すると予測されており、課題が多岐にわたる。

当所では令和2年度末に標記協議会を設立し、3年度から福島駅エリアの東西一体化を推進する事業を展開した。

・講演会の開催

日時 令和5年2月20日

会場 ウェディングエルティ

演題 吾妻山の過去の噴火に学び、もしもの噴火に備える

講師 国立大学法人福島大学

共生システム理工学類長 教授

長橋 良隆 氏

参加者数 40名

2 にぎわい創出の推進

1. 福島駅前元気プロジェクトによるにぎわい創出イベントの実施

開催年月日	内 容
令和4年 4月3日 (日) 10:00 ～16:00	「Fukushimaハルフェスinえきまえ2022」 ・会 場 福島駅前通り、東口駅前広場 ・内 容 山木屋太鼓によるオープニングパフォーマンス 子ども遊園地の設置 果物・野菜の直売、手づくり雑貨類の販売ブースの設置 相馬PRブースの設置、ももの切り花のプレゼント、クラクリアンテサンパレスによるブース出店 等 ・来場者数 10,000名 
令和4年 7月17日 (日) 10:00 ～16:00	「Fukushimaナツフェスinえきまえ2022」 ・会 場 福島駅前通り、東口駅前広場、福島市街なか交流館、福島市駅前地下歩道 ・内 容 夏まつり子ども縁日（スタンプラリー形式）の設置 ステージイベント、ワークショップ（バルーン教室）の開催（交流館） 福島市レクリエーション協会と連携したボッチャ、スラックライン等の体験コーナーの設置（地下歩道） 果物・野菜の直売、手づくり雑貨類の販売ブースの設置 クラクリアンテサンパレス他による出店 等 ・来場者数 12,000名 

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

開催年月日	内 容
令和4年 10月2日 (日) 10:00 ～16:00	「Fukushimaアキフェスinえきまえ2022」 ・会場 東口駅前広場、福島駅前通り ・内容 古関裕而ミュージックダンスステージ（古関氏作曲の楽曲を使用し、市民参加型のダンスイベントを開催（全13団体参加）） 元劇団四季齋藤舞さんによる古関裕而メドレー、聖母短期大学P.A.S.Sとのダンスコラボ 果物・野菜の直売、手づくり雑貨類の販売ブースの設置等 ・来場者数 20,000名 
令和4年 12月2日 (金) 12:00 ～19:00 ～ 令和5年 1月31日 (火) (点灯期間)	「Fukushimaフユフェスinえきまえ2022」 ・会場 東口駅前広場 ・内容 駅前イルミネーション点灯式（リニューアルしたイルミネーションを点灯・光のしずくイルミネーションも同時に点灯） 新たな取り組みとして、福島冬の冬の思い出を写真に残してもらえよう「ハートフォトスポット」を設置 先着順にてメッセージキャンドル点灯、ホットワインの振舞いを実施 元劇団四季 齋藤舞さんによる古関裕而メドレー、クリスマスソングのライブを実施 手づくり雑貨類の販売ブースの設置 ・来場者数 3,500名 

※このほか、プロジェクト委員会（1回）、事務局会議（3回）を開催

※新型コロナウイルス感染症への対応

- ・スタッフの体温測定・マスク着用の義務化
- ・本部テント・バックヤードに消毒液を設置
- ・各ブース設置レイアウトの変更・数の調整（人込みをなるべく避け、ソーシャルディスタンスを保つため）
- ・イベント内企画にて使用した備品等については都度消毒
- ・イベント内でのアルコール提供の禁止、飲食はテイクアウトのみ

2. 商店街元気イベントの実施

(1) えがおでお買い物のにでかけよう！「まいどくんキャンペーン」の実施

新型コロナウイルス感染症の深刻な影響によりダメージを受けた商店街の再生・活性化を図るため、福島県の実施する「まちにえがおを！オールふくしま買って応援キャンペーン」（プレミアム付電子商品券）に合わせて、お買い物スタンプラリーを実施した。また、イベント（ガラポン抽選会）による周知を行うことで、駅周辺の賑わいの創出にも寄与した。

- ・事業期間 令和4年11月3日（木・祝）～12月4日（日）
- ・参加店数 132店（小規模店119店、大型店13店）
- ・賞品
 - ① 賞品内容 参加店共通お買い物券（額面@1,000円）
 - ② 賞品総額 1,500,000円（本数329本）
 - ③ 使用期限 令和5年1月9日（月・祝）まで
- ・応募総数 5,191件

(2) ふくしまふれあい商店街朝市の開催

まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を目的に開催。

出張朝市は平成25年度より買い物弱者対応策として、福島市との共同開催となっている。令和4年度については、新型コロナウイルスの影響により中止となった回もあったが、感染防止対策を十

分にとり、年間を通して開催した。

朝市開場前恒例のラジオ体操とイベントの目玉として生卵1パック10円販売を実施した。

回	開催日時	場所	出店数	来場者数
1	4/17(日) 7:30~8:30	まち広	—	※中止
2	5/8(日) 10:00~11:00	出張	5店	約60人
3	5/15(日) 7:30~8:30	さんかく	5店	約60人
4	6/12(日) 10:00~11:00	出張	6店	約60人
5	6/19(日) 7:30~8:30	さんかく	5店	約70人
6	7/10(日) 9:00~10:00	出張	6店	約60人
7	7/17(日) 7:30~8:30	さんかく	5店	約60人
8	8/14(日) 9:00~10:00	出張	6店	約50人
9	8/21(日) 7:30~8:30	さんかく	5店	約40人
10	9/11(日) 9:00~10:00	出張	5店	約60人
11	9/18(日) 7:30~8:30	さんかく	5店	約50人
12	10/16(日) 7:30~8:30	さんかく	5店	約50人
13	11/3(祝) 7:30~8:30	さんかく	5店	約60人
14	11/13(日) 10:00~11:00	出張	6店	約60人

まち広：まちなか広場 出張：出張開催 さんかく：さんかく広場



(3) 福島うまいものの市の開催

11月3日(祝)の商店街の日に「福島の食」を楽しんでいただくイベントとして開催した。

福島市商店街連合会青年部の出店や餃子等の販売のほか、ダンスチームやバンド演奏などのステージイベントを展開した。

同日、駅前通りでは「ももりんダッシュNo.1」、吾妻通りでは「蕎麦とロック」が同時開催され、相乗効果により中心市街地が多くの人出で賑わった。



(4) まちなかイルミネーション事業への協力

光のしずく事業（福島市イルミネーション）実行委員会への支援・協力を行い、冬のまちなかにあかりを灯した。

- ・点灯（令和4年12月2日）

駅前元気プロジェクトによる「フユフェス・東口駅前広場イルミネーション点灯式」と同タイミングで点灯。

※点灯期間

令和4年12月2日(金)～令和5年1月31日(火)

3 街なか情報の発信

1. ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」の発信

市内中心部で開催されるイベントを主体に各種イベント情報を収集し、まちなかの賑わい創出や中心市街地の活性化に寄与することを目的として、インターネット（公式ホームページ・スマートフォンサイト）において一括した情報発信を行った。

* R4 イベントカレンダー（R4.4/1～R5.3/31）

- ・イベント掲載件数 250件
- ・アクセス者数 60,134人
- ・アクセス件数 78,277件

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

I D

広域連携の推進

1 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会による地域連携の促進

2 福島西道路の南伸および北伸促進

1 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会による地域連携の促進

3市の相互地域開発並びに経済発展を図ることを目的に3会議所合同で各種事業を実施した。

(1) 会議の開催

- ワーキンググループ

令和4年8月29日(月)(相馬市)

- 専務理事会議

令和4年9月29日(木)(相馬市)

(2) 創設40周年記念 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会

今後の『東北中央道活用促進』と『相互地域の活性化を図る』ため意見交換の機会として開催した。

日 時 令和4年11月30日(水) 15:30

場 所 「ホテル飛天」(相馬市)

出席者 48名

内 容

第1部 懇談会

挨拶

米沢商工会議所 会頭 草野 清貴 氏

講演会

テーマ「アフターコロナを見据えた観光地・観光産業の再生にむけて」クルーズ船寄港での稼げる地域・稼げる産業の実現

講 師 東武トップツアーズ(株)

ソーシャルイノベーション推進部

営業担当部長 濱野 一哉 氏

意見発表 3会議所青年部

決意表明

第2部 懇親会

(3) 福島・相馬・米沢広域観光PRの実施

3市のさらなる連携強化と交流人口の促進を目的に3商工会議所の会報誌で相互にPRを行った。

(4) 観光ドライブマップの作成

東北中央自動車道をさらに活用していただくことを目的に道の駅をはじめ各種観光情報を掲載したマップを作成した。

作成部数 22,000部

配布場所 各地「道の駅」、サービスエリア、
観光案内所、ほか

2 福島西道路の南伸および北伸促進

一般国道13号福島西道路は、I 期事業区間7.7kmが全線4車線で供用されており、市民の通勤や買い物などの日常生活を支えるとともに、福島市の基幹産業である農業および工業の基盤となる、極めて重要な道路である。

また、福島西道路II期事業（南伸）は、平成24年に新規事業に採択されて以降、用地進捗率は8割に達し、平成29年から始まった改良工事も順調に進み、ついには令和8年度までとの開通見通しが示されたところである。

II期事業は慢性的な渋滞の緩和、交通事故の減少、災害時のリダンダンシーの確保、県内唯一の高度救急救命センターである福島県立医科大学付属病院への搬送所用時間の短縮による救命率向上など、安全・安心な市民生活の実現に大きく寄与するものである。さらに、一般国道13号が関東・東北の大動脈たる一般国道4号と直結することで生じる物流効率の向上は、I 期事業が地域にもたらす恩恵を深化させ、福島都市圏のさらなる発展を強く引き寄せるものである。

これらを踏まえ、当所会頭が福島西部環状道路建設促進期成同盟会会長となり、事業が継続的かつ着実に進むよう官民挙げての要望を、国や国会議員等へ働きかけた。

I E

観光振興と 交流人口拡大の推進

1 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

1. 「ふくしま花のまちフェスティバル2022」の実施
2. 花ももの木プランター・切り花設置事業の実施

2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

1. 観光集客拠点と連携した観光情報の発信
2. WEB版 ふくしまフォトライブラリーの充実と情報発信

3 昭和の大作作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ各種事業の実施

1. 「古関裕而の名曲を聴こう！」事業

4 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

1. 福島ユナイテッドFCへの支援・協力
2. 2022ふくしま花ウォークへの支援
3. 第24回ふくしま吾妻荒川・花見山ツーデーマーチへの支援
4. 第20回あづまの郷ウォーク大会への支援
5. 第23回あづま荒川クロスカントリー大会への支援

5 国際交流の推進

1. ふくしま台湾友好協会による交流事業の実施
2. 台湾経済団体との交流促進事業の実施（風評被害・風化対策事業）

1 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

1. 「ふくしま花のまちフェスティバル2022」の実施

春のお花見シーズンに本市を訪れる観光客に、より一層「花のまち・福島」のイメージを強く持っていただくため、玄関口となる福島駅の駅前広場および古関裕而ストリート（駅前通り・レンガ通り）を花で装飾した。また、福島の良い食事でおもてなしをする「優待お食事券事業」の実施を通じて中心市街地の賑わい創出と回遊性の向上を図り、福島市の魅力を県内外に発信することを目的に実施した。

・実施時期

令和4年4月1日(金)～5月31日(火)

※但し、花時計は年間事業として実施

・場 所

メイン会場を「駅前広場」とし、古関裕而ストリート（駅前通り・レンガ通り）をはじめ、周辺の商店街を対象とした。



2. 花ももの木プランター・切り花設置事業の実施

プランターに植栽した「花ももの木」と「切り花」を4月の花見山観光シーズンに合わせて開催した「ふくしま花のまちフェスティバル2022」期間中、古関裕而ストリート（福島駅前通り・レンガ通り）、および福島駅東口・西口広場に設置した。

・設置期間

令和4年4月1日(金)～4月25日(月)

- ・内 容 花ももの木プランター（約85鉢）・花見山の切り花（40鉢）を設置した。



2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

1. 観光集客拠点と連携した観光情報の発信

(1) 「金わらじ」「紅白わらじ」の展示

平成29年度に創立100周年を記念し製作した「金わらじ」(3m)をコラッセふくしま1階アトリウムに、「紅白わらじ」(3m)を市本庁舎1階へ昨年に引き続き常設展示した。

(2) 「健脚わらじ」の展示

「福島わらじまつり」PRのため、JR福島駅新幹線乗換口に、長さ5mの健脚わらじを展示した。

2. WEB版 ふくしまフォトライブラリーの充実と情報発信

アマチュアカメラマンによる福島市の優れた風景写真を撮影していただき、その作品をWeb上に展示する事業を実施した。当事業の実施により、「いつでも・だれでも・どこからでも」福島の四季折々

の風景写真を閲覧・利用できるシステムを整備し、写真により福島市の自然の素晴らしさを全国に伝えた。

(1) 作品の希望者への貸借

年度	作品貸出	
	申込団体数	増減
令和4年度	1	▲4
令和3年度	5	1
令和2年度	4	3

3 昭和の大作作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ各種事業の実施

1. 「古関裕而の名曲を聴こう！」事業

(1) 「古関裕而ミュージックダンスステージ」

- ・開催日 令和4年10月2日(日)
- ・場所 東口駅前広場、福島駅前通り
- ・内容 古関裕而氏作曲「栄冠は君に輝く」等使用したダンスイベントを開催した。

(2) 「ふくしまユージックフェス2022」(青年部事業)への支援・協力

- ・開催日 令和4年10月29日(土)
- ・場所 東口駅前広場、福島駅前通り
- ・内容 古関裕而氏作曲の楽曲を中心にプロ・アマ問わず披露するイベント。同時に古関氏と信夫山をモチーフにした生菓子の予約会(yuzu none)と交流事業によって繋がりのある他青年部に出店を依頼した飲食イベント(ふるさと交流マルシェ)も同時開催

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加



(3) 古関裕而氏を紹介するラジオ番組の放送

「響き、輝く、栄冠のメロディ～古関裕而氏が繋いだキセキの瞬間（とき）～」

- 放送日時 令和5年1月29日(日)
16時30分～17時
- 放送局 ラジオ福島
- 内容 福島が生んだ大作曲家・古関裕而氏。古関氏は楽曲として多くのレコードを世に出しただけでなく、「ラジオドラマ音楽」や「映画・テレビ音楽」等の多様なメディアでもその才能を発揮されました。そんな「古関メロディ」とメディア作品との関わりにスポットを当てた他、4度目のノミネートにてついに念願叶った「野球殿堂入り」についても紹介。

(4) 野球殿堂入りを祝した懸垂幕の設置

令和5年1月の発表により、古関裕而氏の野球殿堂入りが決定した。福島商工会議所では、殿堂入りを祝し、市内2か所に懸垂幕を設置し、福島市民に対し広く今回の殿堂入りをPRした。



(5) 古関裕而氏野球殿堂入り記念祝賀会の実施

- 開催日 令和5年2月27日(月)
- 場所 ウエディングエルティ1階
- 内容 福島市出身の昭和の大作曲家で、唯一の福島市名誉市民であり、NHK連続テレビ小説「エール」のモデルとなった古関裕而氏が、「特別表彰」で野球殿堂入りに選ばれた。古関氏の殿堂入りに向けては、福島市や福島商工会議所等で実現する会を組織し、野球殿堂博物館に推薦書を提出するなどの活動を実施。この野球殿堂入りを祝福するとともに、古関氏の数々の作曲によりわが国の文化とスポーツの発展に大きく貢献された功績に感謝の意を表し標記祝賀会を開催した。



4 交流人口拡大に向けた スポーツイベントへの 支援・協力

1. 福島ユナイテッドFCへの支援・協力

(1) オフィシャルクラブパートナー契約による支援

- ・福島ユナイテッドFCとオフィシャルクラブパートナー契約をし、福島ユナイテッドFCの主催ゲームにおいて、フィールド看板を掲出した。

(2) サポーターズクラブへの加入促進

- ・加入促進チラシの全会員事業所への配布

(3) クラブ活動に関する広報支援

- ・所報「ふくしま」並びにホームページでの試合情報等の広報

(4) J2、J1昇格に向けた環境整備への支援

- ・「福島市にサッカースタジアムをつくる会」活動スタジアム構想ワーキンググループの開催

(5) 福島ユナイテッドFC後援会福島支部の設立

- ・物心両面にわたる継続的な支援や地域活動の協力を行う

2. 2022ふくしま花ウォークへの支援

- ・開催日 令和4年4月2日(土)
- ・場所 東口駅前広場から5km・10kmのコースで実施された。
- ・参加者 約1,000名

3. 第24回ふくしま吾妻荒川・花見山 ツーデーマーチへの支援

- ・開催日 令和4年4月2日(土)・3日(日)
- ・場所 東口駅前広場から荒川沿いに、吾妻総合運動公園まで巡る33km・22km・

11kmコースの3コースで実施された。

- ・参加者 約500名（各日約250名）

4. 第20回あづまの郷ウォーク大会への支援

- ・開催日 令和4年11月3日(木・祝)
- ・場所 とうほう・みんなのスタジアムから荒川沿いの5コースで実施された。
- ・参加者 約1,500名

5 第23回あづま荒川クロスカントリー 大会への支援

- ・開催日 令和4年12月11日(日)
- ・場所 とうほう・みんなのスタジアムから荒川クロスカントリーコースの全13コースで実施された。
- ・参加者 約1,500名

5 国際交流の推進

1. ふくしま台湾友好協会による交流 事業の実施

(1) 情報提供

- ・台湾観光（日本語版）の送付
台湾の最新情報と日本との交流事業を伝える情報誌『台湾観光（日本語版）』を台湾観光協会東京事務所の協力を得て希望会員に送付した。

(2) 台湾オンラインツアーへの参加

新型コロナウイルス感染拡大のため海外旅行ができない中、オンラインにより台湾の観光や食の魅力を再認識いただくことを目的とした県主催のオンラインツアーを会員に対して周知をした。

- ① 実施日 令和4年9月4日(日)
内容 台中街歩きツアー
- ② 実施日 令和4年11月13日(日)
内容 台北グルメと街並み体感ツアー

総括的概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

- ③ 実施日 令和5年2月24日(金)
内 容 台中夜市ローカル街歩きツアー

2. 台湾経済団体との交流促進事業の実施（風評被害・風化対策事業）

震災時最大規模の支援をいただいた親日国である台湾との交流をより深め、併せて風評被害の払拭および風化の防止を図るため、台北駐日経済文化代表所並びに台湾観光協会に対して福島市のくだもの（桃・りんご）を贈呈した。

引き続き、両国の良好な経済・観光推進について、交流を深めることを確認した。

I F 地域の祭り・ 伝統文化の興隆

- 1 福島わらじまつりの実施
- 2 ふくしま花火大会の実施協力
- 3 ふくしま山車祭りの実施協力

1 福島わらじまつりの実施

第53回 福島わらじまつり（時短開催）

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、観客が密にならないよう、国道13号の片側2車線を観覧エリアとして開放し、例年の輪おどりではなく流しおどり方式での開催とした。また、事前に露店でのアルコール類の提供自粛を呼びかけ、参加人数も一団体あたり100名までに限定し、例年より終了時刻を早めた時短開催とした。

・開催期日

令和4年8月5日(金) 18:00～20:20
8月6日(土) 17:00～20:30
8月7日(日) 9:30～10:30

・会場

国道13号信夫通り（東側2車線を観客エリアに設定）、まちなか広場、さんかく広場、ぱーきんぐパセオ、駅前通り、信夫山（羽黒神社）

・行事内容

- ① 8月5日(金)
修祓式、わらじおどり、大わらじパレード、創作わらじパレード
- ② 8月6日(土)
わらじ作り体験教室、わらじ担ぎ体験教室、わらのわ作り体験教室、わらじおどり体験教室、福島わらじ綱引き、わらじおどり、大わらじパレード、創作わらじパレード、フィナーレ
- ③ 8月7日(日) 羽黒神社への大わらじ奉納

開催内容	団体数	人数
修祓式	－	40名
わらじおどり	26	1,132名
大わらじパレード	7	100名
創作わらじパレード	6	60名
福島わらじ綱引き	10	150名
わらじ作り体験教室	－	30名
わらじ担ぎ体験教室	－	30名
わらのわ作り体験教室	－	30名
わらじおどり体験教室	－	50名
大わらじ奉納	4	50名
合 計	53	1,672名

I F

地域の祭り・
伝統文化の興隆

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

2 ふくしま花火大会の実施協力

第44回ふくしま花火大会

- 開催期日
令和4年7月30日(土) 19:30～(20分程度)
- 会場
信夫ヶ丘緑地、信夫ヶ丘球場
- テーマ
「未来へつながる 希望のオーケストラ」
- 打上総数
約3,000発

豊橋観光コンベンション協会の手筒花火と県内の花火業者2社による打上花火の競演。

観覧者の「密」を防ぐため時短開催とし、打ち上げ地点から離れた場所でも楽しむことができるよう、大玉の割合を多くした花火構成とした。



3 ふくしま山車祭りの実施協力

第14回ふくしま山車祭り

ふくしま山車祭り実行委員会が主催する、第14回ふくしま山車祭りに企画段階より参画した。

今回は会場を市内の吾妻通り・さんかく広場に設定して開催し、地域に伝わる自慢の山車とお囃子を多くの観光客に楽しんでもいただいた他、全国大会にて優勝に輝いた帝京安積高校和太鼓部が特別出演した。

- 協力内容
 - ・実行委員会、担当者会議への出席
 - ・開催に向けた協賛金募集への協力

○開催日 令和4年8月27日(土)

○会場 吾妻通り、さんかく広場

I G

消費拡大の推進

1 飲食店パンフレット等活用による消費拡大の推進

1. 優待食事券事業「2022ランチで食うポン」の作成・配布

2 酒類提供飲食店支援事業「呑nde食うポン」の発行

3 「こだわる食のお店」推奨キャンペーンの実施

4 ふくしま^{エール}応援お持ち帰りごはんチラシ作成支援について

1 飲食店パンフレット等活用による消費拡大の推進

1. 優待食事券事業「2022ランチで食うポン」の作成・配布

震災からの復興と、加えて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食業界における停滞ムードの払拭、ならびに飲食店の売上増進を目的として、参加店で使用できる優待食事券事業を実施した。

参加飲食店を記載したクーポン付きパンフレットを作成し、通常1,000円超のメニューを1,000円（税込）で提供していただく取り組みである。お客様は「ランチで食うポンのメニューを注文します」と伝えるだけで飲食可能としており、多くの方により利用しやすく楽しんで頂けるように工夫した。

(1) 春のランチで食うポン

・期 間

令和4年4月1日～5月31日

・実 績 クーポン券 50,850枚

・発行部数 パンフレット…6万部

・参加店舗 51店舗

福島商工会議所管内：49店舗

松川町商工会管内：2店舗

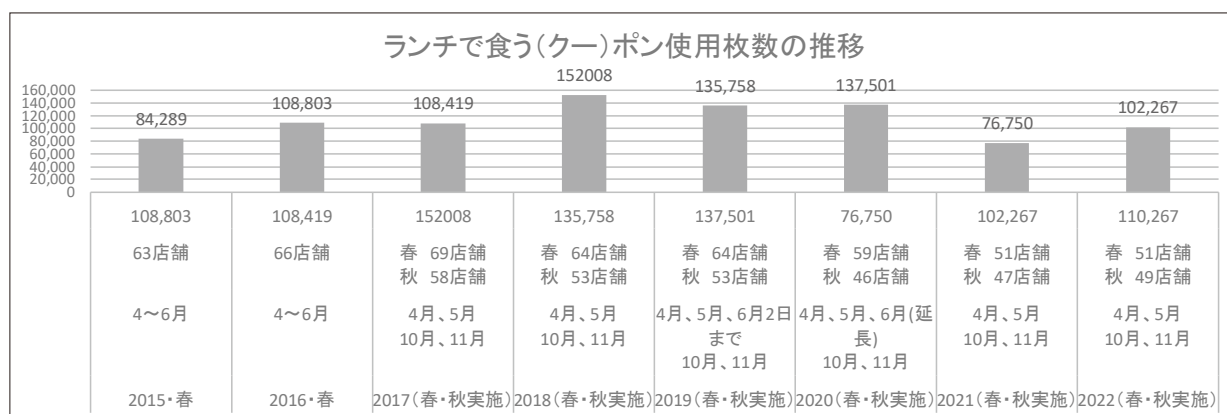


(2) 秋のランチで食うポン

- 期 間
令和4年10月1日～11月30日
- 実 績 クーポン券 59,417枚
- 発行部数 パンフレット…6万部
- 参加店舗 49店舗
福島商工会議所管内：46店舗
松川町商工会管内：2店舗
飯坂町商工管内：1店舗



[クーポン券使用枚数の推移]



2 酒類提供飲食店支援事業「呑ん de 食うポン」の発行

新型コロナウイルスの影響で大打撃を受けた酒類提供飲食店を支援するため、掲載各店でお得な特典サービスが受けられる「呑ん de 食うポン」冊子を発行した。

- 発行枚数 30,000部
- 掲載店舗 市内飲食店50店舗
- 使用期間 令和4年12月1日(木)～
令和5年2月28日(火)

3 「こだわる食のお店」推奨キャンペーンの実施

応援したい（利用者が“福”をもらえる）飲食関連会員事業所を福島商工会議所が推奨することにより、会員企業の経営意欲を高め地域経済の活性化を図ることを目的として実施した。

※推薦方法 お勧めしたい理由があり、これからも応援したい（利用者が“福”をもらえる）飲食関連の店舗・事業所を、当所議員及び食品商業部会員、役職員からの推薦いただくことで選出。

- 推薦期間 令和4年4月1日～6月30日
- 推奨店数 63社

【推奨キャンペーン実施内容】

- ① パンフレットを1,000部作製し、コラッセふくしま1階情報ステーション、福島駅観光物産案内所等で配布
- ② 推奨店へPR用オリジナルステッカーの贈呈
- ③ マスコミ等への周知
- ④ 所報ふくしまへ掲載及び当所公式サイトへの掲載とSNSによる周知の実施



4 エール ふくしま応援お持ち帰りごはんチラシ作成支援

当所では、コロナ禍のテイクアウトの需要に対して、希望された飲食店のテイクアウトのチラシ作成支援を実施した。

- 支援期間：令和4年5月10日～6月30日
- 支援内容：①テイクアウトメニューチラシ作成の支援
A4サイズ・片面フルカラー
印刷数300枚
- 支援事業所数：7事業所
- 支援内容：②自社のテイクアウトメニューのチラシの印刷の支援
A4サイズ・片面4色カラー
印刷数300枚
- 支援事業所数：1事業所

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

Ⅱ 会員事業所の発展 (企業の安定・成長)

Ⅱ A 小規模事業者の伴走型支援の推進

Ⅱ B 相談支援体制の充実・強化

Ⅱ C 経営革新の推進

Ⅱ D 事業承継・事業再生の支援

Ⅱ E 創業の推進

上記内容については、「[7](#) 経営改善普及事業」(P 98～P 111)で報告

Ⅱ F ビジネス拡大の 推進

1 医産連携推進事業の充実

2 会員事業所応援表彰「福エール賞」会員企業の顕彰

3 販路開拓支援事業の実施

1 医産連携推進事業の充実

1. ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進ならびに福島県立医科大学・大原総合病院と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援

市内の製造業者等が医療福祉分野との連携により技術開発を図り、新たな産業創出を推進していくことを目的とした福島市医産連携推進事業（名称：福島市医産連携研究会）については、平成25年度より福島市の委託事業として取り組んできたが、平成29年度をもって委託事業が終了となった。

今後も継続した取り組みが必要であることから、平成30年度以降は会の名称を「ふくしま医療関連ビジネス研究会」に変更し、福島商工会議所事業として事業運営を行っている。

令和4年度についても、福島県立医科大学、福島大学等の関係機関より支援をいただくとともに、連携して事業を行った。

1. 組 織

・会員数 16社

・役 員

会 長 渋谷 修一（有）福島熔材工業所）

副会長 林 克重（タカラ印刷株）

幹 事 細井 建紀（株）アイバック）

〃 渡辺 隆（東北精密工業株）

〃 菅野 寿夫（アサヒ電子株）

〃 中野泰三郎（株）NAKANO）

監 事 五十畑昌之（東北自興株）

・支援アドバイザー（団体名で記載）

国立大学法人福島大学

地域未来デザインセンター

公立大学法人福島県立医科大学

ふくしま新産業創造推進協議会

福島県知財総合支援窓口

総括的概要

施策体系

I 定 款・
規 約 等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活 力 有 限
公 司 創 造

VII 事業 II
会 員 事 業 所
の 発 展

VII 事業 III
魅 力 有 限
公 司 創 造

VII 事 業
経 営 改 善
普 及 事 業 他

VIII 登 録

IX 事 務 所 等

X 団 体 加 入
お び 連 携

XI その他
の 会 議 等 へ
の 参 加

2. 会議関係

会の運営・活動に関する検討や会員企業の医産連携に向けた取り組み報告等について役員会および研究会を開催

- 令和4年5月24日 第1回役員会
- 令和4年7月21日 第1回研究会
- 令和5年1月26日 第2回研究会

3. 講演会

医産連携に向けた講演会を実施した。

- 令和4年7月21日
テーマ これまでの産学官共同研究の実績
講師 福島県立医科大学
教授 錫谷 達夫 氏

4. 視察会

会員企業が医療分野への見識を深めることを目的に視察会を開催した。

- 令和4年12月22日
ふくしま医療機器開発支援センター
- 令和5年1月26日
株NAKANO



5. 出展関係

研究会および会員企業の活動をPRするため各種展示会に出展した。

- メディカルクリエーションふくしま2022
開催日 令和4年10月27日・28日
会場 ビッグパレットふくしま（郡山市）
内容 研究会として2ブースを確保し会員企業が共同出店を行った。
なお、出展にあたっては、福島市「展

示会出展・販路拡大支援補助金」を活用した。（補助率2／3、補助額10万円）

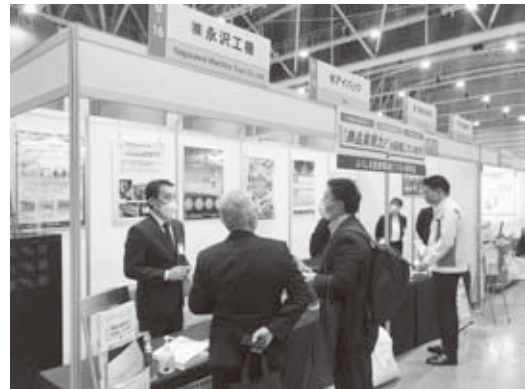
〔出展企業 4社および研究会〕

株アイバック、アサヒ電子(株)、

株永沢工機、株NAKANO

ふくしま医療関連ビジネス研究会

また、アサヒ電子(株)が福島県立医科大学からニーズをいただき、製品化に取り組んでいる点眼補助器具のPRも行った。



6. 県立医大・大原総合病院との連携事業

「職場のお困りごと解決！ものづくり事業」

会員企業が医療分野進出の足掛かりとするため、医療機関で勤務されている方々から意見や要望を伺い、参入へ向けたニーズを探るとともに製品開発に活かすことを目的として実施した。

実施に際しては、県立医科大学医療研究推進課にご協力いただき、大学内イントラネットでご告知いただくとともに関係各課にチラシを配布し周知を行った。

また、令和4年度より大原総合病院にもご協力いただき、関係各課へメールを送付いただくとともにチラシを配布し周知を行った。

- ・意見・要望件数 1件

7. 試作支援

県立医科大学からサイクロトロン製のAt基板のニーズをいただき、会員企業の東北精密工業(株)が取り組むこととなったため、試作品作成に関する支援を行った。

8. 広報関係

研究会及び会員企業をPRするため、リーフレットを作成するとともにHP等により広報を行った。

- 会員企業リーフレットの作成

作成部数 1,000部

配布先 会員企業、関係機関、展示会会場等

- ホームページ

<http://www.fukushima-cci.or.jp/?p=15415>
(福島商工会議所HP内)

- Facebook

<https://www.facebook.com/fukushimaHBA/>

9. 情報提供

会員企業に対して医産連携に向けた情報提供活動を随時実施した。

2 会員事業所応援表彰 「福エール賞」会員企業の顕彰

1. 目的

自社の強みや経営資源を活かしたり、新たな商品・サービス等を開発することなどで努力を重ねられ、業績に好影響「福」をもたらしている事業所を顕彰することによって、会員企業の経営意欲を高めるとともに、地域経済の活性化を図る。

2. 応募方法および審査方法

福島商工会議所議員事業所や役職員等からの推薦により対象事業所を選出し、選考委員会で受賞事業所を決定。

3. 応募期間

令和4年11月1日～12月15日

4. 応募並びに選出事業所数

応募事業所数 6社

※全事業所を表彰対象事業所として選出

5. 受賞事業所（事業所50音順、業種）

(株)伊藤石材工業（製造業）

エンラク（飲食業）

中野屋菓子舗（製造・小売業）

野田鉄工(有)（製造業）

(株)森山（製造・小売・サービス業）

(株)四輪販売福島（小売・サービス業）



3 販路開拓支援事業の実施

1. 2022年販路開拓塾「今すぐ始められる！SNS活用セミナー」の開催

コロナ禍により減少した売上の回復や新規顧客の開拓に向けて、コストを掛けずに効果的に集客等に取り組むことができるSNSの活用セミナーを開催した。

- 開催日 令和4年9月27日（火）
- 場所 福島商工会議所 会議室
- 講師 株BESW
代表取締役 田中 千晶 氏
- 参加者数 43名
- 内容
 - ①企業のSNS活用の現状と運用の仕方
 - ②SNSを活用した売上戦略と運用体制
 - ③各SNSの特徴&ビジネス事例紹介 等

2. 展示商談会への出展支援の実施

仙台市で開催された展示商談会に出展枠2小間を利用した福島商工会議所ブースを設け、出展を希望する事業者の出展支援を実施した。

また、出展事業者に対しては展示ブース設営のポイントや商談の進め方等について学んでいただく事前準備セミナーを開催した。

- 商談会名 ビジネスマッチ東北2022秋
- 日時 令和4年11月10日（木）
- 会場 夢メッセみやぎ
- 出展者 4事業所
- 出展形態 商工会議所1小間を半分ずつ利用する形で出展
- 全体出展 427企業・団体
- 来場者数 4,352名
- 商談件数 3,425件
- 支援実績 名刺交換73件中、商談成立・見込み3件、商談継続10件



〈展示商談会出展事前準備セミナー〉

- 開催日 令和4年10月6日（木）
- 場所 福島商工会議所 会議室
- 講師 ㈲千代田
代表取締役 林 由希恵 氏
- 参加者数 4社4名
- 内容
 - ①魅せ方で印象が変わる展示陳列の基本
 - ②自社の強みを可視化してみよう
 - ③出展準備リスト&ポイント 等

II G 人材育成事業の 推進

1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

1. 製造企業の技術力向上に関するセミナーの実施
2. 生産性向上支援訓練セミナーの実施
3. パソコン教室
4. 経営に役に立つ!WEBセミナーの配信

2 各種検定試験による商工技能の向上

1. 簿記検定試験
2. リテールマーケティング（販売士）検定試験
3. 珠算能力検定試験
4. PC検定試験
5. 福祉住環境コーディネーター検定試験
6. ビジネス実務法務検定試験
7. カラーコーディネーター検定試験
8. 環境社会検定試験（ECO検定）
9. ビジネスマネジャー検定試験

1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

1. 製造企業の技術力向上に関するセミナーの実施

(1) 2022人材育成塾「県北技塾」

- ・開催日 令和4年10月4日(火)
～10月31日(月)
- ・開催場所 コラッセふくしま
- ・開催日数 8回(8日間)
- ・受講者数 92名(令和3年実績:92名/8回)
- ・講座内容 次の通り

「鉄鋼材料学～基礎と応用の境界を学ぶ～」

日本大学名誉教授 工学博士 藤原 雅美 氏

「品質工学の導入と活用による市場品質の安定化と技術人材の育成」

武田品質技術相談所 所長 武田布千雄 氏

「人と仕事を動かすための現場リーダー・管理者の基本行動」

ポリテクセンター福島 電気・電子技術分野
職業訓練指導員、TWIトレーナー（改善の仕方）
藤村 伸治 氏

「腐食・防食の基礎」

福島県ハイテクプラザ 材料技術部
金属・物性科 金属・物性科長 杉内 重夫 氏

「不良原因の解析手法」

福島県ハイテクプラザ 材料技術部
分析・化学科 主任研究員 矢内 誠人 氏

「3Dプリンタの基礎」

ポリテクセンター福島 CAD/NCオペレーション科
機械加工技術分野 職業訓練指導員 菅原 大雅 氏

「SDGsと環境技術」

ロイシー環境安全衛生事務所
ISO14001、エコアクション21審査員 白石田良一 氏

「機械学習の基礎と利用」

ポリテクセンター福島 電気・電子技術分野
職業訓練指導員 大石 節 氏

2. 生産性向上支援訓練セミナーの実施

今後の企業経営の上で、地域の中小企業等が持続的に成長するためには、労働者一人一人の生産性向上が重要であると考えられることから、中小企業等の人材育成、従業員の労働生産性向上を支援することを目的に生産性向上支援訓練セミナーを開催した。

(1) 「チャンスをつかむインターネットビジネス」

生活様式や経済活動が変容する今こそ取り組み、インターネットを活用した販促手法を実践することを呼び掛けた。

- ・講師 G-word
代表 杉山 貴思 氏
- ・開催日 令和5年1月17日(火)、18日(水)
- ・開催場所 コラッセふくしま
- ・受講者数 11名

3. パソコン教室

(福島商工会議所生産性向上IT研修事業)

1. 委託先 (株)ミライフ
(令和5年3月現在、全国119商工会議所134教室で受託運営)
2. 開講場所 チェンバおおまち
3. 授業内容
 - ・インストラクターが常駐して指導
 - ・受講料は1回(50分)1,000円の固定制。各自の都合によって何時間受講しても可。
4. 在籍者数 247人

4. 経営に役に立つ！WEBセミナーの配信

新型コロナ対策・一般経営・研修等、600本以上のセミナーを無料でネット配信した。

- ・配信期間 令和4年4月1日(金)～
令和5年3月31日(金)
- ・視聴回数 4,656回
- ・視聴セミナー数 1,151本
- ・視聴者数 1,980名

2 各種検定試験による商工技能の向上

1. 簿記検定試験（主催：日本商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）			今年度 合 計	昨年度 合 計	対比増減
		1 級	2 級	3 級			
第161回	4 年 6 月12日（日）	19 (2)	55 (7)	74 (26)	148 (35)	207 (29)	▲ 59 (6)
第162回	4 年11月20日（日）	20 (1)	43 (7)	185 (59)	248 (67)	267 (73)	▲ 19 (▲ 6)
第163回	5 年 2 月26日（日）	－ (－)	119 (24)	131 (34)	250 (58)	318 (91)	▲ 68 (▲ 33)
合 計		39 (3)	217 (38)	390 (119)	646 (160)	792 (193)	▲146 (▲ 33)

受験者数の推移

年 度	1 級	2 級	3 級	合計	対前年比
令和 4 年度	39	217	390	646	▲146
令和 3 年度	37	287	468	792	▲ 65
令和 2 年度	44	275	538	857	▲343

【各級の程度・能力】

1 級 公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門で、1 級に合格すると税理士試験の受験資格が得られる。大学で専門に学ぶ程度の商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算を習得し、財務諸表規則や企業会計に関する法規を踏まえて経営管理や経営分析ができる。

2 級 株式会社の経営管理に役立つ。企業の財務担当者として必要な高校（商業高校）程度の商業簿記、工業簿記を習得している。財務諸表を読む力が身に付き、自社や取引先の経営内容を数字から把握できる。

3 級 企業に働く者の必須の基礎知識が身に付き、商品や中小企業の経理事務に役立つ。経理関連書類を読むことができ、青色申告などの書類作成もある程度できる。経理・財務担当以外でも必要な知識として評価する企業が多い。

2. リテールマーケティング（販売士）検定試験（主催：日本商工会議所）

令和 3 年度からオンライン検定試験が導入され、受験者と試験会場の都合で臨時受験が可能になった。

回 次	施行年月日	級	受験者数（合格者数）	前年度受験者数（合格者数）
オンライン検定試験		2 級	90（ 65）	102（ 80）
		3 級	156（ 86）	125（ 71）
合 計			246（151）	227（151）

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

受験者数の推移

年 度	1 級	2 級	3 級	合 計	対前年比
令和 4 年度	－	90	156	246	19
令和 3 年度	－	102	125	227	▲58
令和 2 年度	1	121	163	285	▲28

3. 珠算能力検定試験（主催：日本商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）						今年度 合 計
		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	
第225回	令和 4 年 6 月26日（日）	26 (11)	20 (6)	38 (11)	2 (2)	11 (10)	5 (3)	102 (43)
第226回	令和 4 年10月23日（日）	17 (3)	19 (8)	32 (19)	9 (1)	7 (1)	9 (0)	93 (32)
第227回	令和 5 年 2 月12日（日）	23 (9)	28 (12)	32 (22)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	85 (44)
合 計		66 (23)	67 (26)	102 (52)	13 (4)	18 (11)	14 (3)	280 (119)

受験者数の推移

年 度	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合計	対前年比
令和 4 年度	66	67	102	13	18	14	280	▲ 16
令和 3 年度	73	85	95	13	14	16	296	62
令和 2 年度	43	66	95	12	6	8	234	▲105

【各級の程度・能力】

	【みとり算(10題)】	【かけ算 (20題)】	【わり算 (20題)】
1 級	10口 100字	実法合わせて11けた	法商合わせて10けた
2 級	10口 80字	実法合わせて 9 けた	法商合わせて 8 けた
3 級	10口 60字	実法合わせて 7 けた	法商合わせて 6 けた
4 級	10口 50字	実法合わせて 7 けた	法商合わせて 6 けた
5 級	10口 40字	実法合わせて 6 けた	法商合わせて 5 けた
6 級	10口 30字	実法合わせて 5 けた	法商合わせて 4 けた

4. PC検定試験（主催：日本商工会議所） ※ネット試験認定校により随時実施

級		施行回数	受験者数 (合格者数)	今年度合計
文書作成	2級	13	13 (3)	44 (29)
	3級	25	25 (20)	
	ベーシック	6	6 (6)	
データ活用	2級	10	10 (6)	39 (30)
	3級	23	23 (19)	
	ベーシック	6	6 (5)	
プレゼン資料作成	2級	0	0 (0)	13 (10)
	3級	13	13 (10)	
合 計		96	96 (69)	96 (69)

受験者数の推移：過去3年

年度	文書作成			データ活用			プレゼン資料作成		合計	対前年比
	2級	3級	ベーシック	2級	3級	ベーシック	2級	3級		
令和4年度	13	25	6	10	23	6	0	13	96	▲ 6
令和3年度	12	28	4	4	26	15	1	12	102	5
令和2年度	13	24	5	15	29	4	4	3	97	▲ 9

【各級の程度・能力】

文書作成	2級	与えられた情報を整理・分析し、参考となる文書を選択・利用して、状況に応じた適切なビジネス文書、資料等を作成することができる。
	3級	指示に従い、ビジネス文書の雛形、既存文書を用いて、正確かつ迅速にビジネス文書を作成することができる。
	ベーシック	ワープロソフトの基本的なスキルを有し、企業実務に対応することができる。
データ活用	2級	表計算ソフトを用い、当該業務に関する最適なデータベースを作成するとともに、適切な方法で分析し、表やグラフを駆使し業務報告・レポート等ができる。
	3級	表計算ソフトを用い、指示に従い正確かつ迅速に業務データベースを作成し、集計、分類、並び替え、計算、グラフ作成等ができる。
	ベーシック	表計算ソフトの基本的な操作スキルを有し、企業実務に対応することができる。
プレゼン資料作成	2級	与えられた情報を整理・分析し、図解技術やレイアウト技術、カラー表現技術等を用いて、適切で分かりやすいプレゼン資料を作成することができる。
	3級	指示に従い、プレゼン資料の雛形や既存の資料を用いて、正確かつ迅速にプレゼン資料を作成することができる。

5. 福祉住環境コーディネーター検定試験（主催：東京商工会議所）
6. ビジネス実務法務検定試験（同上）
7. カラーコーディネーター検定試験（同上）
8. 環境社会検定試験（ECO検定）（同上）
9. ビジネスマネジャー検定試験（同上）

上記5検定については、令和3年度からIBT方式とCBT方式による施行に変更となったことに伴い、受験者数の把握方式が変更となったため、個別の受験者数の掲載を取りやめます。

IBT……インターネットを通じて自身のパソコンで受験する方式。

試験期間内で都合のよい日時を受験者が選択し、自宅や会社等で受験が可能。

CBT……全国300ヵ所以上のテストセンターにあるコンピュータを使った試験方式。受験に必要なパソコン、ヘッドセットは会場が用意。

II H 雇用対策事業の 推進

1 求人・求職間のミスマッチ解消 に関すること

1. 会員企業人事担当者と高等学校就職担当教諭との意見交換会の開催

2 雇用創出事業の推進

1. 福島市若者自立支援仕事体験事業の実施
(職場体験講習事業)

3 健康経営に関すること

1. 健康経営セミナーの実施

1 求人・求職間のミスマッチ 解消に関すること

1. 会員企業人事担当者と高等学校就職担当教諭との意見交換会の開催

高校と企業の連携強化と相互理解により、新規高卒者雇用環境の改善および学生の就職支援を図ることを目的として、会員企業の人事担当者と高等学校の就職担当者との意見交換会を開催した。

また、意見交換会開催前に高等学校就職担当の教諭を対象とした企業説明会を実施し、(株)ダイユーエイト、福島キヤノン(株)の2社から企業概要等の説明を受けた。

【企業説明会】

- ・開催日 令和4年10月31日(月)
- ・開催場所 ウエディングエルティ
- ・説明企業 (株)ダイユーエイト
福島キヤノン(株)
- ・出席者数 高等学校 9校9名

【意見交換会】

- ・開催日 令和4年10月31日(月)
- ・開催場所 ウエディングエルティ
- ・出席者数 会員企業 9社9名
高等学校 9校9名
雇用育成委員会 10名
中小企業振興委員会 1名
福島公共職業安定所 1名
福島県商工労働部雇用労政課 1名
福島市商工観光部産業雇用政策課 1名

・意見交換内容

- ①高等学校就職担当教諭からの現状
ならびに要望発表
- ②会員企業人事担当者からの現状
ならびに要望発表
- ③意見交換

総括的概要

施策体系

 I 定款・
規約等

II 組織

 III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

 VII 事業 I
活力ある
福島の創造

 VII 事業 II
会員事業所
の発展

 VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

 VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

 X 団体加入
および連携

 XI その他の
会議等への
参加

2 雇用創出事業の推進

1. 福島市若者自立支援仕事体験事業の実施（職場体験講習事業）

コミュニケーション能力や対人関係に不安を抱えている若者（ニートや引きこもり等）で、ユースブレイス支援団体等の支援を受けて就労意欲の向上が見られる方を対象に、就職へのチャンス拡大を目指すとともに、希望する職場における実際の仕事体験を通して自立促進を図ることを目的として実施した。

- コーディネーター 事業所訪問件数 94社
- 登録事業所数 44社
- 職場体験講習受講者数 32名

3 健康経営に関すること

1. 健康経営セミナーの実施

本県における心疾患・脳血管疾患などの生活習慣病の死亡率が上昇している傾向と、少子高齢化等による労働人口の減少が予想される中、従業員の健康の維持・増進と併せ、事業所の生産性向上を高めていくことが企業の継続的発展に今後重要な要素になると考え、下記の日程において健康経営セミナーを実施した。

- 日 程 令和4年12月2日（金）
- 場 所 福島商工会議所 会議室
- 内 容

第1部 「持続可能な健康経営導入に向けて
のワンポイントアドバイス」

講師 アクサ生命保険株式会社

HPM推進部 井上 貴樹 氏

第2部 「人生100年時代の貯筋大作戦」

講師 (株)エヌジェイアイ

健康経営営業部 仲田 貴之 氏

Ⅱ | 各種調査・情報提供

1 登録・申請・検査業務の実施

1. 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
2. 容器包装リサイクル業務の実施
3. 貿易関係証明書の発行

2 地域経済に関する各種調査の実施

1. LOBO（早期景気観測）調査
2. 中小企業景況調査
3. 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査

1 登録・申請・検査業務の実施

1. 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施

- (1) 受託先
独立行政法人環境再生保全機構
- (2) 受託業務内容
 - ① 浜通り地区（いわき、相馬、原町）を除く県内に事業所を有する汚染負荷量賦課金納付義務者に対する、申請書、添付書類および納付書の送付
 - ② 納付義務者に対する制度の啓蒙および指導
 - ③ 申告書類の受理等の業務
- (3) 取扱数
汚染負荷量賦課金取扱事業所数（89件）

2. 容器包装リサイクル業務の実施

- (1) 受託先
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
- (2) 受託業務内容
 - ① ガラス瓶、PETボトル、紙製容器、プラスチック製容器・販売を行う事業所を「特定事業者」として位置づけ、リサイクルにかかる経費の一部に充てるための委託料支払業務の補助
 - ② 委託料の申請には「紙申請」および「オンライン申請」があり、「紙申請」を行う事業所のオンライン申請の代行業務
 - ③ 容器包装リサイクル制度の説明会の実施
- (3) 取扱数

① 紙申請	7社
② オンライン申請	21社

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

3. 貿易関係証明書の発行

商工会議所が発給する貿易関係証明書は、真正・公正な証明として海外でも認知されている。会員事業所の円滑な海外取引のために発給業務および相談に対応した。

- 証明内容 原産地証明、サイン証明 他
- 発給件数 2,171件

発給件数

年 度	合 計	対前年比
令和4年度	2,171	1,561
令和3年度	610	▲ 269
令和2年度	879	▲ 312

2 地域経済に関する各種調査の実施

1. LOBO（早期景気観測）調査

(QUICK SURVEY OF LOCAL BUSINESS OUTLOOK)

LOBO調査は、商工会議所のネットワークを活用して、各地域の「肌で感じる足元の景気感」を全国ベースで毎月調査・集計するもの。その結果を景気対策等に関する意見活動等に資することを目的に実施した。

- 調査内容
売上・採算・仕入単価・従業員の状況および業界として当面する問題など
- 調査対象
管内3事業所 ※組合含む
- 調査回数
毎月1回（計12回）

2. 中小企業景況調査

管内中小企業の景況ならびに経済動向に関する情報の収集および分析を行い、全国・東北地域と比較し、管内業況を把握することで中小企業関係機関の施策および指導、ならびに一般企業者の経営の参考にすることを目的として実施した。

- 調査内容
売上高、採算、設備投資、経営上の問題点等について
- 調査対象
管内52事業所（製造業10社、建設業3社、卸売業7社、小売業19社、サービス業13社）
- 調査回数
4半期に1回実施（計4回）
- その他
当所議員事業所を中心に52社に同様の調査を行い、全104社の結果をまとめ定期刊行物「所報ふくしま」およびホームページで発表。

3. 新型コロナウイルス感染症に関する 影響調査

新型コロナウイルス感染症が会員事業所に及ぼす影響を調査し、当所の施策や行政等への要望に生かすために実施した。

- 調査内容
 - 売上への影響、休業の状況、雇用への影響、各種支援策の利用状況・効果等について
- 調査対象
 - 全会員事業所
- 調査回数
 - 4回

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅱ J 業種別振興 事業の推進

※ 1～9については、「Ⅵ 会議 6部会」
(P33～P39)で報告

- 1 食品商業に関すること
- 2 生活関連商業に関すること
- 3 工業に関すること
- 4 建設業に関すること
- 5 金融・経営支援業に関すること
- 6 観光・飲食業に関すること
- 7 情報・通信業に関すること
- 8 不動産業に関すること
- 9 健康・社会サービス業に関する
こと

Ⅱ K 福利厚生 の充実

1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

1. 生命共済制度等の普及・拡大

- (1) 生命共済制度
- (2) 特定退職金共済制度
- (3) 個人保険（商工会議所福祉制度）

2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

1. 生活習慣病健診の実施
2. 人間ドック健診の実施

3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

1. 生命共済制度等の普及・拡大

(1) 生命共済制度（愛称「エール共済」）

（令和5年3月31日現在）

- ・事業所数 1,215事業所
- ・加入者数 5,580人
- ・加入口数 7,445口

◆給付金・保険金の支払状況

給付の種類		年間累計	
		件数	金額（円）
独自給付金	結婚祝金	38	430,000
	出産祝金	77	925,000
	事故通院給付金	58	1,160,000
	病気入院給付金	390	9,960,000
	遺児育英給付金	0	0
	検定合格祝金	2	8,400
	小 計	565	12,483,400
アクサ給付金	事故入院給付金	17	2,725,000
	死亡給付金	8	19,500,000
	高度障害給付金	0	0
	ガン入院一時金	28	1,020,000
	6大生活習慣病入院一時金	10	110,000
	ガン先進医療一時金	1	150,000
小 計		64	23,505,000
給 付 合 計		629	35,988,400

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

K 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

(2) 特定退職金共済制度（令和5年3月31日現在）

- ・事業所数 137事業所
- ・加入者数 957人
- ・加入口数 6,113口

◆退職給付金の支払状況

件数・金額 給付の種類	年間累計	
	件数	金額（円）
退職給付金	83	74,996,448
解約手当金	0	0
遺族給付金	1	2,001,670
給付合計	84	76,998,118

(3) 個人保険（商工会議所福祉制度）

（令和5年3月31日現在）

- ・事業所数 2,475事業所
- ・加入者数 3,513人

◆保険制度別の加入状況

制度No.	制度名	事業所数	加入者数
702	大型損保セット	73	82
711	医療保険プラン	32	34
721	個人年金プランS	33	33
731	ガン保険	7	8
735	ガン医療	472	632
751	終身保障プラン	55	60
801	総合	1,397	2,173
845	定期保険群集団	190	221
851	低払型定期保険	216	270
合 計		2,475	3,513

2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

1. 生活習慣病健診の実施

会員事業所の福利厚生の充実・健康管理に寄与することを目的に生活習慣病健診を実施した。労働安全衛生法の診断項目やメタボリックシンドローム症候群の健診項目にも対応した内容とした。

- ・実施期間 令和4年9月5日(月)～10日(土)（6日間）
- ・受診者数 96事業所・443名



2. 人間ドック健診の実施

会員事業所の役員・従業員およびその家族の方を対象に会員価格の特別料金で人間ドックの提供を行った。

- ・実施期間 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
- ・受診者数 46名

3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

会員事業所において永年勤続された優良な従業員に対し、日本商工会議所会頭、福島商工会議所会頭名で表彰するとともに記念品を贈呈した。

- ・表 彰 日 令和4年11月15日(火)
- ・会 場 ウエディングエルティ
- ・受章者数 51事業所167名



Ⅲ

魅力ある商工会議所 (商工会議所の活性化)

Ⅲ A

商工会議所の運営強化

1 運営強化のための会議等の充実

1. 常議員会・議員懇話会の充実
2. 議員親睦事業の開催
 - (1) 議員親善ゴルフ大会
 - (2) 議員新年会
3. 福島市新年市民交歓会の開催

2 部会・委員会の運営強化

1. 部会・委員会活動活性化に向けた意見交換
2. 正副会頭・委員長会議

3 会員サービスの充実

1. 会議所活用辞典ダイジェスト版の発行
2. オリジナルカレンダーの作成
3. 会員交流パーティーの開催

4 女性会・青年部の運営支援と連携強化

5 外郭団体との連携

1. 福島市商店街連合会
2. 福島市商店街連合会青年部
3. 福島青色申告会連合会
4. 福島市青色申告会
5. 福島県珠算連盟
6. 福島珠算連盟
7. 福島エネルギー懇談会
8. 東北経済連合会福島地域懇談会
9. 福島県警察官友の会連合会
10. 福島地区警察官友の会
11. 福島県クリーンふくしま運動推進協議会
12. 福島県自衛隊協力会連合会
13. 福島市自衛隊協力会
14. 福島わらじまつり実行委員会
15. 福島リサイクル推進協議会
16. ふくしま台湾友好協会
17. 福島市にサッカースタジアムをつくる会
18. 大相撲大波三兄弟福島後援会

1 運営強化のための会議等の充実

1. 常議員会・議員懇話会の充実

地域経済再生のために議員が意見を交わし、それぞれの知見や情報の共有を図るため、常議員会と議員懇話会を積極的に開催した。

- ・常議員会 計6回開催
- ・議員懇話会 計3回開催

2. 議員親睦事業の開催

(1) 議員親善ゴルフ大会

第1回 (第237回)	開催日 場 所 参加数 表 彰	令和4年6月9日(木) 福島ゴルフ倶楽部民報コース 18名 優 勝 菅野日出喜氏 準優勝 渡邊 宣之氏
第2回 (第238回)	開催日 場 所 参加数 表 彰	令和4年8月25日(木) ボナリ高原ゴルフクラブ 23名 優 勝 畑中 光司氏 準優勝 菊池 克彦氏
第3回 (第239回)	開催日 場 所 参加数 表 彰	令和4年10月21日(金) 大洗ゴルフ倶楽部 10名 優 勝 古川 幸治氏 準優勝 安達 和久氏
第4回 (第240回) 議員・女性会 ・青年部交流	開催日 場 所 参加数 表 彰	令和4年11月26日(土) 福島ゴルフ倶楽部民報コース 15名 優 勝 内池 浩氏 準優勝 日下部之彦氏

(2) 議員新年会

- ・開催日 令和5年1月16日(月)
- ・場 所 ウェディングエルティ
- ・参加者 103名(来賓16名、議員等87名)

Ⅲ A

商工会議所の運営強化

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙 役員・議員 の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I 活力ある 福島の創造

VII 事業 II 会員事業所 の発展

VII 事業 III 魅力ある 商工会議所

VII 事業 経営改善 普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入 および連携

XI その他の 会議等への 参加

3. 福島市新年市民交歓会の開催

年頭にあたり、会員事業所をはじめとした地域商工業者と市長、福島市幹部の参加により各々の年頭所信の表明、参加者の相互交流を図るために実施した。

- ・開催日 令和5年1月4日(水)
- ・場 所 ウエディングエルティ
- ・参加者 534名

2 部会・委員会の運営強化

1. 部会・委員会活動活性化に向けた意見交換

各部会・委員会の活動内容について議員間で共通の認識を持つことで、より活動の活性化を図ることを目的に議員懇話会を開催し、各部会長・委員長よりそれぞれの活動内容について説明をした。

- ・開催日 令和5年3月3日(金)(議員懇話会)
- ・内 容 「各部会・委員会の令和4年度事業概要並びに令和5年度事業計画について」
(各部会長並びに委員長から説明)

2. 正副会頭・委員長会議

福島商工会議所の活動内容並びに課題等について共通の認識を持つことで、今後の委員会活動の参考にしていただくことを目的に開催した。

- ・開催日 令和4年12月21日(水)
- ・内 容 〔報 告〕
「第31期福島商工会議所各委員会構成(案)について」
〔意見交換〕
「福島商工会議所の活動内容並びに課題について」

3 会員サービスの充実

1. 商工会議所活用辞典ダイジェスト版の配布

当所のサービス内容をわかりやすく収録した『活用辞典』のダイジェスト版を職員で実施した会員巡回の際に配布した。

また、新型コロナウイルス関連の相談で来所された未加入事業所にも渡すなど会議所活動の周知活動に利用した。

2. オリジナルカレンダーの作成

会員事業所へのサービス事業の一環として、当所オリジナルカレンダーを作成した。

テーマ 「古関裕而の自筆画で綴る懐かしのメロディー」

古関裕而氏は作曲ばかりでなく、自身で絵画をたしなみ、数多くのスケッチや絵画作品を残した。2023年版オリジナルカレンダーは、ご好評いただいた2022年版に引き続き、第二弾として作成した。ご本人の自筆画を珠玉のメロディーとともに紹介した他、つい口ずさみたくなる名曲が生まれた時代背景や作曲にまつわるエピソード、古関裕而氏のご家族の写真なども掲載した。

当所会員事業所および各関係機関へ配布した他、郵送・窓口受付による販売も行った。

作成部数 4,300部

仕 様 A2版カラー7ページ



3. 会員交流パーティーの開催

会員サービス事業の一環として、会員事業所に対する日ごろの感謝を示す「会員交流パーティー」を3年ぶりに開催した。

第31期議員改選後の役員新体制と会員の相互交流および情報交換につながる場として実施した。

- ・開催日 令和4年11月24日(木)
- ・会場 ウェディングエルティ
- ・参加者 141名

4 女性会・青年部の運営支援と連携強化

1. 女性会の活動状況

地域経済の担い手たる企業の女性経営者および社会におけるリーダーの集まりとして自己研鑽に励むとともに会員間の連携を図り、また地域に根差す企業として福島の復興と地域の発展のための事業活動に取り組んだ。

(1) 会議の開催

① 第42回通常総会

- ・開催日 令和4年5月24日(火)
- ・会場 ホテル福島グリーンパレス
- ・出席者数 29名

(2) 研修会・全体会の開催

講演会やわらじおどり練習会など、経営者としての資質向上及び会員親睦事業等の全体会を実施した。

(年間5回開催)



(3) コラッセ夢ばさる（第39回バザー）

例年、地域社会福祉への貢献を目的として開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、会員のみで開催した。



(4) 花時計の花植替えおよび維持・管理

福島を訪れた方々をきれいな花でお出迎えし、「花のまち ふくしま」を印象づけるために、平成20年4月からJR福島駅東口駅前広場に設置している「巨大な花時計」が福島駅前のシンボルとして定着するように、福島明成高校の協力で植替えを定期的に行うなどPRおよび年間の維持管理に努めた。



(5) 信夫山彼岸花プロジェクト

(一財)福島県遺族会の「恒久平和を託す彼岸花(悲願花)」を咲かせる活動に賛同・支援するとともに、県都福島市のシンボルである信夫山に彼岸花の名所づくりを行うことで、秋の観光客集客を推進した。

(6) 第54回全国商工会議所女性会連合会福島全国大会の開催

東日本大震災の際に全国各地からいただいた多大なる支援に対する感謝の気持ちを込めおもてなしするとともに、復興の状況を全国の女性会員に体感していただいた。

- ・開催日 令和4年10月7日～8日
- ・会場 ビッグパレット福島 他
- ・出席者数 1,472名



2. 青年部の活動状況

地域を支える青年経済人として、次代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって豊かで住みよい郷土づくりに貢献していくことを目的に『共存共栄』～共に認め、共に考え、共に進もう～を令和4年度テーマに掲げて下記の事業を実施した。

(1) 総会の開催

[第38回通常総会]

- ・開催日 令和4年4月20日(木)
- ・会場 ザ・セレクトン福島
- ・出席者数 60名(委任状出席含む)

[臨時総会]

- ・開催日 令和4年12月15日(木)
- ・会場 クーラクーリアンテサンパレス
- ・出席者数 75名(委任状出席含む)

(2) 定例会の開催

5月から3月まで毎月の講演会や会員親睦事業等の定例会を実施した。

開催日時・場所	出席者数	内 容
R4.5.29(木) 18:00～ 福島商工会議所	33名	5月定例会 「来たれ同志！初志を呼び覚ませ！」
R4.6.16(木) 18:30～ ゴルフレンジアミーゴ	28名	6月定例会 「佐藤雅一直前会長慰労会」
R4.7.21(木) 18:30～ 福島商工会議所	32名	7月定例会 「語れ！新時代！出るぞ！新時代！」
R4.8.5・6・7 (金、土、日) 終日 福島市内	約40名	8月定例会 「福島わらじまつり」
R4.9.3(土) 10:00～ FOME BASE	28名	9月定例会 「華麗なる一日」
R4.10.29(土) 9:00～ 福島駅東口駅前広場 駅前通り	約60名	10月定例会 「ふるさと交流マルシェ」 「Yuzu no Ne ～柚子の音～」 「ユージックフェス2022」
R4.11.26(土) 10:00～ 東部体育館	25名	11月定例会 「秋だ！大人のゆるスポーツ大会！」
R4.12.15(木) 18:00～ クーラクーリアンテサンパレス	30名	12月定例会 「クリスマスパーティー」※臨時総会后開催
R5.1.26(木) 18:00～ クーラクーリアンテサンパレス	40名	1月定例会 「新春セミナー・新年会」
R5.2.16(木) 18:30～ アオウゼ	27名	2月定例会 「委員会活動報告会」
R5.3.16(木) 18:00～ クーラクーリアンテサンパレス	49名	3月定例会 「卒業生送別会」

(3) 10月定例会【ふるさと交流マルシェ】

昨年度より他青年部や団体との交流事業を進めているが、繋がりを得た団体が属する各地域の名物や食べ物を福島市にてアピール頂き、他地域の魅力を再確認することを目的とした。福島市民が各地域へ足を伸ばすことも想定し、地元へ還元することで新たな交流、活性化を進める。

福島市駅前通りにて各団体が持ち寄った商品を軸に「マルシェ」を開催。各団体よりブース出店を頂くことで各地域の食の魅力をダイレクトにアピールする。

1. 日 時 令和4年10月29日(土)11:00～
2. 会 場 福島駅前通り
3. 参 加 者 一般来場者約200名
福島商工会議所青年部20名
久慈商工会議所青年部2名
豊橋商工会議所青年部5名
相馬商工会議所青年部2名
米沢商工会議所青年部2名
登米中央商工会2名
松川町商工会青年部2名
飯坂町商工会青年部3名

(4) 10月定例会【Yuzu no Ne ～柚子の音～】

福島市が誇る名山「信夫山」と福島市が誇る音楽家「古関裕而氏」を効果的にPRする。以上の目的を踏まえ、誰もが身近に感じる生菓子（ケーキ）を福島商工会議所青年部にてプロデュースすることで、福島市内はもちろん市外の方にも興味を持ってもらえる企画になった。商品開発に関しては福島市内の人気の洋菓子店パティスリーエクロール様の協力のもと、企画の思いや考えをしっかりと反映したうえで、万人が楽しめるケーキが完成。PR紙の作成も実施。130個を予約完売。継続販売については検討中。

1. 日 時 令和4年10月29日(土)9:00～
2. 会 場 福島駅東口駅前広場
3. 参 加 者 予約者数130名 福島商工会議所青年部18名

(5) 10月定例会【ふくしまユージックフェス2022】

音楽の街として古関裕而氏が残したメロディーを継承するとともに、福島市民や来福した観光客の方に効果的にPRすることで古関氏の功績を広める。また、福島市の活性に繋げるという目的で開催。

ステージを東口駅前広場・駅前通りに二か所設置し、プロミュージシャン出演による演奏及びアマチュアバンド・マーチングバンドの方々による参加型の音楽ALLジャンルイベントを開催。出演者の方々は古関メロディーを必ず一曲以上課題曲として演奏頂くことを参加条件とし、アレンジは自由とした。

2ステージ制を採用したことで、より多くの方に広い範囲で古関メロディーを楽しんで頂いた。

他2委員会の定例会と同日に開催することで、相互に連携を図ることで誘客に繋げた。

1. 日 時 令和4年10月29日(土)9:00～
2. 会 場 福島駅東口駅前広場
3. 主 催 福島商工会議所青年部
4. 共 催 福島商工会議所
5. 後 援 福島市教育委員会・NHK福島放送局・福島テレビ
福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・FM福島
ラジオ福島・FMポコ・福島民報社・福島民友新聞社
6. 参 加 者 予約者数130名 福島商工会議所青年部18名
7. 出 演 者 合計7組の出演者が演奏。NHK連続テレビ小説「エール」より佐久本 宝氏、吉原光夫氏がゲスト出演。トークショーを実施

5 外郭団体との連携

1. 福島市商店街連合会

商店街販売促進事業、従業員の研修、商店および商店街の連絡

2. 福島市商店街連合会青年部

青年経営者の資質の向上と市商連事業に対する協力

3. 福島青色申告会連合会

青色申告者の適正申告、記帳の指導・税制改正に関する意見活動

4. 福島市青色申告会

青色申告者の適正申告、記帳の指導・税制改正に関する意見活動

5. 福島県珠算連盟

珠算の普及および技能の向上に関する事業

6. 福島珠算連盟

珠算の普及および技能の向上に関する事業

7. 福島エネルギー懇談会

エネルギー問題の調査・研究に関する事業

8. 東北経済連合会福島地域懇談会

東経連の会議への出席や県内での講演会の開催および東経連活動を円滑に行なうための情報提供

9. 福島県警察官友の会連合会

福島県警察官の士気の高揚を図るための支援事業

10. 福島地区警察官友の会

福島警察署警察官の士気高揚を図るための支援事業

11. 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会

地域内の清掃美化の促進

12. 福島県自衛隊協力会連合会

自衛隊との相互理解と親睦を図り、健全な育成発展に協力

13. 福島市自衛隊協力会

自衛隊との相互理解と親睦を図り、健全な育成発展に協力

14. 福島わらじまつり実行委員会

わらじまつり実行と宣伝普及、企画検討
【福島わらじまつり実行委員会】
【福島夏まつり委員会】

15. 福島リサイクル推進協議会

事業所の廃棄物を資源化するための効率的な分別回収事業

16. ふくしま台湾友好協会

双方の観光・経済・文化等の交流促進並びに情報交換および親善協力

17. 福島市にサッカースタジアムをつくる会

福島ユナイテッドFCのJ2、J1昇格のためのサッカースタジアムの早期整備に向けた活動

18. 大相撲大波三兄弟福島後援会

大相撲力士「大波三兄弟」こと、「若隆景」「若元春」「若隆元」の支援および激励の実施

Ⅲ B

運営基盤の強化

1 議員・職員による新規会員加入促進

2 会員事業所の巡回訪問

1 議員・職員による新規会員加入促進

運営基盤強化の取り組みの一環として、議員・職員一丸となった新規会員の加入促進に努めた。

2 会員事業所の巡回訪問

全職員で会員事業所を訪問し、新型コロナウイルス対策支援に関する情報提供や相談事項への対応に努めた。平成21年度から開始。

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

Ⅲ C

事務局機能の強化

1 職員の経営支援能力等の向上

1 職員の経営支援能力等の向上

日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会等が主催する各種研修会等に職員を積極的に派遣し資質向上を図った。

中小企業デジタル支援セミナー

日本商工会議所 (WEB) 令和4年4月26日

事業再構築セミナー

日本商工会議所 (WEB) 令和4年6月3日

税務・財務診断基礎講習

中小企業大学校 令和4年6月6日～7月1日

経営指導員研修会 (第1回)

福島商工会議所 令和4年6月16日・6月17日

マル経資金担当者講習会

日本商工会議所 (WEB) 令和4年9月8日

経営診断基礎講習

中小企業大学校 令和4年9月12日～10月7日

補助員研修会

福島商工会議所 令和4年10月20日・10月21日

経営指導員研修会 (第2回)

福島商工会議所 令和4年11月17日・11月18日

経理担当職員研修会

東北六県商工会議所連合会 令和5年1月17日・1月18日

マル経資金勉強会

日本商工会議所 (WEB) 令和5年1月27日

Ⅲ D

情報収集力と 発信力の強化

1. 情報戦略の構築

1. 情報発信の強化

(1) Instagram公式アカウントの開設

(2) ホームページの運営

2. 未加入事業所と市民への発信情報の強化

(1) ラジオによる情報発信

3. マスコミとの意見交換会の開催

4. コーポレートアイデンティティの構築

2. 所報ふくしまの充実

1. 所報ふくしまによる情報発信

2. DM配送サービスによる企業情報の発信 (企業情報宅配便)

3. 物産展示室における情報発信の 強化

1 情報戦略の構築

1. 情報発信の強化

(1) Instagram公式アカウントの開設

令和3年8月に開設した当所LINE公式アカウントに続き、令和4年7月にInstagram公式アカウントを開設し、新型コロナウイルス関連支援情報や当所主催事業に関するお知らせなどをタイムリーに配信した。



Instagram二次元バーコード

(2) ホームページの運営

当所ホームページへのアクセスはスマートフォン経由が多くを占めることを受け、新型コロナウイルス支援情報などを積極的に発信した。

1. アクセス総数 35,946件

2. 未加入事業所と市民への情報発信の強化

(1) ラジオによる情報発信

経営支援に関する情報や当所主催のイベント情報、商工会議所のPRを福島コミュニティ放送(FM-POCO)で行った。

20秒のスポットCMを随時入れ、コロナ禍における当所経営相談の利用を促したり、「ランチで食うポン実施中」などのメッセージを発信した。

3. マスコミとの意見交換会の開催

調査事項やイベント等の情報発信のために市内報道機関との懇談会を定期的に開催した。

- 報道機関：市内の報道機関17社
(新聞・テレビ・ラジオ)
- 開催頻度：毎月1回開催(計10回)

回	開催年月日
第1回	4年4月20日
第2回	4年5月18日
第3回	4年6月22日
第4回	4年7月27日
第5回	4年8月24日
第6回	中止
第7回	4年11月28日
第8回	4年12月21日
第9回	5年1月24日
第10回	5年2月21日
第11回	5年3月22日

4. コーポレートアイデンティティの構築

市民・企業・地域の元気をつくる当所の認知度を高めることを目的に、当所の広告を福島駅東西地下自由通路に掲出している。

令和4年度も連続テレビ小説「エール」の舞台を紹介し、「古関裕而のまち・ふくしま」にちなんだ広告を展開した。



2 所報ふくしまの充実

1. 所報ふくしまによる情報発信

新型コロナウイルス感染症対策支援情報などを中心に中小企業相談所からの各種制度の案内、当所主催の事業等に関するお知らせ、特色ある会員事業所の取り組みなどを掲載した。

表紙には「福エール賞」受賞企業を中心に掲載し、特集企画と連動しながら頑張る会員事業所を応援するメッセージを込めた。

- 発行日 毎月10日
- 発行部数 4,500部
- ページ数 全16ページ



令和4年度 特集内容

4月号	会員事業所応援表彰制度 「福エール賞」受賞企業が決定
5月号	東北中央自動車道「相馬福島道路」開 通から一年 「道の駅ふくしま」開業効果を地域に
6月号	環境対応、待ったなし 選ばれる企業の必須条件
7月号	より魅力のある福島へ 福島駅東口再開発事業 工事が始動
8月号	後半へ、全身前進!! 福島ユナイテッドFC
9月号	いつも、「もしも」に備えよう 気象リスクに備えた経営
10月号	鉄道開業150年 レールがつなぐ地域の未来

11月号	インボイス制度への対応はお早めに
12月号	社員の健康増進こそが最大の経営戦略
1月号	高齢従業員の能力を発揮できる雇用環境を整備しよう
2月号	時代が求める人材を育成しよう ～WEBセミナーや検定試験のいま～
3月号	水素社会の実現に向けて

2. DM配送サービスによる企業情報の発信（企業情報宅配便）

所報「ふくしま」に会員事業所のチラシやパンフレットを同封し、販路拡大に役立ていただくことを目的としてサービスを実施した。

- 利用数 85件
- 利用例 ①自社PR・事業内容の案内
②商品・新サービス
③各種イベント・セミナー開催案内など

3 物産展示室における情報発信の強化

会員事業所の販路開拓を支援するため、同室の一角に各社こだわりの逸品を展示するスペースを令和3年10月に新設した。

今後も半年を目途に展示内容を入れ替え、来所者へのPRを図る。

同室では引き続き、新型コロナウイルス対策支援情報を中心とするチラシ・パンフレット、書籍等を整備して各種情報を提供した。

また、平成29年度の創立100周年記念事業「小学生作文コンクール」で応募いただいた全作文を封入した“タイムカプセル”を設置している。

チラシ・パンフレット関係

- 新型コロナウイルス感染症対策支援情報
- セミナー
- 経営
- 融資・税制・会計
- 共済・保険・雇用
- 新規創業・海外展開 ほか

書籍関係

- まちづくり
- 統計調査
- 企業経営調査
- 歴史 他

タイムカプセル（2037年開封）

②～⑥については、「Ⅶ 事業」内にて記載しています。該当ページは下表の通りです。

事業項目	ページ
② 意見活動（陳情・要望活動等）	P 49～50
③ 調査研究	P 82～83
④ 広報	P 94～96
⑤ 証明等（貿易関係証明）	P 82
⑥ 技能技術の普及および検定	P 75～78

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

Ⅶ事業 I
活力ある
福島の創造

Ⅶ事業 II
会員事業所
の発展

Ⅶ事業 III
魅力ある
商工会議所

Ⅶ事業
経営改善
普及事業他

Ⅷ登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

7 経営改善普及事業

1. 小規模企業振興基本法および改正小規模支援法に対応した中小企業経営発達支援事業の充実

小規模企業の持続的な発展と事業運営の支援強化を図ることを目的として施行された「小規模企業振興基本法」および「改正小規模支援法」に則り、経営指導員、専門経営指導員による経営相談の充実・強化を図った。

特に、平成30年3月16日認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき、『小規模事業者の安定・成長・継続・創出を目指す』ことを目標として、事業所に寄り添った伴走型の支援を行い、売上が増加するように個社の経営力を高めるとともに、地域経済の活性化と、小規模事業者の経営環境の改善を図った。

(1) 巡回・窓口相談事業

① 経営指導員の指導

業 種	巡 回 件 数									
	企業数	金 融	税 務	経 理	経 営	労 働	取 引	情 報	その他	計
製 造 業	135	1	0	0	134	10	0	0	16	161
建 設 業	199	5	6	0	172	11	0	0	32	226
小 売 業	253	3	3	0	221	9	0	0	54	290
卸 売 業	62	0	0	0	62	2	0	0	8	72
サービス業	512	17	22	3	499	29	0	0	54	624
そ の 他	34	0	2	0	34	2	0	0	4	42
小 規 模 計	1,195	26	32	3	1,122	63	0	0	168	1,414
小規模以外	94	0	2	2	63	3	0	0	33	103
回 数 計	1,289	26	34	5	1,185	66	0	0	201	1,517
創 業	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1

業 種	窓 口 件 数									
	企業数	金 融	税 務	経 理	経 営	労 働	取 引	情 報	その他	計
製 造 業	92	7	42	3	142	8	0	0	188	390
建 設 業	121	10	69	6	108	6	0	0	131	330
小 売 業	198	22	111	12	299	6	0	3	315	768
卸 売 業	34	0	14	0	58	2	0	0	89	163
サービス業	465	42	315	48	518	29	0	3	518	1,473
そ の 他	28	0	15	4	21	5	0	0	72	117
小 規 模 計	937	81	566	73	1,146	56	0	6	1,313	3,241
小規模以外	123	0	31	17	165	4	0	0	1	218
回 数 計	1,060	81	697	90	1,311	60	0	6	1,327	3,472
創 業	43	6	2	0	248	0	0	0	5	304

② 専門経営指導員の指導

業 種	巡 回 件 数		
	企業数	専門指導件数 計	
		回 数	人 数
製 造 業	64	73	73
建 設 業	50	54	54
小 売 業	70	77	77
卸 売 業	23	40	40
サービス業	145	174	174
そ の 他	13	17	17
小規模合計 小規模人数	365	435	435
小規模以外	14	15	15
回 数 計 人 数 計	379	450	450
創 業	0	0	0

業 種	窓口指導（通信・電話によるものを含む）		
	企業数	専門指導件数 計	
		回 数	人 数
製 造 業	73	173	173
建 設 業	66	142	142
小 売 業	109	248	248
卸 売 業	32	112	114
サービス業	236	510	510
そ の 他	13	28	28
小規模合計 小規模人数	529	1,213	1,215
小規模以外	31	48	48
回 数 計 人 数 計	560	1,261	1,263
創 業	14	20	20

総括的概要

施 策 体 系

I 定 款・
規 約 等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活 力 有 る
福 島 の 創 造

VII 事業 II
会 員 事 業 所
の 発 展

VII 事業 III
魅 力 有 る
商 工 会 議 所

VII 事 業
経 営 改 善
普 及 事 業 他

VIII 登 録

IX 事 務 所 等

X 団 体 加 入
お よ び 連 携

XI そ の 他 の
会 議 等 へ の
参 加

2. 講習会等の開催による指導

(1) 専門指導員等の指導

内 容		区 分	経営革新	産業一般	金 融	税 務	労 働	取 引	その他	計
集団指導	のべ回数		0	5	2	0	0	0	0	7
	のべ人数		0	80	15	0	0	0	0	95
個別指導	のべ回数		0	0	0	19	0	0	13	32
	のべ人数		0	0	0	698	0	0	5	693

(2) 金融に関すること

① 金融の斡旋

区 分		金 額		斡旋件数・金額		貸付決定件数・金額	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
日本政策金融公庫	一般・特別	6	2,040万円	5	1,380万円		
	経営改善資金 (マル経資金)	31	13,410万円	31	13,410万円		
	運転資金	18	8,980万円	18	8,980万円		
	設備資金	13	6,990万円	13	6,990万円		
	合 計	37	15,450万円	36	14,790万円		
会員向け特別融資制度 (メンバーズローン)		斡旋件数・金額		0件・0円			

② 小規模事業者経営改善資金審査会

回 数	開催年月日	審査件数	審査金額
第 1 回	令和 4 年 4 月11日	1件	500万円
2	5 月11日	2件	880万円
3	6 月 1 日	1件	1,260万円
4	6 月27日	1件	200万円
5	7 月25日	3件	1,650万円
6	8 月24日	3件	750万円
7	9 月29日	3件	610万円
8	10月26日	2件	1,220万円
9	12月 1 日	5件	1,470万円
10	12月22日	1件	230万円
11	令和 5 年 1 月24日	0件	0万円
12	2 月22日	4件	2,430万円
13	3 月21日	5件	2,210万円
合 計	13回	31件	13,410万円

(3) 講習会の開催状況

① 集団指導

開催日	指導分類	内容／講師の職・氏名	参加人数
4 年 4 月15日	新入社員研修	(1) 学生と社会人の違い (2) 仕事の目的と進め方 (3) マナーの重要性を理解する (4) 電話対応の基本 (5) 職場のコミュニケーション (6) 報連相が会社を伸ばす (7) 目標が未来の自分を創る (8) 気づきと今後の目標 講師 篤志館(株) 代表取締役 雨間けい子 氏	21名
4 年 7 月11日	金融相談会 (1 日 公庫)	福島商工会議所（経営指導員） 日本政策金融公庫（担当者）	5 名
4 年 9 月27日	販路開拓塾	「今すぐ始められる！ SNS活用セミナー」 (1) 企業のSNS活用の現状と運用の仕方 (2) SNSを活用した売上戦略と運用体制 (3) 各SNSの特徴&ビジネス事例紹介 (4) アプローチに効果的な発信方法とNG方法 (5) 自社リピーター創出のためのユーザーコミュニケーション術 (6) SNSのプライバシーポリシーと炎上対策 講師 (株)BESW 代表取締役 田中 千晶 氏	43名
4 年10月 6 日	販路開拓塾	「展示商談会出展準備セミナー」 (1) 魅せ方で印象が変わる展示陳列の基本 (2) 自社の強みを可視化してみよう (3) 出展準備リスト&ポイント 等 講師 (有)千代田 代表取締役 林 由希恵 氏	4 名

開催日	指導分類	内容／講師の職・氏名	参加人数
4年10月24日	事業再構築補助金 対策セミナー	(1) 補助金とは何か (2) 事業再構築補助金の概略 (3) 採択のポイント (4) 事業計画書作成のポイント (5) スケジュール等	13名
4年11月8日	金融相談会 (1日公庫)	福島商工会議所（経営指導員） 日本政策金融公庫（担当者）	9名

② 個別指導

開催日	指導分類	内容／講師の職・氏名	参加人数
3年4月 ～5年3月	無料法律相談 (随時)	弁護士 渡辺 健寿 氏	10名
3年4月 ～5年3月	貿易何でも相談会 (随時)	ジェトロ認定貿易アドバイザー 阿部 一也 氏	—
5年2月1日 ～3月15日	所得税税務指導 (15回)	税理士（敬称略） 安部修太郎／阿部 崇／阿部 寿子 阿部 洋一／今井 智恵／尾形 一二 小野 宏一／菅野 庄二／齋藤 敏春 佐々木史隆／佐藤 正志／佐藤 充孝 竹澤 均／玉根 一憲／	467名
5年3月16日 ～3月24日	消費税個別指導 (4回)	税理士（敬称略） 高橋 由里／玉根 一憲／古谷 一位 三浦 信雄	77名

(4) 経営安定特別相談事業

経営の不安定な中小企業に対し、健全経営を図るための相談や指導事業を実施した。

① 講習会の開催

開催日等	開催内容	参加人数
4年12月2日 福島商工会議所 会議室	「インボイス制度の概要と実務上対応のポイント」 講師 中央税務会計事務所 所長 中島 由雅 氏	35人
5年2月3日 ホテル福島 グリーンパレス	「小さなお店や会社のDX推進・活用法」 講師 (株)ベンチャーコンサルタント 代表取締役 寺田 勝紀 氏	31人

② 倒産防止関連事業の開催

個別相談件数 4件

総括的概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

(5) 専門家活用経営支援事業

① 専門家派遣

中小企業者の経営・技術力強化を目的とした経営上の課題解決への助言・診断を行う専門家派遣
(派遣回数)

- 一般枠 1 件
- 復興枠 2 件

② 集合研修

新型コロナウイルスにより経営環境が激変した中小企業者等の経営課題に対応するための研修事業

- 研修事業 2 件

3. 経営支援特別事業

(1) 事業環境変化対応型支援事業（特別経営相談窓口等）

新型コロナウイルス感染症等の影響や最低賃金引上げ、デジタル化、インボイス制度導入等の対応といった事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者からの経営相談や各種申請サポート対応等を行うため、専門家等の配置による支援体制の強化や講習会の開催等による制度の周知・広報事業を行うことにより、中小・小規模事業者に対して必要な支援を届けると共に、伴走支援による課題解決を通じた雇用の維持と事業の継続が可能な環境を整備することを目的に実施した。

① 特別経営相談

1. 開催日 令和4年4月28日、5月19日、6月2日、7月7日、8月4日、9月8日、10月6日、11月4日、12月15日、令和5年1月19日 合計10回開催
(10:00~17:00) ※1日最大5件対応
2. 会場 コラッセふくしま内 会議室
3. 内容 補助金の事業計画策定支援・申請手続の説明、国の給付金・助成金申請支援
今後の経営相談 等
4. 相談件数 合計38件
5. 専門家 一般社団法人福島県中小企業診断協会所属 中小企業診断士、社会保険労務士

② デジタル化特別相談

1. 開催日 6月15日、7月21日、9月22日、10月20日 合計4回開催
(10:00~17:00) ※1日最大5件対応
2. 会場 コラッセふくしま内 会議室
3. 内容 デジタル化、SNS等の活用、補助金に関する相談 等
4. 相談件数 合計19件
5. 専門家 ITコーディネーター (合)プラスタ 代表社員 栗原 篤史氏(6月・10月)
〃 ハンズバリュー(株) 代表取締役 島田 慶資氏(7月・9月)

③ インボイス特別相談

1. 開催日 8月25日、11月24日 合計2回開催(10:00~17:00) ※1日最大5件対応
2. 会場 コラッセふくしま内 会議室
3. 内容 インボイス制度(適格請求書等保存方式)、消費税に関する相談 等
4. 相談件数 合計10件
5. 専門家 税理士 税理士法人MASTAC佐藤会計笹谷事務所 所長 佐藤 昌彦氏

④ インボイス制度実務対応セミナー

1. 開催日 9月2日、11月2日 合計2回開催（14：00～16：30）
2. 会場 コラッセふくしま内 会議室
3. 内容 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の概要及び実務対応のポイント等
4. 参加者数 9月2日33名 11月2日43名
5. 専門家 税理士法人トリプル・ウイン顧問 税理士 行政書士 星 叡 氏

(2) 制度改正等の課題解決環境整備事業

働き方改革関連法などの労働法制、税制度、民法等の制度改正、新型コロナウイルス感染症に対する支援施策等による諸課題への対応やグリーン・デジタルなどの成長分野における生産性向上に向けて、講習会の開催等を通じて諸制度改正に伴い対応が必要となる小規模事業者・中小企業者等の事業活動を支援しつつ、円滑に対応できるよう支援することを目的に実施した。

① 講習会の開催

開催日等	開催内容	参加人数
4年6月24日 福島商工会議所	「改正労働施策総合推進法 通称：パワハラ防止法対応セミナー」 講師 横浜リンケージ社労士事務所 代表 蔵中 一博 氏	17人
4年7月26日 コラッセふくしま5階	「最新労働法への対応と人材の職場定着」 講師 横浜リンケージ社労士事務所 代表 蔵中 一博 氏	13人
4年8月24日 コラッセふくしま5階	「コロナ支援策を有効活用するための資金繰りを考える」 講師 (株)インフォクリエマネジメント 代表取締役 新木 啓弘 氏	6人
4年8月29日 福島商工会議所	「早わかり 食品表示法改正セミナー」 講師 Correct Label(株) 代表取締役 藤原 和樹 氏	36人
4年9月30日 福島商工会議所	「新型コロナウイルス関連支援施策の解説と決算書で読む会社の信号」 講師 ミナト経営株式会社 代表取締役 田内 孝宜 氏	5人
4年10月12日 福島商工会議所	「中小企業のデジタル化セミナー」 講師 イースパイア(株) 代表取締役 横田 秀珠 氏	13人
4年11月18日 福島商工会議所	「電子帳簿保存法改正の概要とポイント」 講師 税理士法人トリプル・ウイン 顧問 星 叡 氏	41人

(3) 令和4年福島県沖地震による災害対策関連事業

「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」

内容：被災地域の中小企業等のグループが復興事業計画を作成し、地域経済・雇用に重要な役割を果たすものとして県から認定を受けた場合に、施設・設備の復旧・整備について補助を行う制度で、福島商工会議所として、「福島商工会議所復興グループ」を形成し、被災された中小企業の支援を行う。

具体的には、グループ参加事業所における事業継続計画（BCP）策定支援をメインに共同事業を行い、併せて、個別の事業計画策定の際の支援を随時行った。

＊福島商工会議所復興グループ参加事業所の状況

105事業所

（内訳：製造24、卸10、小売17、飲食2、サービス48、不動産1、建設2、その他1）

関連事業（グループ共同事業）

事業継続力強化計画」策定に向けたワークショップ

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

日 時：令和4年12月14日（水）

内 容：個社の「事業継続力強化計画策定」に向け、想定される災害と発災直後からの対応手順や、事業継続や資金調達に向けた資金調達の想定等について、策定シートを活用したワークショップを実施

講 師：東京海上日動火災保険㈱ 福島支社

(4) 事業継続力強化支援計画

中小企業や小規模事業者は、日頃の事業活動を通じて、地域経済の循環や雇用機会の創出等に極めて重要な役割を果たしている。しかしながら、近年は大規模な自然災害や感染症等の予期せぬリスクにより、事業活動の継続に支障をきたす事態が生じていることから、地域経済の活力の源泉である中小企業・小規模事業者の経営の強靱化に資することを目的に、改正小規模事業者支援法における『事業継続力強化支援』に則り、様々な災害や感染症等のリスクへの備えに対する活動を行った。

① 事業継続力強化支援計画の変更認定申請

申 請 者：福島商工会議所、福島市（共同申請）

認 定 者：福島県

認 定 日：令和4年4月1日

② 事業継続力強化計画の周知活動

日 時：令和4年12月14日（水）

内 容：個社の「事業継続力強化計画策定」に向け、想定される災害と発災直後からの対応手順や、事業継続や資金調達に向けた資金調達の想定等について、策定シートを活用したワークショップを実施

講 師：東京海上日動火災保険㈱ 福島支社

(5) 相談事業

支援内容	開催日・開催場所	相 談 員	相談件数
金融相談会 （1日公庫）	令和4年7月11日（月） 福島商工会議所	日本政策金融公庫国民生活事業職員、当所経営指導員	5事業所
金融相談会 （1日公庫）	令和4年11月8日（火） 福島商工会議所	日本政策金融公庫国民生活事業職員、当所経営指導員	9事業所

(6) 嘱託専門指導員（専門指導センター）の活用

区 分	巡回指導 のべ回数	窓口指導 のべ回数	合 計
経営一般	25	178	203
創 業	0	0	0
合 計	25	178	203

(7) 経営計画策定および実施等の支援

【小規模事業者持続化補助金〈一般型〉】

受 付 締 切		支援事業者
第8回	令和4年6月3日	8件
第9回	令和4年9月20日	7件
第10回	令和4年12月9日	8件
第11回	令和5年2月20日	9件
合 計		32件

【ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業補助金】

受 付 締 切		支援事業者
1次公募	令和4年7月1日	45件
2次公募	令和4年8月24日	12件
3次公募	令和4年10月12日	3件
合 計		60件

【令和元年度補正・令和3年度補正 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金】

受 付 締 切		支援事業者
第10次	令和4年5月12日	1件
第11次	令和4年8月18日	0件
第12次	令和4年10月24日	0件
第13次	令和4年12月22日	0件
合 計		1件

【令和2年度補正・令和3年度補正・令和4年度予備費 中小企業等事業再構築促進事業補助金】

受 付 締 切			支援事業者
第 6 回	通常枠	令和 4 年 6 月30日	0 件
	その他		0 件
第 7 回	通常枠	令和 4 年 9 月30日	1 件
	その他		0 件
第 8 回	通常枠	令和 5 年 1 月13日	1 件
	その他		0 件
第 9 回	通常枠	令和 5 年 3 月24日	0 件
	その他		0 件
合 計			2 件

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

4. 事業再生・事業承継の支援

(1) 事業承継 個別相談会の定期開催

事業承継セミナーの開催を契機として、事業承継への取り組みをさらに促進するため、福島県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し個別相談会を定期的に開催した。

- ① 日 時 随時 1社約45分（事前予約制）
- ② 対 象 中小企業・小規模事業者の経営者・後継者
- ③ 参加者数 1社（のべ1回）

5. 創業支援事業

(1) 産業競争力強化法に基づく創業支援事業への参画

福島市が国の認定を受けて実施する「産業競争力強化法に基づく創業支援計画」により、本計画に位置付けられる「創業支援機関」との情報交換等を行い連携を強化することで、創業支援体制の充実を図った。

- ・実施主体 福島市
- ・連携する創業支援機関（当所以外の支援機関）

（株）福島まちづくりセンター・飯坂町商工会・松川町商工会・飯野町商工会・（株）日本政策金融公庫福島支店・（株）東邦銀行・（株）福島銀行・福島信用金庫・福島県信用保証協会・福島県ベンチャー SOHOテレワーカー共働機構

6. 伴走型小規模事業者支援推進事業

各種支援機関と連携し、事業計画策定支援として、「Ⅰ 経営力向上に資する事業計画作成支援事業」、「Ⅱ 事業承継と後継者育成支援事業」、「Ⅲ 福島創業スクール事業」および「Ⅳ 飲食店割引クーポン「ランチdeクーポン」を活用したレベルアップ事業」、また、新たな需要の開拓に寄与する事業として、「Ⅰ ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業」をそれぞれ実施した。

(1) 事業計画策定支援

Ⅰ 経営力向上に資する事業計画作成支援事業

① 事業概要：

「事業計画策定セミナー」を開催し、事業計画の重要性を周知するとともに小規模事業者が自ら事業計画を作成できるよう支援することで、経営力の向上と持続的な発展を図った。また、国・県などで公募している補助金に対応した内容を盛り込むことで、補助金の活用も促した。

② 具体的事業内容：

【第1回～第4回 事業計画策定セミナーの開催】

※第1回～第4回とも同内容

1. 開催時期	令和4年8月10日(水) [第1回・第2回] 令和4年10月28日(金) [第3回・第4回]
2. 会場	コラッセふくしま 4階 401会議室
3. 時間帯	【第1・3回】10:00～12:00 (2時間) 【第2・4回】14:00～16:00 (2時間)
4. 内容	・事業計画作成の重要性 ～事業を継続するための事業計画とは～ ・事業計画 作成のポイント ・活用できる補助金等の紹介
5. 講師	(株)エイチ・エーエル 若林 和也 氏 (中小企業診断士) ※第1回、第2回は若林氏が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となったため、栗田大介氏 (中小企業診断士) を代理講師として開催。
6. 参加人数	【第1回】14社15名 (うち小規模事業者 11社11名) 【第2回】9社11名 (うち小規模事業者 9社11名) 【第3回】9社9名 (うち小規模事業者 9社9名) 【第4回】7社9名 (うち小規模事業者 6社7名) 【合計】39社44名 (うち小規模事業者 35社38名)
7. 事業計画策定支援件数	小規模事業者35社中14件支援 今後の事業展開において補助金 (小規模事業者持続化補助金及びふくしま小規模企業者等いきいき支援事業補助金 (福島県独自) の活用が有効と判断された事業者に対しては、具体的な事業計画書の作成及び申請が行えるまで積極的な支援を実施した。

総括的概要

施策体系

Ⅰ 定款・規約等

Ⅱ 組織

Ⅲ 議員選挙
役員・議員
の選任

Ⅳ 事務局

Ⅴ 庶務

Ⅵ 会議

Ⅶ 事業Ⅰ
活力ある
福島の創造

Ⅶ 事業Ⅱ
会員事業所
の発展

Ⅶ 事業Ⅲ
魅力ある
商工会議所

Ⅶ 事業
経営改善
普及事業他

Ⅷ 登録

Ⅸ 事務所等

Ⅹ 団体加入
および連携

Ⅺ その他の
会議等への
参加

Ⅱ 事業承継と後継者育成支援事業

① 事業概要

事業承継を円滑に行えるよう現経営者（継がせる側）と後継者（継ぐ側）双方がこれから歩む方向性を正しく認識し共有していくために事業承継塾（勉強会）に参加して頂き、事業承継計画策定について早期着手に向けた支援を行った。

また、特に方向性が共有できている事業所については、専門家を派遣する個別相談会により具体的な事業承継計画書の作成支援を行った。

② 開催日時等

[事業承継塾（勉強会）の開催]

◆第1回「まず事業承継の全体像をつかむ！」

日 時 令和4年10月20日（木） 14時～16時30分

場 所 福島商工会議所 会議室

説 明 (株)日本政策金融公庫福島支店

講 師 (株)エイチ・エーエル 杉山 建夫 氏

参加人数 10社10名

◆第2回「事業承継の第一歩を踏み出す」

日 時 令和4年10月25日（火） 14時～16時30分

場 所 福島商工会議所 会議室

講 師 (株)エイチ・エーエル 杉山 建夫 氏

説 明 福島県信用保証協会

参加人数 9社9名

◆第3回「事業承継計画策定を使って想いを整理する！」

日 時 令和4年10月31日（月） 14時～16時30分

場 所 福島商工会議所 会議室

講 師 (株)エイチ・エーエル 杉山 建夫 氏

説 明 福島県事業承継・引継ぎ支援センター

参加人数 7社7名

[個別相談会の開催]

日 時 令和4年11月22日（火） 11時00分～16時00分（各1事業所60分程度）

場 所 各事業所

講 師 (株)エイチ・エーエル 杉山 建夫 氏

参加人数 3社3名

Ⅲ 福島創業スクール事業

① 事業概要

講座の内容は、ビジネスプランを策定するメイン講座のほか、創業に必要不可欠な基礎知識を習得できるよう、商工会議所の経営指導員や専門家のフォロー、創業支援等事業者（金融機関）等とも連携しながら実施した。開催期間は、10～12月の年1回、創業体験者の事例等を交えて、講義及び演習により実施した。

② 開催日時等

[創業スクールの開催]

◆第1講

日 時	令和4年10月1日(土) 13時30分～17時
場 所	福島商工会議所 会議室
内 容	1. 創業の前に 2. 創業のビジョンとビジネスモデル 3. ビジネスプランの作成準備 4. 受講者交流会
講 師	柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏
参加人数	21名
◆第2講	
日 時	令和4年10月5日(水) 18時～21時
場 所	福島商工会議所 会議室
内 容	危機に好機を見い出す不易のマーケティングと思い癖とは？ 1. 営業・販売戦略 2. マーケティング
講 師	(有)高橋幸司の事務所 取締役社長 高橋 幸司 氏
参加人数	22名
◆第3講	
日 時	令和4年10月12日(水) 18時～21時
場 所	福島商工会議所 会議室
内 容	1. 誰でも明日から取り組める！集客のためのIT活用
講 師	(株)イーンスパイア 代表取締役 横田 秀珠 氏
参加人数	21名
◆第4講	
日 時	令和4年10月15日(土) 13時30分～17時
場 所	福島商工会議所 会議室
内 容	1. 地元創業者による創業体験談 2. ビジネスプランをつくってみよう！
講 師	1. エンラクラメン 代表 岡田 直純 氏 2. 柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏
参加人数	20名
◆第5講	
日 時	令和4年10月19日(水) 18時～20時30分
場 所	福島商工会議所 会議室
内 容	1. 今売りたい物のPOPをつくってみよう！
講 師	POPセンター福島 代表 川村 洋一 氏
参加人数	19名
◆第6講	
日 時	令和4年10月22日(土) 13時30分～17時
場 所	福島商工会議所 会議室
内 容	1. 会計の基礎知識 2. 税務・法務・労務 3. 創業に必要なお金をどう集めるか？

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

4. 資金調達と公的支援制度の活用

講 師 1～3. 柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏
4. (株)日本政策金融公庫福島支店国民生活事業 融資課長 村上 真樹 氏
参加人数 21名

◆第7講

日 時 令和4年10月26日(水) 18時～21時00分

場 所 福島商工会議所 会議室

内 容 1. 店舗デザインの仕方(空間・色彩)
～新しい生活スタイルに対応する店づくり～

講 師 みずのやていこブランディングデザイン 代表 水野谷 梯子 氏

参加人数 17名

◆第8講

日 時 令和4年10月29日(土) 13時30分～17時

場 所 福島商工会議所 会議室

内 容 1. ビジネスプラン作成
2. ビジネスプランのプレゼンテーション

講 師 柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏

参加人数 19名

◆フォローアップ事業

福島創業スクール終了後、受講者のスムーズな創業の後押しや創業後の安定を図るため、作成した事業計画書の修正等について、個別にフォローアップを実施した。

《フォローアップ～事業全般～》

日 時 令和4年12月2日(金)、12月3日(土)

場 所 福島商工会議所 会議室

講 師 (有)高橋幸司の事務所 取締役社長 高橋 幸司 氏

参加人数 12月2日(金) 5名 12月3日(土) 5名

《フォローアップ～事業全般～》

日 時 令和4年12月10日(土)、12月16日(金)

場 所 福島商工会議所 会議室

講 師 柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏

参加人数 12月10日(土) 5名 12月16日(金) 5名

《フォローアップ～創業融資～》

日 時 令和4年12月16日(金)

場 所 福島商工会議所 会議室

講 師 日本政策金融公庫

参加人数 12月16日(金) 1名

Ⅳ 飲食店割引クーポン「ランチdeクーポン」を活用した参加店レベルアップ事業

- ① 事業概要
期間限定で実施している割引クーポン事業を活用し、参加店の売上（利用）状況や利用者アンケートによる利用実態を把握して売上を更に増加したい店舗、売上が伸び悩んでいる店舗を抽出し、事業計画の必要性を認識していただき、事業計画の策定を支援し、店舗のレベルアップを図った。
- ② 開催日時
第1回目 令和4年10月6日(木)、10月7日(金)、10月8日(土)
第2回目 令和4年12月5日(月)、12月6日(火)、12月7日(水)
令和5年1月14日(土)、1月30日(月)
- ③ 開催会場 対象事業所店舗
- ④ 参加人数 7社

(2) 新たな需要の開拓に寄与する事業

Ⅰ ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業

- ① 事業概要
福島市は出荷量が全国第2位となる「桃」をはじめ、さくらんぼ、梨やりんごなどの果実を多く産出する「くだもの大国」と言われている。これらの果実を利用し、福島市を代表するスイーツを育てることを目指している。
本年度は、当事業5年目として過年度からの参加スイーツ店10社に、新規店舗1社を加え実施。各社をフードコーディネーターと訪問し、店づくりや商品、パッケージの改良・開発を支援した他、スイーツ試食会を開催。4社よりブラッシュアップ希望の商品を試食用として出品いただき、行政、バイヤー、学生などを対象にアンケート調査を実施した。その結果・分析を踏まえフードコーディネーターと連携し、更なるブラッシュアップを図り、新規スイーツの商品化や売上の向上を支援した。
- ② 開催日時
【A】スイーツ試食会 令和4年12月5日(月)
【B】専門家によるブラッシュアップ等の支援（指導日）
1回目 令和4年10月7日(金)～8日(土)、10月13日(木)～14日(金)、12月5日(月)
2回目 令和4年12月7日(水)、令和5年1月12日(木)～13日(金)、1月27日(金)
- ③ 開催会場
【A】コラッセふくしま12階 レストランki-ichigo
【B】対象事業所店舗
- ④ 参加人数 11社

総括的概要
施策体系
Ⅰ 定款・規約等
Ⅱ 組織
Ⅲ 議員選挙 役員・議員 の選任
Ⅳ 事務局
Ⅴ 庶務
Ⅵ 会議
Ⅶ 事業Ⅰ 活力ある 福島創造
Ⅶ 事業Ⅱ 会員事業所 の発展
Ⅶ 事業Ⅲ 魅力ある 商工会議所
Ⅶ 事業 経営改善 普及事業他
Ⅷ 登録
Ⅸ 事務所等
Ⅹ 団体加入 および連携
Ⅺ その他の 会議等への 参加

8 受託事業

No.	事業名	ページ
1	公害健康被害補償業務の徴収業務に関する業務	P 82
2	容器包装リサイクル事業	P 82
3	福島市若者自立支援仕事体験事業	P 80
4	中小企業景況調査に関する業務	P 82
5	生産性向上支援訓練事業	P 74
6	制度改正等の課題解決環境整備事業	P 103
7	事業環境変化対応型支援事業	P 102

VIII 登 録

1 法定台帳

1. 作成年月日 令和4年4月1日付で調査し、4月8日までに台帳の補充登録
2. 登録業者数 1,712名
3. 負担金 2,000円

IX 事務所等

1. 地 番 福島市三河南町1番20号「コラッセふくしま」8階と9階の一部
2. 構 造 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
3. 面積等

面 積		内 容
919.57㎡	870.05㎡（8階）	事務室、会議室、物産展示室、会頭室、専務理事室、資料室、貸事務所、その他
	49.52㎡（9階）	テナント

4. 事務所レイアウト（8階）

	更衣室	資料室	小会議室	資料室	AC室	階段	エレベーター	エレベーター	W・C	W・C	リフレッシュ ルーム	エレベーター	階段	AC室
	専務室		応接室											
	会頭室			会議所事務室										
				物産展示室										
			会議室											
			県商工会議所連合会 会議室											
			貸事務所											

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

X

団体への加入および連携

1 日本商工会議所（地位：常議員）

※会議出席状況は下記の通り。

開催月	常議員会	議員総会	会員総会	総合政策委員会	各種委員会	専務理事会議
4月	4月21日					
5月				5月10日		5月19日
6月	6月16日	6月16日				
7月	7月21日	7月21日		7月6日	7月21日	
8月						
9月	9月15日	9月15日	9月15日	9月26日		
10月	10月20日					
11月	11月17日	11月17日	11月17日			
12月	12月15日				12月15日	
1月	1月19日	1月19日			1月18日	1月18日
2月	2月16日					
3月	3月16日	3月16日	3月16日	3月22日		
計	10回	6回	3回	4回	3回	2回

※日商地方最低賃金審議会委員との意見交換会 6月23日・8月2日

※日商創立100周年記念式典 9月16日

※日商まちづくり・地域経済循環推進専門委員会 3月28日

2 東北六県商工会議所連合会（地位：副会長）

※会議出席状況は下記の通り。

開催月	総会・理事会	県連会長会議	東北・北海道 商工会議所連絡会議	幹事会	県庁所在地商工会議所 事務局長会議
4月				4月14日	
5月					
6月				6月7日	
7月	7月12日			7月12日	
8月					
9月			9月2日		
10月				10月11日	
11月					11月29日
12月				12月15日	
1月		1月19日			
2月					
3月				3月2日	
計	1回	1回	1回	6回	1回

3 福島県商工会議所連合会（地位：会長）

1. 会 議

会議開催状況は下記の通り。

開催月	総会・監査会	会頭会議	政策委員会	幹 事 会	事務局長会議	中小企業 相談所長会議
4 月						
5 月	5 月25日			5 月23日		
6 月						
7 月	7 月 1 日	7 月 1 日				
8 月				8 月19日		
9 月						
10月			10月 6 日			
11月				11月29日		11月17日
12月		12月26日				
1 月						
2 月				2 月28日		
3 月					3 月15日	3 月16日
計	2 回	2 回	1 回	4 回	1 回	2 回

2. 要望活動

- (1) 東北六県商工会議所連合会中央要望（令和 4 年 7 月27日 郵送）
- (2) 令和 5 年度福島県議会予算編成に対する要望（令和 4 年 9 月12日）
- (3) 令和 5 年度政府予算対策要望（令和 4 年11月30日）
- (4) 福島県知事に対する要望（令和 4 年12月26日）
- (5) 東北六県商工会議所連合会復興要望（令和 5 年 1 月18日）
- (6) 東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会復興要望（令和 5 年 1 月18日）
- (7) 日本商工会議所東日本大震災からの「復興・創生」に関する要望（令和 5 年 3 月 3 日）

3. 所管省庁・関係団体等との懇談

- (1) 東北経済連合会第54回東北地方経済懇談会（令和 4 年10月18日）
- (2) 六県連 日商石田専務理事・久貝常務理事・荒井理事・事務局長を囲んでの懇談会（令和 5 年 1 月19日）

4. 職員研修会

- (1) 共済業務担当者研修会（令和 4 年 9 月15日 須賀川市）

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

XI その他の会議等への参加

1. 参加会議等

令和4年	
4月5日	福島北ロータリー通常例会
4月6日	一般国道115号整備促進期成同盟会・福島松川スマートIC地区協議会監査
4月8日	福島県中小企業診断協会「伴走支援連携協定」締結
4月9日	若隆景関表敬訪問
4月10日	郡山駐屯地自衛官候補生入隊式
4月12日	みんゆう県民大賞選定委員会
4月13日	福島市クリエイティブビジネスサロン内覧会
4月13日	健康経営共済フォーラム
4月14日	福島ユナイテッド 臨時取締役会
4月14日	福島相双復興官民合同チーム活動報告会
4月14日	復興庁「新ハズオン支援事業」個社支援公募に関する説明
4月18日	東北六県女連正副会長会議
4月19日	福島北ロータリー通常例会
4月19日	法人税等決算説明会
4月19日	福島市入札監視等委員会
4月19日	内外情勢調査会福島支部4月例会
4月21日	道の駅ふくしまオープニングセレモニー
4月22日	INF監査役監査
4月23日	ミススピーチキャンペーンクルー選考会
4月24日	第40回記念波恵ダンス発表会
4月25日	「東京福島市のつどい」監査
4月26日	福島北ロータリー夜間例会
4月27日	東京福島市のつどい実行委員会（ふくしまわらじ会）
4月27日	福島ユナイテッド株主総会
4月27日	ふくしま情熱通り実行委員会第3回通常総会
4月28日	福島県新規高卒者就職促進対策会議
5月9日	内外情勢調査会福島支部5月例会
5月11日	コラッセふくしま管理組合理事会・定期総会
5月11日	東北エネルギー懇談会理事会
5月11日	(一社)福島県銀行協会 監査
5月12日	えふ・サポート第2回理事会
5月13日	福島市ロケツアーリズム推進会議総会
5月16日	福島民友愛の事業団理事会
5月17日	新規高卒者求人要請
5月18日	ふくしま花火大会実行委員会役員会
5月18日	福島県信用保証協会常勤理事候補選定委員会
5月18日	福島県商工会館理事会
5月18日	ふくしま環境基本計画推進協議会
5月19日	福島県沖を震源とする地震に係るグループ補助金等説明会
5月19日	東経連わきたつ東北戦略会議
5月20日	福島県産業教育振興会常任理事会
5月20日	東北絆まつり2022秋田 幹事会・観光プロモーション部会
5月20日	福島踊屋台伝承会 通常総会
5月23日	福島県銀行協会理事会
5月23日	経済団体等情報交換会議
5月23日	福島市食育推進委員会

5月24日	福島コミュニティ放送㈱定時株主総会	
5月24日	アカデミア・コンソーシアムふくしま令和4年度第1回事業推進会議	
5月24日	福島県建設業協会定時社員総会	
5月24日	ふくしま新産業創造推進協議会幹事会・総会	
5月24日	東北エネルギー懇談会 定時総会・記念講演	
5月24日	新規高等学校卒業者に係る求人要請	
5月24日	福島市共創のまちづくり事業実践に向けたワーキンググループ	
5月25日	福島県信用保証協会理事会	
5月26日	新規高卒者に係る求人要請	
5月26日	日本電信電話ユーザー協会 5月理事会	
5月27日	福島市スポーツ振興公社 理事会	
5月27日	ふくしま産業賞専門委員会	総括的概要
5月27日	東北絆まつり2022秋田 総会	
5月28日	日本商工会議所と東北6市商工会議所による懇談会	
5月30日	福島まちづくりセンター取締役会	施策体系
5月30日	花見山観光振興協議会 観光案内部会	
5月31日	全国商工会議所観光振興大会（～2日迄）	I 定款・規約等
5月31日	福島市観光コンベンション協会理事会	
5月31日	全商女性連福島全国大会実行委員会	
5月31日	福島市行政改革推進委員会	II 組織
6月1日	福島大学絆会役員会・総会	III 議員選挙 役員・議員 の選任
6月2日	ふくしまプラットフォーム	
6月3日	福島県火災共済協同組合 理事会	
6月3日	ふくしまICT利活用推進協議会 通常総会及び特別講演会	IV 事務局
6月6日	東北六県連主催 新人職員研修会	
6月6日	東北観光推進機構 通常総会	
6月7日	福島市観光コンベンション協会通常総会	V 庶務
6月7日	東経連定時総会	
6月8日	福島県銀行協会第4回理事会	VI 会議
6月10日	公正取引委員会 意見聴取会	
6月10日	福島ユニテッド 臨時株主総会・取締役会	VII 事業 I 活力ある 福島の創造
6月10日	ベストウィズクラブブロック共済制度運営委員会	
6月11日	福島県警「視閲式」	VII 事業 II 会員事業所 の発展
6月13日	新規高等学校卒業予定者への就職機会確保に関する要請（県高等学校長協会）	
6月13日	ふくしまSDGs推進プラットフォームキックオフイベント	VII 事業 III 魅力ある 商工会議所
6月14日	原子力被災事業者事業再開等支援補助金審査会	
6月14日	福島市観光開発 取締役会	VII 事業 経営改善 普及事業他
6月14日	福島北ロータリークラブ 通常例会	
6月14日	福島県産業教育振興会 総会	
6月14日	福島県国際交流協会 評議員会	
6月15日	福島政経懇話会第282回例会	VIII 登録
6月15日	ふくしまシティマラソン実行委員会設立総会	
6月16日	地球にやさしい“ふくしま”県民会議	IX 事務所等
6月16日	地球にやさしい“ふくしま”県民会議幹事会	
6月17日	福島空港ビル 定時株主総会	
6月20日	全国商工会議所共済会 年金委員会	X 団体加入 および連携
6月20日	全国商工会議所共済会 評議員会	
6月21日	福島北ロータリークラブ 通常例会	XI その他の 会議等への 参加
6月22日	東北六県連共済担当職員研修会	
6月22日	福島県商工会館総会	
6月23日	小企業者記帳指導協議会	
6月23日	街なか創業者支援検討会	
6月23日	福島松川スマートIC地区協議会担当学会議	

6月23日	飯坂温泉観光協会通常総会
6月24日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会
6月24日	INF定時株主総会・取締役会
6月24日	福島県総合計画審議会 地域懇談会
6月25日	福島駐屯地自衛官候補生修了式
6月27日	旧広瀬座事業実行委員会
6月27日	福島市行政改革推進委員会 外部ヒアリング
6月27日	全商女性連福島全国大会実行委員会
6月27日	内外情勢調査会福島支部6月例会
6月28日	私立高等学校生徒の就職機会の確保に関する要請
6月29日	福島まちづくりセンター 株主総会・取締役会
6月30日	福島市観光開発(株) 定時株主総会・取締役会
6月30日	福島ユナイテッド取締役会
7月1日	ふくしま産業人材育成コンソーシアムWG
7月2日	ふくしん夢の音楽会
7月4日	福島駅東口地区第一種市街地再開発事業 安全祈願祭
7月4日	福島県自家消費型再生可能エネルギー導入支援補助金審査委員会
7月4日	福島地方最低賃金審議会
7月4日	福島県産業教育振興会県北支会総会
7月4日	全商女性連理事会
7月4日	(仮称) 福島市街なか賑わい創出プロジェクトチーム
7月5日	福島市安全で安心なまちづくり推進協議会
7月5日	福島北ロータリークラブ 通常例会
7月5日	福島市行政改革推進委員会 外部ヒアリング
7月7日	東北六県女連総会
7月7日	BWC優良商工会議所視察(三重県)
7月7日	福島市立地企業懇話会総会・講演会
7月8日	福島エネルギー懇談会令和4年度理事会・定時総会
7月8日	県北地域プラットフォーム
7月10日	福島競馬場「第58回七夕賞競走」観戦会
7月11日	福島県創業促進・企業誘致に向けた設備投資等等支援補助金審査会
7月11日	ふくしまデジタル推進協議会 設立会議
7月11日	内外情勢調査会福島支部7月例会
7月12日	福島市水素社会実現推進協議会
7月12日	花見山観光振興協議会役員会
7月13日	ふくしまシティハーフマラソン企画運営委員会
7月14日	ふくしま山車祭り実行委員会
7月14日	経営発達支援計画評価委員会
7月14日	福島県事業再開・帰還促進事業交付金 交付先選定委員会
7月22日	福島県観光復興推進委員会 幹事会
7月25日	地球にやさしい“ふくしま”県民会議県北地方会議
7月26日	全商女性連福島全国大会実行委員会
7月26日	福島県地域年金事業運営調整会議
7月26日	福島市観光コンベンション協会理事会
7月28日	福島地方最低賃金審議会
7月28日	ふくしまデジタル推進者会議
7月29日	福島駅東西エリア一体化推進協議会 総会
7月29日	福島松川スマートIC地区協議会 総会
7月30日	ふくしま花火大会
8月1日	福島市共創のまちづくりワークショップ
8月3日	福島県子ども・子育て会議
8月3日	福島地方最低賃金審議会
8月4日	福島県総合計画審議会

8月8日	福島県耐震化・リフォーム等推進協議会 通常総会	
8月8日	福島広告協会通常総会	
8月10日	古関裕而氏の野球殿堂入りを実現する会総会	
8月10日	福島地方最低賃金審議会	
8月23日	福島市地域情報化推進委員会	
8月25日	全商女性連福島全国大会実行委員会	
8月26日	福島地方最低賃金審議会	
8月27日	原子力災害からの福島復興再生協議会	
8月27日	ふくしま山車まつり	
8月29日	ふくしま環境基本計画推進協議会	
8月30日	吾妻山麓ツーリズム推進事業業務委託事業者選定審査会	
8月30日	県北地域働きざかりの健康づくり研修会	総括的概要
8月30日	福島市観光コンベンション協会臨時総会	
8月31日	福島まちづくりセンター取締役会	
8月31日	東北絆まつり幹事会	施策体系
8月31日	福島ユナイテッド 取締役会	
9月1日	日本ブラインドサッカー協会主催「ブラインドサッカー体験会」	I 定款・規約等
9月2日	福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議	
9月2日	商工連 表彰審査委員会	
9月2日	北海道・東北連絡会議	II 組織
9月3日	廃炉・汚染水・処理水対策 福島評議会	
9月7日	ふくしん会講演会	III 議員選挙 役員・議員 の選任
9月8日	ふくしま女性活躍応援会議	
9月8日	須賀川商工会議所創立七十周年記念式典・祝賀会	IV 事務局
9月12日	あづま荒川クロスカントリー大会 実行委員会	
9月13日	三経連経済懇談会	
9月14日	福島県プロフェッショナル人材戦略協議会	V 庶務
9月14日	内外情勢調査会福島支部9月例会	
9月15日	まちなか若者補助金に関する会議	VI 会議
9月20日	健康経営優良法人2023直前対策セミナー	
9月20日	東北エネルギー懇談会第1回企画委員会	VII 事業 I 活力ある 福島の創造
9月21日	福島県銀行協会 理事会	
9月21日	福島政経懇話会例会	VII 事業 II 会員事業所 の発展
9月22日	故幕田圭一氏「お別れの会」	
9月27日	福島地方最低賃金審議会	VII 事業 III 魅力ある 商工会議所
9月27日	ふくしま田園中枢都市圏ビジョン懇談会	
9月27日	福島市デジタル推進者会議	VII 事業 経営改善 普及事業他
9月28日	福島市発明くふう展審査委員会	
9月28日	東京福島市つどいの会実行委員会	
9月29日	福島市産官学連携プラットフォーム連携推進会議	
9月30日	都道府県庁所在地商工会議所中小企業相談所長会議	VIII 登録
10月2日	ふくしま環境フェスタ	
10月2日	蒼国来引退荒汐襲名披露大相撲	IX 事務所等
10月4日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会	
10月6日	花見山観光案内部会	
10月7日	FH 2 R 視察	X 団体加入 および連携
10月7日	福島リサイクル推進協議会・クリーンふくしま運動推進協議会合同研修会	
10月8日	福島稲荷神社例大祭	XI その他の 会議等への 参加
10月8日	福島駐屯地創立69周年記念行事	
10月12日	首都圏エネルギー懇談会 運営懇談会	
10月13日	ハローワーク福島雇用対策推進協議会	
10月13日	ふくしまキッチンカースタンプラリー オープニングセレモニー	
10月14日	福島地方最低賃金審議会 第1回電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会	

10月15日	ええじゃないか豊橋まつり
10月17日	東北中央自動車道の利活用促進による地域活性化協議会
10月18日	東経連 東北地方経済懇談会（経団連との懇談会）
10月18日	福島市観光コンベンション協会正副会長会議
10月18日	福島北ロータリー新会員懇話会
10月21日	精神保健福祉東北大会
10月23日	花見山フォトコンテスト 表彰式
10月24日	（仮称）市民センター整備事業本体工事安全祈願祭
10月24日	事業再構築補助金対策セミナー
10月24日	福島地方最低賃金審議会 第2回福島県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会
10月25日	コラッセふくしま管理組合 理事会
10月25日	福島市入札監視委員会
10月25日	東経連理事会
10月26日	内外情勢調査会福島支部10月例会
10月27日	FDA北九州チャーター便PR訪問
10月27日	誘客コンテンツ開発事業補助金交付候補者選定委員会
10月27日	福島西部環状道路建設促進期成同盟会要望
10月27日	東北エネルギー懇談会理事会
10月28日	誘客コンテンツ開発事業補助金交付候補者選定員会現地視察
10月28日	福島市観光コンベンション協会第4回理事会
10月29日	福島大学経済経営学類 創立百周年記念式典
11月4日	福島県中小企業診断協会 創立10周年記念祝賀会
11月5日	東京福島市のつどい
11月8日	福島県産業振興センター理事会
11月8日	福島県魅力ある職場づくり推進協議会作業部会
11月8日	街なか創業者支援検討会
11月8日	東経連 わきたつ東北戦略会議
11月9日	御下賜金記念産業教育功労者 表彰状伝達式
11月9日	ふくしま産業賞専門部会
11月10日	健康長寿ふくしま会議「健康経営推進部会」
11月11日	花見山観光振興協議会監査会
11月11日	福島県原子力損害対策協議会代表者会議
11月11日	労使関係セミナー
11月11日	福島県地域職業能力開発促進協議会
11月12日	健都ふくしま創造市民会議
11月12日	航空自衛隊大滝根山分屯基地創設66周年記念演奏会
11月13日	㈱後藤歯科商店 創業100周年記念祝賀会
11月14日	福島政経懇話会例会
11月15日	福島市食育推進委員会
11月16日	福島県殉職警察職員慰霊祭
11月18日	福島県創業等・企業誘致に向けた設備投資等支援補助金審査会
11月18日	福島西部環状道路建設促進期成同盟会中央要望
11月18日	福島県自立支援協議会障がい者差別解消支援部会
11月21日	花見山観光振興協議会役員会
11月21日	福島県支部連合会 五者連絡協議会
11月22日	福島市行政改革推進委員会
11月22日	中小企業大学校運営協力会議
11月23日	自衛隊福島地方協力本部創部16周年記念行事
11月23日	福島市男女共生セミナー2022
11月25日	福島経済同友会 朝食懇談会
11月25日	福島県警察本部 永年勤続職員表彰式
11月25日	福島県商工会館理事会
11月27日	福島市古関裕而作曲コンクール

11月28日	福島まちづくりセンター取締役会	
11月28日	福島県銀行協会 夜間例会・懇親会	
11月29日	ジェットロ貿易情報センター会長会議	
11月29日	福島市街なか賑わい創出プロジェクト 交流会	
11月30日	令和5年度政府予算対策要望活動	
11月30日	ふくしまデジタル推進協議会	
12月1日	全国商工会議所共済・保険担当者研修会	
12月1日	東経連 カーボンニュートラル勉強会	
12月2日	福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議	
12月2日	光のしずく点灯式	
12月2日	国際ソロブチミスト福島チャリティーコンサート2022	
12月5日	日商 復興状況および処理水に関するヒアリング	総括的概要
12月5日	内閣府・師田審議官との懇談会	
12月6日	福島ユナイテッドFC後援会設立総会	
12月6日	全商女性連臨時理事会	施策体系
12月7日	福島県魅力ある職場づくり推進協議会	
12月8日	東北六県商工会議所中小企業相談所長会議	I 定款・規約等
12月9日	ブロック別中小企業支援先進事例普及研修会	
12月13日	ベストウィズクラブ新任専務理事共済制度懇談会	
12月14日	福島県沖地震グループ補助金福島商工会議所グループ共同事業	II 組織
12月15日	福島地区税務関係団体協議会 定期総会	III 議員選挙 役員・議員 の選任
12月16日	福島県若年技能者人材育成支援等事業連携会議	
12月16日	陸上自衛隊郡山駐屯地「郡山音楽祭」	
12月21日	東電補償福島センター 賠償基準事前説明	IV 事務局
12月21日	福島ユナイテッド経営会議	
12月22日	街なか創業者支援検討会	
12月22日	職場の健康づくり推進委員会	V 庶務
12月23日	福島警察署 署長感謝状贈呈式	
12月23日	消防団入団促進要請（福島市消防団長・県北振興局長）	VI 会議
12月23日	福島県原子力損害対策協議会「全体会議（説明会）」	
12月23日	福島市長を囲む新春座談会（仮称）	VII 事業 I 活力ある 福島の創造
12月23日	福島駅東口エリアまちづくり研究会（第2回）	
12月26日	福島市観光コンベンション協会 正副会長会議	VII 事業 II 会員事業所 の発展
12月27日	福島県信用保証協会理事会	VII 事業 III 魅力ある 商工会議所
令和5年		
1月1日	FMポコ「正月特別番組」出演	VII 事業 経営改善 普及事業他
1月5日	福島県労働福祉協議会 新春交歓会	
1月7日	ライオンズクラブ 令和5年賀詞交歓会	
1月11日	福島民友 福島市長を囲む新春座談会	
1月11日	JA福島五連 新年懇談会	
1月13日	古関裕而氏野球殿堂入りお祝いセレモニー	VIII 登録
1月17日	東北六県連 経理担当職員研修会	
1月17日	ベストウィズクラブ 2022年度「幹事会」	IX 事務所等
1月18日	福島県民の警察官表彰選考委員会	
1月18日	福島県人材確保・定着プロジェクト推進協議会	
1月18日	実湧満彩ふくしま路ウオーキング運営委員会	X 団体加入 および連携
1月23日	福島市観光コンベンション協会 正副会長会議	
1月25日	東経連福島地域懇談会	XI その他の 会議等への 参加
1月25日	建築三団体合同賀詞交歓会	
1月26日	ふくしま医療関連ビジネス研究会（株NAKANO視察）	
1月30日	東北絆まつり2023青森 幹事会	
1月31日	福島経済同友会 新年懇談会	
1月31日	（公社）福島青年会議所「OB・現役合同新年会」	

2月2日	廃炉・汚染水・処理水対策 福島評議会
2月2日	福島大学絆会「交流会」
2月3日	ふくしま労働シンポジウム
2月3日	ベストウィズクラブ「全国共済制度運営委員会」
2月5日	裏千家福島支部新春茶会
2月6日	福島県民の警察官表彰式
2月7日	福島県男女共同参画審議会
2月8日	福島県事業再開・帰還促進事業交付金交付先選定委員会
2月8日	福島県子ども・子育て会議
2月8日	最低工賃専門部会
2月9日	東北六県連東北ブロック会議・運営研究会
2月9日	福島市と豊橋市とのパートナーシティ締結式
2月10日	総務省 行政懇談会
2月14日	街なか不動産投資研究会
2月14日	福島政経懇話会 第285回例会
2月15日	福島市街なか賑わい創出プロジェクト総会
2月16日	ベストウィズクラブ「常任幹事会」
2月17日	東北絆まつり2023青森 総会・記者会見
2月20日	福島県地域職業能力開発促進協議会
2月20日	福島市働く女性応援企業認証式
2月21日	東北ブロック商工会議所観光推進研修会
2月21日	福島市入札監視等委員会
2月21日	福島駅東口エリアまちづくり研究会
2月21日	福島市保健所運営協議会
2月21日	福島中小企業労務協会 新年会
2月21日	2023福島ユナイテッドFC結団式
2月22日	福島市高齢者生涯活躍プロジェクト協議会
2月24日	福島市水素社会実現推進協議会
2月24日	福島県銀行協会 通常例会
2月24日	福島市中小企業振興会議
2月24日	福島市受動喫煙防止対策推進委員会
2月24日	(公財)福島市スポーツ振興公社 理事会
2月25日	原子力災害からの福島復興再生協議会
2月27日	福島市功労表彰審査会
2月27日	福島まちづくりセンター取締役会
2月27日	(仮称)福島市犯罪被害者等支援条例検討委員会
2月28日	全商女性連合同委員会・理事会(オンライン)
2月28日	内外情勢調査会福島支部2月例会
3月1日	福島県立福島商業高等学校 卒業証書授与式
3月1日	福島県金融経済懇談会
3月1日	ふくしま荒川ミュージアム推進会議 幹事会
3月3日	全国商工会議所共済会年金委員会
3月5日	福島自衛隊音楽祭
3月6日	ALPS処理水放出に関する説明(経産省2名)
3月6日	環境創造センター県民委員会
3月7日	福島県労働組合総連合 要請・懇談
3月8日	県北地域保健・職域保健連携推進連絡会
3月8日	はいうえい人街ネット福島地域連絡会総会
3月10日	連合福島春闘要請
3月10日	稲荷市商店会解散式
3月11日	東日本大震災追悼復興祈念式
3月14日	福島県貨物自動車運送適正化事業評議員会
3月14日	福島民友愛の事業団 理事会

3月15日	コラッセふくしま管理組合 理事会・総会
3月15日	CCI&AXAトップマネジメントカンファレンス2023
3月17日	街なか不動産投資研究会
3月17日	東経連理事会
3月20日	福島イノベーション・コースト構想推進機構理事会
3月20日	まちづくりセミナー
3月24日	福島県信用保証協会理事会
3月24日	福島駅東口まちづくり研究会
3月24日	街なか賑わい創出プロジェクト活動プラットフォーム説明会
3月27日	福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金審査委員会
3月27日	東北絆まつり幹事会
3月27日	福島市観光コンベンション協会正副会長会議
3月27日	内外情勢調査会福島支部 3月例会
3月28日	(株)クラシマDr.Driveセルフ福島北幹線店水素ステーション開所式
3月29日	地球にやさしい“ふくしま”県民会議幹事会
3月29日	福島市観光コンベンション協会理事会
3月31日	福島ユナイテッド経営会議

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参 加